

Xenon™ 1900/1910

Xenon™ 1902/1912

Granit™ 1910i/1911i

Granit™ 1980i/1981i

エリアイメージングスキャナ

ユーザーズガイド

免責事項

Honeywell International Inc.（以下“ハネウエル社”）は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならずハネウエル社にお問い合わせください。本書の情報についてハネウエル社では一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容を備えたり実施したり、あるいは使用した結果発生した損害については、ハネウエル社では一切の責任を負いません。意図した結果を得るためのソフトウェアやハードウェアの選択と使用のすべての責任をハネウエル社は負いません。

本書には、著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象となります。本書のどの部分も、ハネウエル社の文書による事前承諾を得ずに複製、変更、または他言語への翻訳はできません。

ã 2010–2015 Honeywell International Inc. All rights reserved.

Web アドレス：www.honeywellaidc.com

Microsoft® Windows®, Windows NT®, Windows 2000、Windows ME、Windows XP、ならびに Windows ロゴは Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Bluetooth® マークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の所有です。

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を所有しています。

著作権については、www.hsmpats.com を参照してください。

目次

第1章 はじめに

本マニュアルについて	1-1
製品の開梱	1-1
接続	1-1
USB での接続	1-1
キーボードウェッジ接続	1-3
RS232 シリアルポート接続	1-6
RS485 接続	1-8
CCB01-010BT への設置	1-9
CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースの設置	1-9
読み取り方法	1-11
Xenon 1900/1902/1910/1912 および Granit 1910i/1911i	1-11
Granit 1980i/1981i	1-12
メニューバーコードのセキュリティ設定	1-12
カスタムデフォルトの設定	1-13
標準の製品初期設定へのリセット	1-13

第2章 - インターフェースの設定

はじめに	2-1
インタフェースのプログラム設定 - プラグ & プレイ	2-1
キーボードウェッジ	2-1
ノート型 PC との直接接続	2-1
RS232 シリアルポート	2-1
RS485	2-2
RS485 パケットモード	2-2
USB IBM SurePos	2-3
パソコン USB もしくはマッキントッシュのキーボード	2-3
USB HID	2-4
USB シリアル	2-4
CTS/RTS エミュレーション	2-4
ACK/NAK モード	2-4
USB 用 Remote MasterMind ™	2-4
Verifone® Ruby 端末の初期設定	2-5
Gilbarco® 端末の初期設定	2-5
Honeywell 2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定	2-5
Datalogic ™ Magellan® 2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定	2-6
NCR 2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定	2-6
Wincor Nixdorf 端末の初期設定	2-6
Wincor Nixdorf Beetle ™ 端末の初期設定	2-7
Wincor Nixdorf RS232 モード A	2-7
国別キーボード	2-8
キーボードスタイル	2-15
キーボードの交換	2-16
コントロールキャラクタ出力	2-17
キーボード設定	2-17

RS232 モディファイヤ	2-18
RS232 ボーレート	2-18
RS232 ワード長：データビットストップビットパリティ	2-19
RS232 レシーバタイムアウト	2-20
RS232 ハンドシェイク	2-21
RS232 タイムアウト	2-21
XON/XOFF	2-21
ACK/NAK	2-22
スキヤナから 2 面式カウンタースキヤナへの通信	2-22
2 面式カウンタースキヤナパケットモード	2-22
2 面式カウンタースキヤナ ACK/NAK モード	2-22
2 面式カウンタースキヤナ ACK/NAK タイムアウト	2-23

第3章 - コードレスシステムの操作

コードレスチャージベース / アクセスポイントの仕組	3-1
スキヤナのチャージベースへの接続	3-1
スキヤナとアクセスポイントの接続	3-1
リンクされたスキヤナの交換	3-2
コードレスシステムとホストデバイス間の通信	3-2
スキヤナとベースユニットまたはアクセスポイントのプログラム	3-3
RF（無線周波）モジュールの操作	3-3
システム条件	3-3
通信プロセス	3-3
スキヤナが通信可能範囲外にあるとき	3-3
スキヤナが通信可能範囲内へ戻ったとき	3-3
バッチモード有効時での通信可能範囲への出入り	3-3
ページ（呼出し）ボタン	3-4
バッテリーについて	3-4
充電について	3-4
バッテリーについての推奨事項	3-4
バッテリーの適切な処分	3-5
ブザー・LED のシーケンスと意味	3-5
スキヤナの LED シーケンスと意味	3-5
ベースユニット / アクセスポイントの LED シーケンスと意味	3-5
ベースユニットパワー / 通信インジケータ	3-6
スキヤナのリセット	3-6
ベースユニット上での読み取り	3-6
ベースチャージモード	3-6
ページング（スキヤナの呼び出し）	3-7
ページングモード（スキヤナの呼び出し）	3-7
ページング（呼び出し）音の音程	3-8
エラーインジケータ	3-8
ブザー音の音程：ベースユニットのエラー発生時	3-8
ブザー音の回数：ベースのエラー発生時	3-8
スキヤナレポート	3-9
スキヤナのアドレス	3-9
ベースまたはアクセスポイントのアドレス	3-9

スキャナモード	3-9
充電限定モード	3-9
通信モード	3-10
スキャナとの通信解除	3-10
通信固定されたスキャナの上書き	3-11
通信範囲外アラーム	3-11
警告ブザーの種類	3-11
スキャナパワータイムアウトタイマー	3-12
フレキシブルパワーマネージメント	3-13
バッチモード	3-13
バッチモード：ブザー音	3-14
バッチモード：保存形式	3-14
バッチモード：個数	3-15
バッチモード：出力順序	3-17
レコードの合計件数	3-17
最後のコードを削除	3-17
すべてのコードを削除	3-17
保存したデータをホストシステムへ送信	3-17
バッチモード：送信ディレイ（間隔）	3-18
複数スキャナ操作モード	3-18
スキャナ名	3-18
アプリケーションワークグループ	3-19
アプリケーションワークグループセレクション	3-20
初期設定へのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ	3-20
カスタムデフォルトへのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ	3-21
Bluetooth 対応機器との併用	3-21
Bluetooth Secure Simple Pairing (SSP)	3-21
Bluetooth HID キーボード 接続	3-22
バーチャルキーボード	3-23
Bluetooth HID キーボード 通信切断	3-23
Bluetooth シリアルポート：デスクトップ型 PC/ ノート型 PC	3-23
PDA やモバイルデバイスとの ベースなし BT 接続	3-24
スキャナの Bluetooth 暗証コード変更	3-24
Bluetooth/ISM 帯域ネットワーク干渉の最小化	3-24
自動再接続モード	3-24
再接続試行最高限度回数	3-25
再接続タイムアウト	3-25
Bluetooth / ISM ネットワークアクティビティの例	3-25
ホストコマンドの認知 3-26	

第4章 - 入力・出力設定

起動ブザー	4-1
BEL ブザー	4-1
トリガークリック音	4-2

読み取り成功インジケータ	4-2
ブザー：読み取り成功時	4-2
ブザーの音量：読み取り成功時	4-2
ブザーの音程：読み取り成功時	4-3
振動：読み取り成功時	4-3
ブザーの音程：読み取り失敗時およびエラー発生時	4-4
ブザーの長さ：読み取り成功時	4-4
LED：読み取り成功時	4-4
ブザーの回数：読み取り成功時	4-5
N ブザーの回数：読み取り失敗時およびエラー発生時	4-5
ブザー音最大	4-5
読み取り成功ディレイ	4-5
読み取り成功ディレイ	4-6
マニュアルトリガーモード	4-6
LED 照明：マニュアルトリガーモード	4-6
シリアルトリガーモード	4-7
読み取りタイムアウト	4-7
プレゼンテーションモード	4-7
LED 照明：プレゼンテーションモード	4-8
デコード後のプレゼンテーション LED の動作	4-8
プレゼンテーション感度	4-8
プレゼンテーションセンタリング	4-8
スタンド使用時のセンサーモード	4-10
CodeGate®	4-10
ストリーミングプレゼンテーション™モード	4-11
スタンド使用時のストリーミングプレゼンテーション設定	4-11
携帯端末読み取りモード	4-11
ハンズフリータイムアウト	4-12
再読み取りディレイ	4-12
ユーザー定義の再読み取りディレイ	4-12
2D 読み取りディレイ	4-13
キャラクタ有効化モード	4-13
アクティベーションキャラタ	4-14
読み取り成功後の終端文字有効化	4-14
	4-14
キャラクタ無効化モード	4-14
無効化キャラタ	4-15
照明設定	4-15
エイマーディレイ	4-15
ユーザー定義のエイマーディレイ	4-16
エイマーモード	4-16
センタリング	4-16
優先シンボル	4-18
高優先度シンボル	4-18
低優先度シンボル	4-18
優先シンボルのタイムアウト	4-19
優先シンボルの初期設定	4-19

アウトプットシーケンスの概要	4-19
アウトプットシーケンスエディタ	4-19
アウトプットシーケンスを追加する	4-19
他のプログラム設定	4-20
アウトプットシーケンスエディタ	4-21
パーティカルシーケンス	4-21
アウトプットシーケンス要求	4-21
複数シンボル	4-22
No Read	4-22
ビデオリバース（反転コード）	4-23
ワーキングオリエンテーション	4-23

第5章 - ヘルスケア設定

クワイエットオペレーション - コンビネーションコード	5-1
LED 点滅消音モード	5-1
長い LED 消音モード	5-1
超小音量（夜間モード）	5-1
小音量（昼間モード）	5-2
ページボタンとふせ膳テーションモード	5-2
一時的ストリーミングプレゼンテーションタイムアウト	5-2
クワイエットオペレーション - LED とボリューム設定	5-3
LED の色と音のリンク	5-3
LED 点滅回数	5-3
LED 点滅間隔	5-4
LED Solid (LED 固定、点滅無)	5-4
呼び出し音制御	5-4
通信範囲外アラーム	5-5
範囲外アラームディレイ	5-6

第6章 - データ編集

プレフィックス／サフィックスについて	6-1
プレフィックスまたはサフィックスの追加手順	6-1
1つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスの削除	6-2
キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加する	6-2
プレフィックスの設定	6-2
サフィックスの設定	6-2
ファンクションコード送信	6-3
キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ	6-3
キャラクタ間ディレイ（間隔）	6-3
ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ（間隔）	6-3
ファンクション間ディレイ	6-4
メッセージ間ディレイ	6-4

第7章 - データフォーマット

データフォーマットエディタについて	7-1
データフォーマットの追加	7-1
他の設定	7-2

ターミナル I D テーブル	7-3
データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）.....	7-3
移動コマンド	7-6
検索コマンド	7-7
その他のコマンド	7-9
データフォーマッター	7-12
データフォーマット非適合エラーブザー	7-13
基準 / 代用データフォーマット	7-13
データフォーマットの切り替え	7-13

第8章 - シンボル

すべてのシンボル	8-1
読み取り桁数について	8-1
Codabar	8-2
Codabar の連結	8-3
Code 39	8-4
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	8-5
Full ASCII	8-6
Code 39 コードページ	8-6
Interleaved 2 of 5	8-7
NEC 2 of 5	8-8
Code 93	8-9
Code 93 コードページ	8-10
Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート / ストップ)	8-11
Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ)	8-12
Matrix 2 of 5	8-13
Code 11	8-14
Code 128	8-15
ISBT 128 連結機能	8-15
Code 128 コードページ	8-16
GS1-128	8-17
Telepen	8-18
UPC-A	8-19
拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13	8-21
クーポン GS1 データバー 出力	8-21
UPC-E0	8-22
UPC-E1	8-24
EAN/JAN-13	8-24
クーポン GS1 データバー 出力	8-24
ISBN 変換	8-26
EAN/JAN-8	8-27
MSI	8-29
GS1 データバー標準型設定（オムニディレクショナル）	8-31
GS1 データバー限定型（リミテッド）	8-31
GS1 データバー拡張型（エクспанデッド）	8-32
Trioptic コード	8-32
Codablock A	8-33
Codablock F	8-34

ラベルコード	8-34
PDF417	8-35
MacroPDF417	8-35
MicroPDF417	8-36
GS1 コンボジットシンボル	8-36
UPC/EAN バージョン	8-37
GS1 エミュレーション	8-37
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	8-38
QR コード	8-38
QR コード ページ	8-39
Data Matrix	8-40
Data Matrix コード ページ	8-40
Maxi コード	8-41
Aztec コード	8-42
Aztec コード ページ	8-42
中国郵便コード (漢信コード)	8-43
2 次元郵便コード	8-44
2 次元郵便コード (単独)	8-44
2 次元郵便コード (組み合わせ) :	8-45
1 次元郵便コード	8-48
中国郵便コード (香港 2 of 5)	8-48
韓国郵便	8-49

第9章 - イメージングコマンド

シングル使用ベース	9-1
コマンドシンタックス	9-1
イメージスナップ : IMGSNP	9-1
IMGSNP モディファイア	9-1
画像送信 - IMGSHIP	9-3
IMGSHIP モディファイア	9-4
インテリジェント署名取り込み - IMGBOX	9-10
署名取り込みの最適化	9-10
IMGBOX モディファイア	9-11
RF 初期設定のイメージングデバイス	9-14

第10章 - インターフェースキー

キーボードファンクションの関係	10-1
サポートされているインタフェースキー	10-3

第11章 - ユーティリティ

すべてのシンボル体系へのテストコード ID プリフィクス追加すべてのシンボルにプリフィックスを追加	11-1
デコーダーの改訂情報の表示	11-1
ドライバーの改訂情報の表示	11-1
ソフトウェアの改訂情報表示	11-1
データフォーマットの表示	11-1
テストメニュー	11-2

TotalFreedom (トータルフリーダム)	11-2
プラグインアプリケーション	11-2
EZConfig について	11-3
ウェブサイトからの EZConfig のインストール	11-3
標準の製品初期設定へのリセット	11-4

第 12 章 - シリアルプログラミングコマンド

記述上の語句	12-1
メニューコマンドシンタックス (構文)	12-1
質問コマンド	12-1
レスポンス	12-2
トリガーコマンド	12-3
標準の製品初期設定へのリセット	12-3
メニューコマンド	12-4

第 13 章 - 製品仕様

Xenon 1900/1910 スキャナ製品仕様	13-1
Xenon 1902/1912 スキャナ製品仕様	13-2
Granit 1910i スキャナ製品仕様	13-3
Granit 1911i スキャナ製品仕様	13-4
Granit 1980i スキャナ製品仕様	13-5
Granit 1981i スキャナ製品仕様	13-6
CCB01-010BT チャージャーベース製品仕様	13-7
CCB02-100BT/CCB05-100BT チャージャーホームベース製品仕様	13-7
読取深度	13-9
Xenon B&W スキャナ標準性能	13-9
Xenon B&W スキャナ保証性能	13-9
Xenon カラーสキャナ (モデル COL) 標準性能	13-10
Xenon カラーสキャナ (モデル COL) 保証性能	13-10
Granit 1910i/1911i スキャナ標準性能	13-11
Granit 1910i/1911i スキャナ保証性能	13-11
Granit 1980i/1981i スキャナ標準性能 (200 lux)	13-12
Granit 1980i/1981i スキャナ保証性能 (200 lux)	13-13
標準ケーブルのピン配列	13-14
キーボードウェッジ	13-14
シリアル出力	13-14
RS485 アウトプット	13-14
USB	13-15
必要な安全ラベル	13-15

第 14 章 - 保守

修理	14-1
保守	14-1
機器の清掃	14-1
ウィンドウの清掃	14-1
ヘルスケアハウジング (殺菌洗浄可能ハウジング) について	14-1
ケーブルとコネクタの点検	14-2

スキャナのインターフェースケーブルの交換.....	14-2
Xenon スキャナのインターフェースケーブルの交換.....	14-2
Granit スキャナのインターフェースケーブルの交換.....	14-2
コードレスシステムのケーブルおよびバッテリーの交換.....	14-2
ベースユニットのインターフェースケーブルの交換.....	14-2
Xenon スキャナバッテリーの交換.....	14-3
Granit スキャナバッテリーの交換.....	14-3
スキャナのトラブルシューティング.....	14-3
コードレスシステムのトラブルシューティング.....	14-4
ベースユニットのトラブルシューティング.....	14-4
コードレススキャナのトラブルシューティング.....	14-4

第 15 章 カスタマーサポート

テクニカルサポート.....	15-1
製品のサービスと修理.....	15-1

付録 A - 付録チャート

シンボルチャート.....	A-1
リニアシンボル.....	A-1
2次元シンボル.....	A-2
郵便シンボル.....	A-2
ASCII 換算チャート (Code Page 1252).....	A-3
下位 ASCII R リファレンステーブル.....	A-4
ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換.....	A-7
ユニコードキーマップ.....	A-10

サンプルシンボル

プログラミングチャート

はじめに

本マニュアルについて

本書では、Xenon™ 1900 と 1910 エリアイメージングスキャナならびに Xenon1902 と 1920 コードレスエリアイメージングスキャナ、Granit1910i と 1980i 産業用スキャナと Granit1911i と 1981i コードレス産業用スキャナの使用方法と設定の手順について説明しています。また、製品の仕様、外形寸法、保証内容、およびカスタマーサポートに関する情報も含まれています。

ハネウェル社のバーコードスキャナは、工場出荷時に一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。設定変更が必要な場合は、本書記載のバーコードを読み取ってプログラム設定してください。

アスタリスク (*) が付いているオプションは工場出荷時の設定を示しています。

製品の開梱

梱包箱開封後、以下の手順に従ってください。

- ・ 出荷中の損傷がないか確認します。損傷があった場合は、すぐに配送した運送会社に連絡してください。
- ・ 箱の中身に間違いがないか確認します。
- ・ 返却もしくは保管用に、梱包箱はそのまま保管ください。

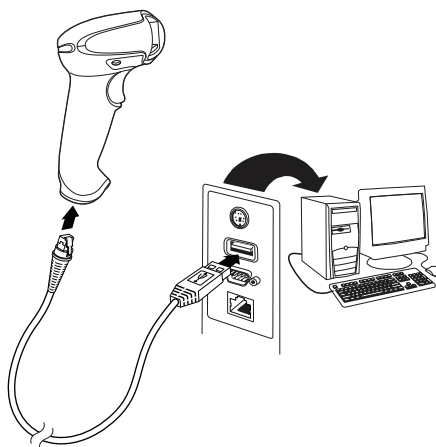
接続

USB での接続

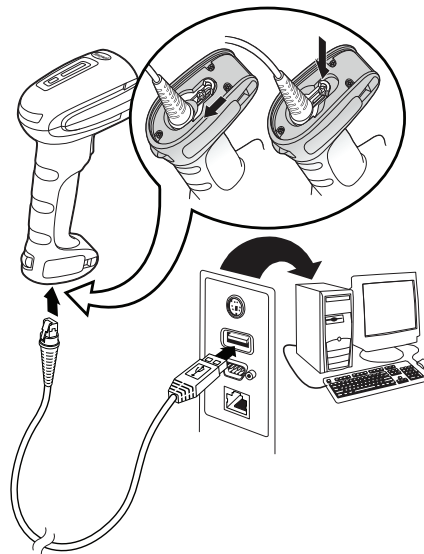
スキャナもしくはベースをホストデバイスの USB ポートに接続します。

1. まず、適切なインターフェースケーブルとスキャナを接続し、次にホストデバイスと接続します。

Xenon 1900 コード付き
スキャナの USB 接続

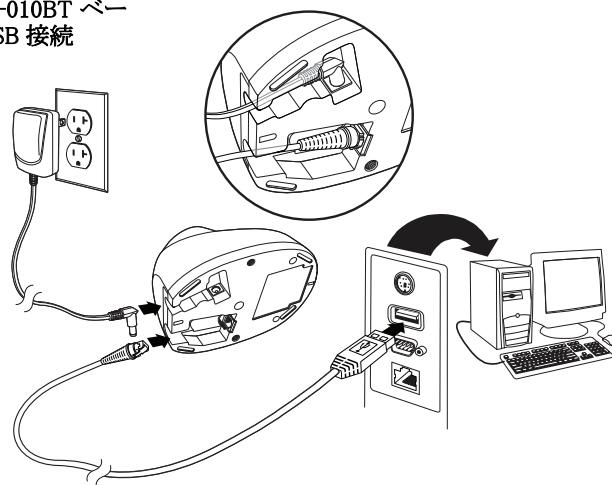


Granit コード付きス
キャナの USB 接続

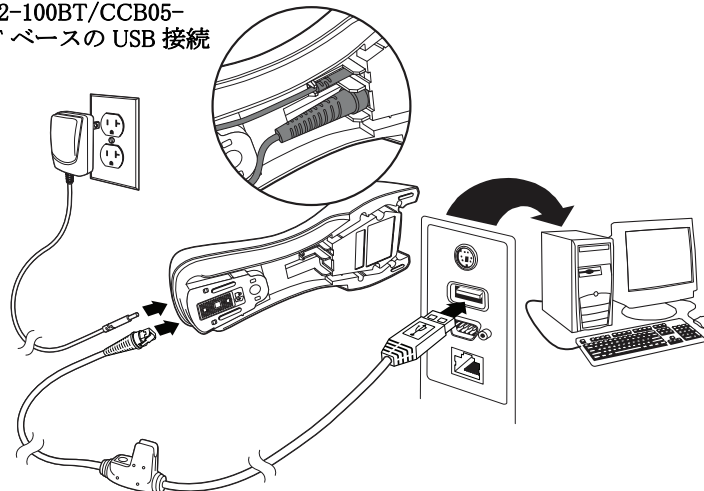


2. Granit スキャナに接続する場合、ケーブルがスキャナにしっかり差し込まれているか確認してください。ロッキングプレートを緩め、ケーブルコネクタの底面の上にスライドさせてケーブルをロックしてください。ネジをしっかり締めてください。

CCB01-010BT ベー
スの USB 接続



CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースの USB 接続



Note: 必要な場合、電源を別途購入してください。

3. CCB01-010BT ベースを接続する場合、ケーブルがベースの底部にある配線部に固定され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。CCB02-100BT または CCB05-100BT ベースに接続している場合、[CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースの設置](#) on page 1-8 を参照してください。

4. スキャナからピーツという起動音がします。

5. 本書の裏表紙に記載の [Sample Symbols](#) からバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。

この機器は PC USB キーボード用に初期設定されています。その他の USB 端末との接続については [page 2-3](#) を参照してください。

その他の USB のプログラム設定と技術情報については、ウェブサイト www.honeywellaidc.com の『USB Application Note』（USB アプリケーションノート）をご参照ください。

キーボードウェッジ接続

スキャナもしくはコードレスベースはキーボードとホストデバイスの間をキーボード入力と同様にスキャナがデータ出力をするキーボードウェッジで接続できます。

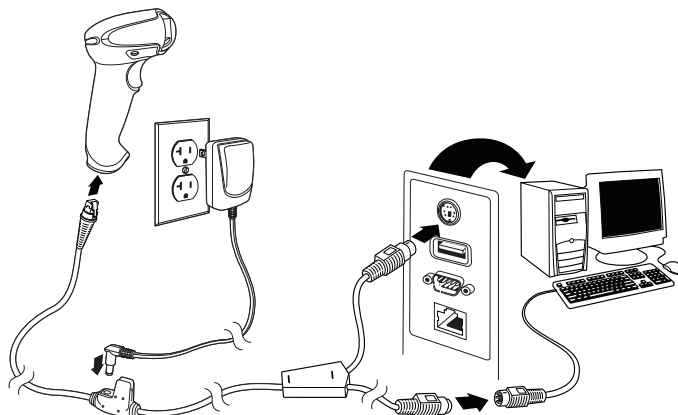
Note: Granit1980i はキーボードウェッジインターフェースをサポートしていません。

以下は、キーボードウェッジ接続の一例です。

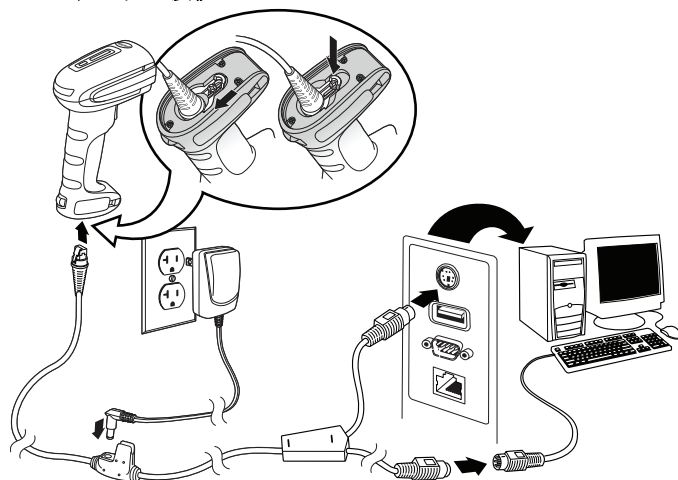
1. ホストデバイスの電源をオフにし、裏側のキーボードケーブル接続をはずします。

2. 適切なインターフェースケーブルをスキャナおよびホストデバイスに接続します。

**Xenon コード付きスキャナ
のキーボードウェッジ接続**

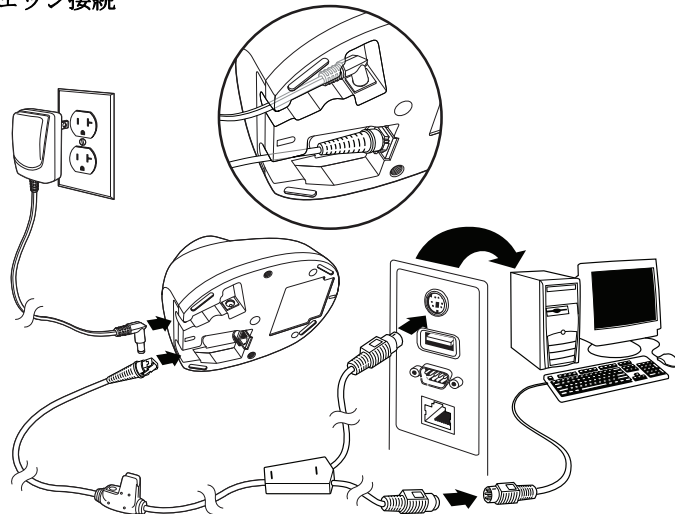


**Granit コードレスベースの
キーボードウェッジ接続**

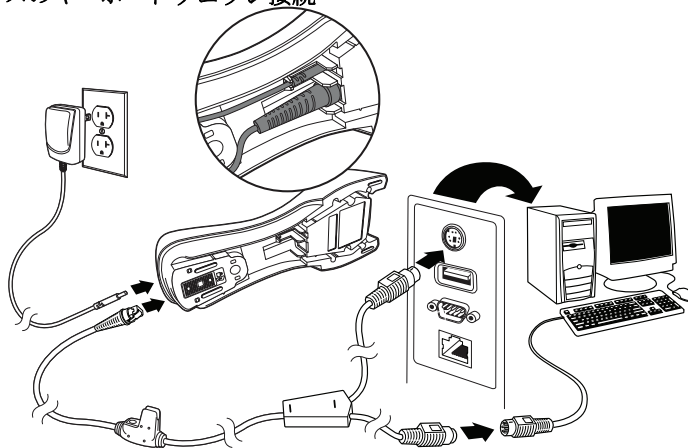


3. Granit スキャナに接続する場合、ケーブルがスキャナにしっかり差し込まれているか確認してください。ロックングプレートを緩め、ケーブルコネクタの底面の上にスライドさせてケーブルをロックしてください。ネジをしっかり締めてください。

CCB01-010BT ベースのキーボードウェッジ接続



CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースのキーボードウェッジ接続



Note: 必要な場合、電源を別途購入してください。

4. CCB01-010BT ベースを接続する場合、ケーブルがベースの底部にある配線部に固定され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。CCB02-100BT または CCB05-100BT ベースに接続している場合、[CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースの設置](#) on page 1-8 を参照してください。
5. 端末/コンピュータの電源をオンにします。スキャナからピーツという起動音がします。
6. 本書の裏表紙に記載の [Sample Symbols](#) からバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。スキャナから 1 回ビープ音が鳴ります。Granit スキャナの場合、振動します。

お使いのスキャナもしくはベースは、IBM PC AT での USA キーボードウェッジインターフェース用に設定されています。バーコードデータにはキャリッジリターン (CR) サフィックスが追加されます。

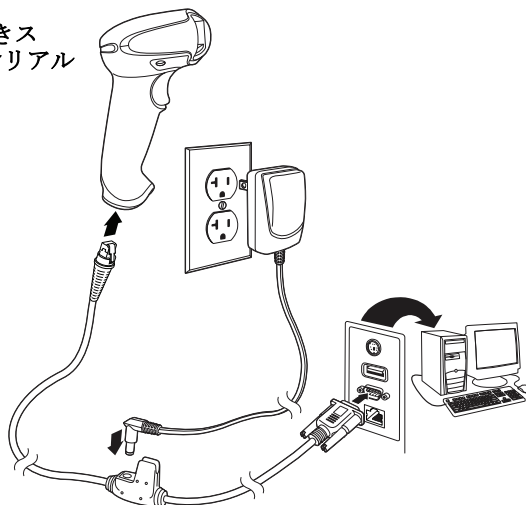
RS232 シリアルポート接続

1. 端末/コンピュータの電源をオフにします。

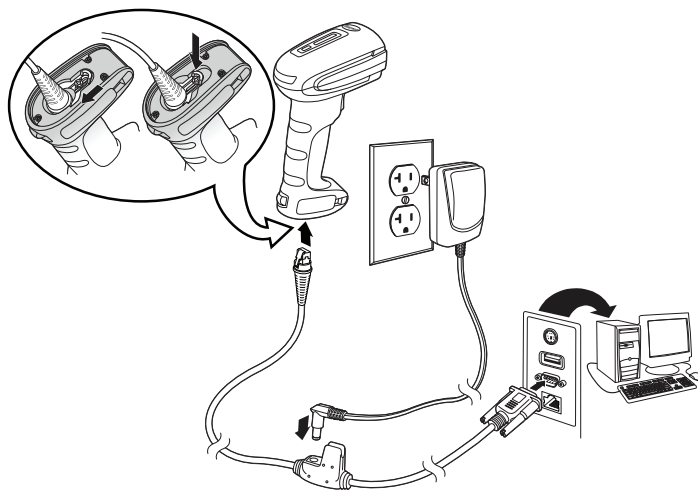
2. 適切なインタフェースケーブルをスキャナに接続します。

Note: スキャナもしくはコードレスベースが正常に作動するようにお使いのホストデバイスに適したケーブルをご用意ください。

Xenon コード付きス
キャナの RS232 シリアル
ポート接続

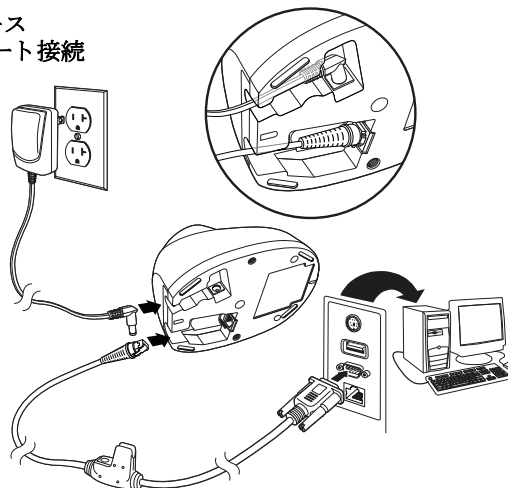


Granit コードレスベースの RS232 シリ
アルポート接続

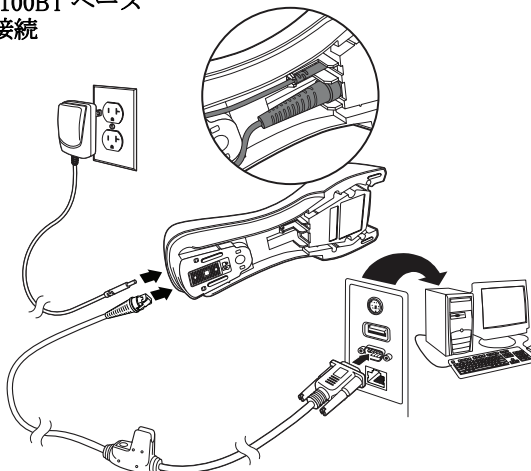


3. Granit スキャナに接続する場合、ケーブルがスキャナにしっかり差し込まれているか確認してください。ロックングプレートを緩め、ケーブルコネクタの底面の上にスライドさせてケーブルをロックしてください。ネジをしっかり締めてください。

**CCB01-010BT ベース
RS232 シリアルポート接続**



**CCB02-100BT/CCB05/100BT ベース
RS232 シリアルポート接続**



Note: 必要な場合、電源を別途購入してください。

4. CCB01-010BT ベースを接続する場合、ケーブルがベースの底部にある配線部に固定され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。CCB02-100BT または CCB05-100BT ベースに接続している場合、[CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースの設置](#) on page 1-8 を参照してください。
5. シリアルコネクタをコンピュータのシリアルポートに差し込みます。2本のネジを締めてコネクタをポートに固定します。
6. スキャナもしくはコードレスベースの接続が完了したら、コンピュータの電源を入れます。

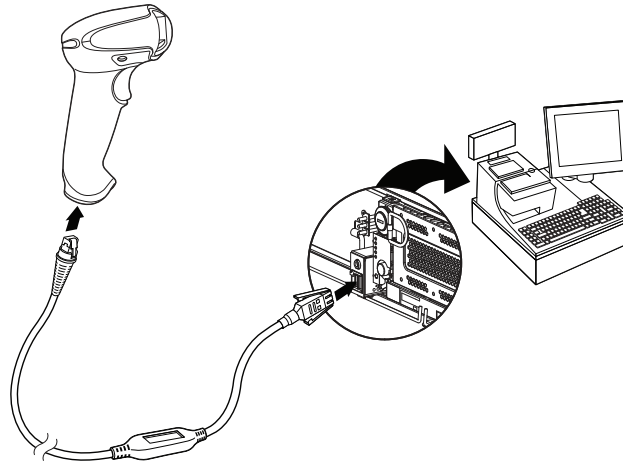
このインターフェースはボーレート 115,200、8 データバイト、パリティ無し、1 ストップビットに設定されています。

RS485 接続

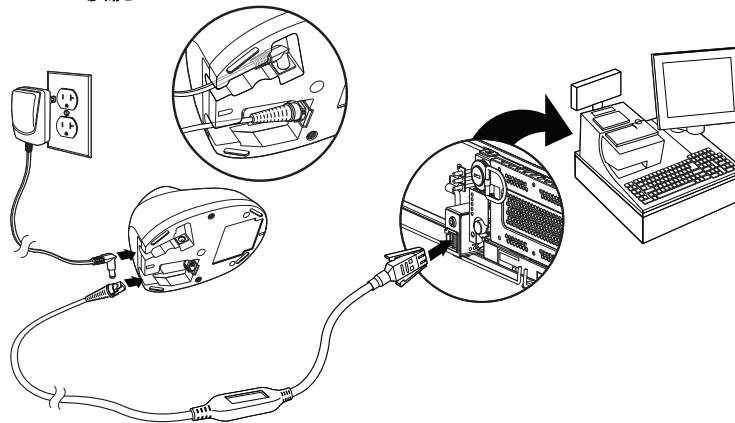
Xenon スキャナまたはコードレスベースを IBM POS 端末と接続します。(このインターフェースは Granit デバイスにはごさいません。)

1. まず、適切なインターフェースケーブルをスキャナ / コードレスベースに接続した後、ホストデバイスに接続します。

Xenon コード付きスキャ
ナの RS485 接続



CCB01-010BT ベースの
RS485 接続

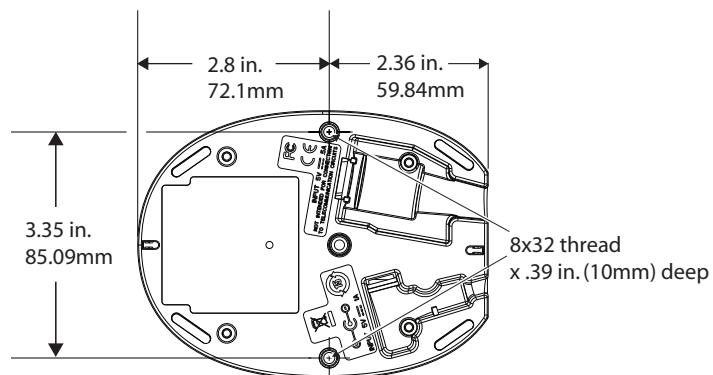


Note: 必要な場合、電源を別途購入してください。

2. ケーブルがベースの底部にある配線部に固定され、コードレスベースが水平な台の上にまっすぐ置かれているか確認します。
3. 端末/コンピュータの電源をオンにします。スキャナからピーツという起動音がします。
4. 本書の裏表紙に記載の [Sample Symbols](#) からバーコードを読み取り、スキャナまたはコードレスベースの動作を確認してください。スキャナから 1 回ビープ音が鳴ります。Granit スキャナの場合、振動します。

詳しい RS485 の設定については [RS485](#), page 2-2 を参照してください。

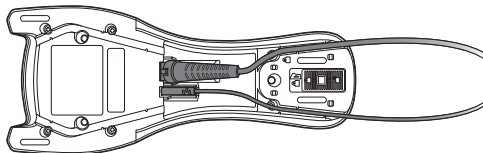
CCB01-010BT への設置



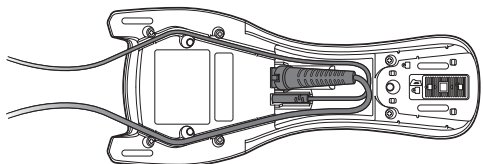
CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースの設置

CCB02-100BT および CCB05-100BT ベースは水平面または垂直面のどちらからでも設置できます。ケーブルはベースの上面または底面のどちらからでも配線可能です。

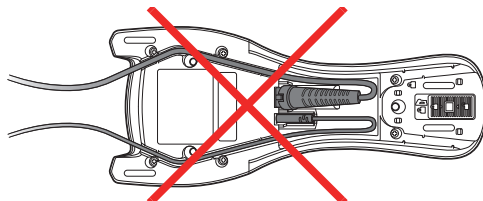
ケーブルはベース底面から配線部にそって配線可能です。



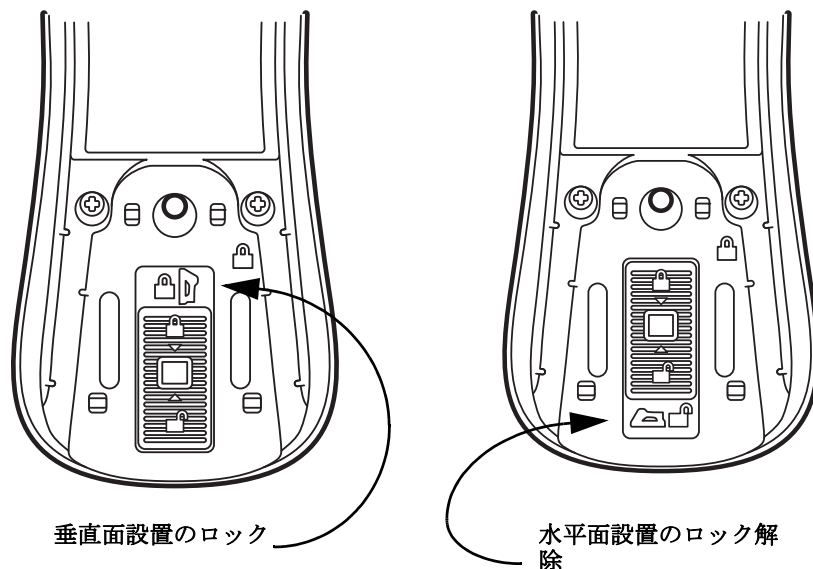
ケーブルはベース上面から配線部にそって配線可能です。



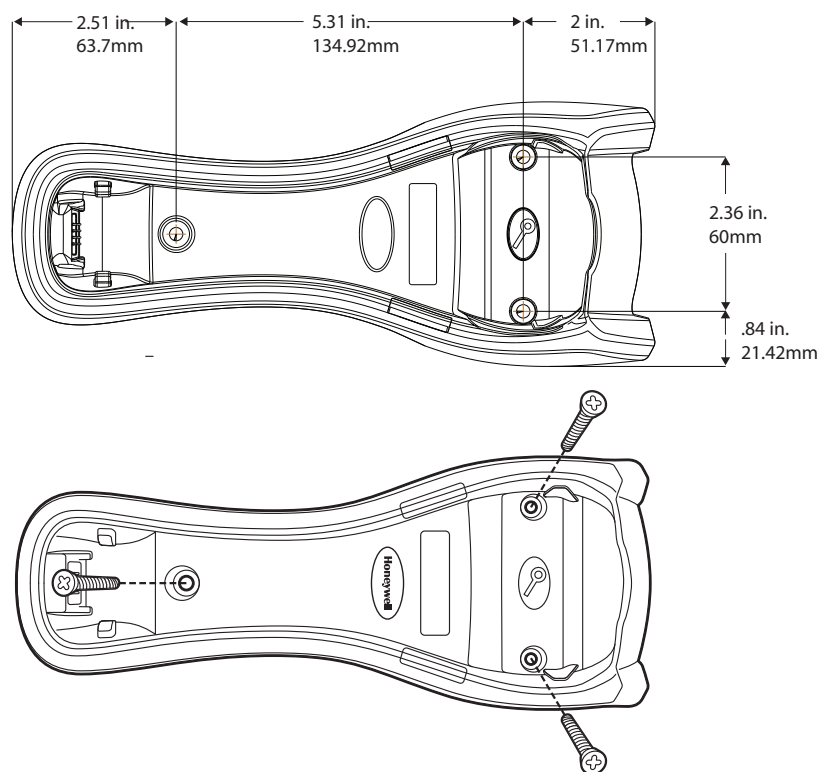
ケーブルをベースの上面から配線する場合、配線部に通す前にケーブルを交差させてください。交差させないと、ケーブルに過度の力が加わってしまいます。



垂直面に設置する場合、ロックシステムでスタンドに置いたスキャナを保護します。水平面に設置する場合、ロックを解除にセットしてください。(上に押し込む) 垂直面に設置する場合、ロックをオンにしてください。(下に押し込む)



取付面の素材に適した 30mm のネジを使用し、ベースを安全に取り付けてください。



読み取り方法

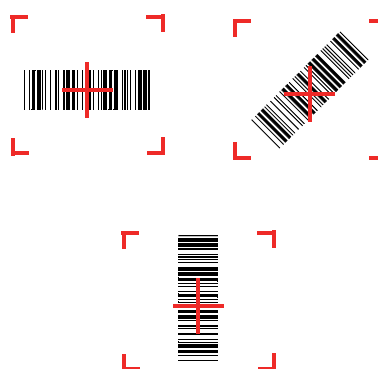
Xenon 1900/1902/1910/1912 および Granit 1910i/1911i

Xenon1900/1902 スキャナにはスキャナの横方向の視界に相当する明るい赤のエイミングビームを投射するビューファインダがあります。Xenon 1910/1912 および Granit 1910i/1911i スキャナにはエイミングパターンがあります。エイミングビームは、バーコードの中央に合わせてください。ただし、読み取りやすくするためにどの方向にしてもかまいません。

1次元バーコード (エイミングビームあり)



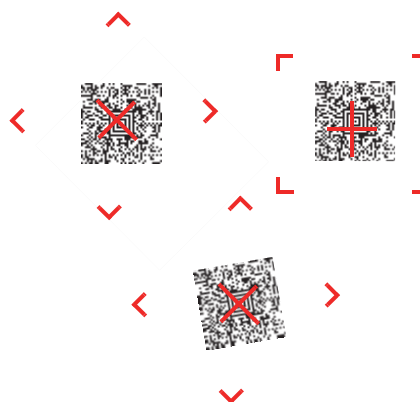
1次元バーコード (エイミングパターンつき)



2次元シンボル (エイミングビームあり)

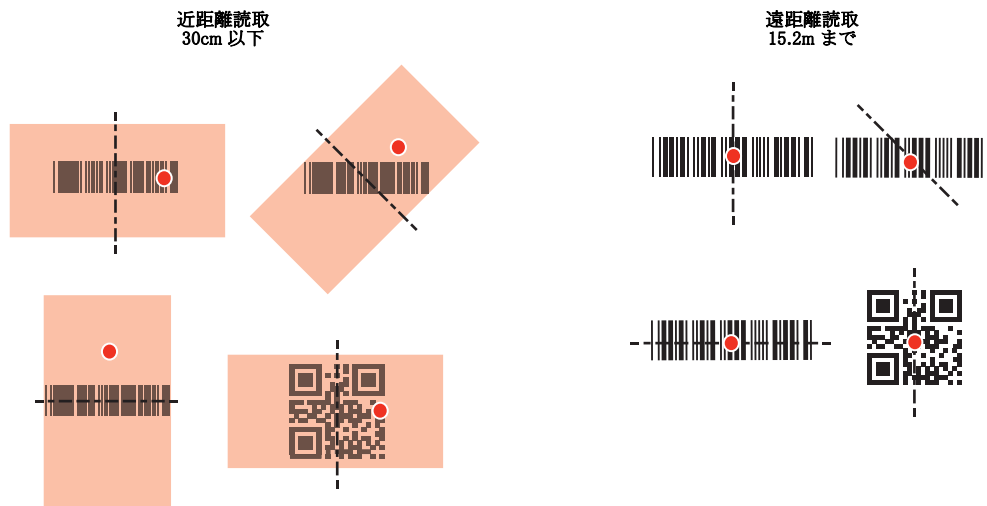


2次元シンボル (エイミングパターンつき)



Granit 1980i/1981i

Granit 1980i/1981i スキャナはレーザーエイマー（赤いドット）と LED（赤いボックス）を使用します。近距離（30cm 以下）のバーコードを読む場合は LED を使用し、バーコード上にセンターボックスを置きます。レーザーエイマー（赤いドット）がバーコードの中心の右に現れます。遠距離（15.2m まで）のバーコードを読み取る場合は、レーザーエイマー（赤いドット）を使用し、バーコードの中心に合わせてください。遠距離では赤いボックスが見えないかもしれません。近距離遠距離の両方で、読み取りやすくするためにエイマーはどの方向でも構いません。



エイミングビームは、スキャナがバーコードに近づくと小さくなり、遠ざかると大きくなります。バーまたはエレメントが小さなシンボル（ミルサイズ / 分解能）はスキャナを近づけて読み取り、大きなシンボル（ミルサイズ / 分解能）は離して読み取ってください。1 個または複数のシンボル（1 ページまたは 1 個の物体の）を読み取るときは、目標から適切な距離でスキャナを保持し、トリガを引き、エイミングビームをシンボルの中心に合わせます。読み取るバーコードの反射が大きい場合は（ラミネートされている場合など）、無用な反射を避けるため、バーコードを 15 度～18 度傾けることが必要な場合があります。

メニューバーコードのセキュリティ設定

ハネウェル社のスキャナ製品はメニューバーコードを読み取るか、シリアルコマンドを送るよう設計されています。メニューコード読み取りを規制したい場合は、メニューバーコードのセキュリティ設定をご利用可能です。詳しくは、お近くのテクニカルサポートオフィス (see [Technical Assistance](#) on page 15-1) にご連絡ください。

カスタムデフォルトの設定

お客様自身のカスタムデフォルトのメニューコマンドをお作りになることができます。そのためには、以下の保存したいメニューコマンドもしくはシーケンスの前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）バーコードを読み取ってください。コマンドが裏表紙から数字のコードを読み取る必要がある場合は、そのあとに Save（保存）のコードを読み取ればシーケンス全体がカスタムデフォルトとして保存されます。次のカスタムデフォルトのためのコマンドを保存する前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）コードを再度読み取ります。



MNUCDP.

カスタムデフォルトの設定



MNUCDS.

カスタムデフォルトの保存

Note: コードレスシステムを使用する場合、カスタムデフォルト設定はすべてのワークグループに適用されます。コードレスシステムを使用している場合、**Save Defaults** バーコードをスキャンすることでスキャナとベースの両方、またはアクセスポイントにリセットを実行し、リンク非接続になります。リンクを再確立するには、セットアップコードが入力される前にスキャナをベースに置かれなければなりません。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細は [Cordless System Operation beginning on page 3-1](#) を参照してください。

複数のカスタムデフォルトがあり、そのうち1つの設定を変えたい場合は、古い設定を上書きするだけです。例えば、ブザーの音量をカスタムデフォルトでは「低」に設定しており、「高」に変更しようと思う場合、Set Custom defaults バーコードを読み取り、それから Beeper Volume High（ブザー音量 大）バーコードを読み取った後に Save Custom defaults を読み取るだけです。他のカスタムデフォルトは残り、ブザー音量の設定は更新されます。

カスタムデフォルトの再設定

ご使用のスキャナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults（カスタムデフォルトを起動）バーコードを読み取ってください。これは多くのユーザーのために推奨するデフォルトバーコードです。これはスキャナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルトを起動

Note: コードレスシステムをご使用の場合、Save Defaults バーコードを読み取ると、スキャナとベースにもリセットを実行し、非接続となってしまいます。設定リンクを再構築するには、セットアップコードが入力される前にスキャナをベースに置かれなければなりません。コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナをベースに置いてください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細は [Cordless System Operation beginning on page 3-1](#) を参照してください。

インターフェースの設定

はじめに

この章では、最適なインターフェースのためのシステム設定についてご紹介します。

インタフェースのプログラム設定 - プラグ & プレイ

プラグ & プレイのバーコードで、一般的に使用されているインタフェース用に簡易スキャナセットアップを行うことができます。

Note: コードの1つを読み取った後、ホスト端末インターフェースを有効にするため、再起動する必要があります。

キーボードウェッジ

ご使用のシステムを IBM PC AT 互換機 やアメリカ向けのキーボードと互換性のあるキーボードウェッジインターフェースで設定される場合は、以下のバーコードを読み取ってください。キーボードウェッジは初期設定のインターフェースです。

Note: Granit1980i はキーボードウェッジインターフェースをサポートしていません。

Note: 以下のバーコードを読み取ると、キャリッジリターン (CR) サフィックスも有効になります。



ノート型 PC との直接接続

ほとんどのノート型 PC の場合、**Laptop Direct Connect** のバーコードを読み取ることで、内蔵キーボードとの同時操作が可能になります。以下の Laptop Direct Connect バーコードもまたキャリッジリターン (CR) サフィックスの設定を行い、外付けキーボード [page 2-16](#) の使用を有効にします。

Note: Granit 1980i はノート型 PC との直接接続に対応していません。



RS232 シリアルポート

RS232 Interface バーコード はパソコンもしくは端末のシリアルポートとの接続に用います。以下の RS232 Interface バーコード もキャリッジリターン (CR) やラインフィード (LF) サフィックス、ならびに以下で示されるようなボーレートやデータフォーマット設定を行います。またトリガーモードもマニュアルに変換します。

オプション	設定
ボーレート	115,200 bps
データフォーマット	8 データビット、パリティビットなし、1 ストップビット



RS485

IBM POS の端末インターフェースヘスキャナを接続する場合は、以下のいずれかの設定バーコードを読み取ってください。

Note: このインターフェースは Granit デバイスではサポートしていません。
これらのバーコードの1つを読み取った後は、かならずキャッシュレジスタを再起動してください。



PAPP5B.

IBM ポート 5B インターフェース



PAP9B1.

IBM ポート 9B
HHBCR-1 インターフェース



PAPP17.

IBM ポート 17 インターフェース



PAP9B2.

IBM Port 9B
HHBCR-2 インターフェース

前述の各バーコードは以下のそれぞれのシンボルへのサフィックスを設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128 *	00 0A 0B
UPC E	0A	Code 128 **	00 18 0B
		MaxiCode	00 2F 0B

* サフィックスは IBM 4683 Port 5B、IBM 4683 Port 9B、HHBCR-1、ならびに IBM 4683 Port 17 インターフェース用の Code 128 に設定されています。

**サフィックスは IBM 4683 Port 9 HHBCR-2 インターフェース Code 128 用に設定されています。

RS485 パケットモード

以下を選択すると、IBM POS 端末上で大きいバーコードデータを小さいパケットへと分割することができます。大きいバーコードデータを小さいパケットへと分割するには、以下の Packet Mode On バーコードを読み取ってください。大きいバーコードデータを1つのかたまりとしてホストへ送りたい場合は、Packet Mode Off バーコードを読み取ってください。初期設定 = Packet Mode Off (パケットモード 無効)



RTLPDF0.

* パケットモード 無効



RTLPDF1.

パケットモード 有効

RS485 パケットの長さ

パケットモード使用の際は、ホストに送られる「パケット」データのサイズを指定することができます。Packet Length（パケットの長さ）バーコードを読み取り、次に本書の裏表紙にある [プログラミングチャート](#) からパケットサイズ（20 ～ 256 の間）を選び、**Save**（保存）を読み取ります。初期設定 = 40



RTLMPS.

パケットの長さ

USB IBM SurePos

以下の「プラグ&プレイ」コードのうち一つを読み取り、IBM SurePos (USB ハンドヘルドスキャナ) もしくは IBM SurePos (USB 卓上スキャナ) インターフェースの設定を行ってください。

Note: 設定バーコード読み取り後、キャッシュレジスターを再起動して、インターフェースを有効にしてください。



PAPSPH.

USB IBM SurePos
USB ハンドヘルドスキャナインターフェース



PAPSPT.

USB IBM SurePos
USB 卓上スキャナインターフェース

上記の各バーコードでは、シンボルごとに以下のサフィックスもプログラム設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128	00 18 0B
UPC E	0A	Code 39	00 0A 0B

パソコン USB もしくはマッキントッシュのキーボード

以下のコードのうち一つを読み取り、パソコンの USB キーボードもしくはマッキントッシュの USB キーボード U の設定を行ってください。これらのコードを読み取ると、CR ならびに LF も追加されます。



PAP124.

USB キーボード - PC



PAP125.

USB キーボード - Mac



TRMUSB134.

USB 日本語キーボード - PC

USB HID

以下のコードのうち一つを読み取り、USB HID バーコードスキャナのスキヤナ設定を行ってください。



PAP131.

USB HID バーコードスキャナ

USB シリアル

以下のコードを読み取り、標準の RS232C ベースの COM Port にエミュレートするようスキヤナを設定してください。お客様が Microsoft® Windows® のパソコンをお使いの場合は当社ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) からドライバーをダウンロードしていただく必要があります。ドライバーは次に空いている COM ポートに接続します。Apple® マッキントッシュコンピュータの場合は、スキヤナを USB CDC クラスデバイスとして認識し、自動でクラスドライバーを使用します。



TRMUSB130.

USB シリアル

Note: 他の設定（ボーレートなど）は不要です。

CTS/RTS エミュレーション



USBCTS1.

CTS/RTS エミュレーション 有効



USBCTS0.

* CTS/RTS エミュレーション 無効

ACK/NAK モード



USBACK1.

ACK/NAK モード 有効



USBACK0.

* ACK/NAK モード 無効

USB 用 Remote MasterMind™

USB インターフェースの場合で、Remote MasterMind Scanner Management Software (ReM) と通信する設定を行いたい場合、ReM と通信するために、**ReM オン** バーコードを読み取ります。この機能を無効にするには、**ReM オフ**をスキャンします。



REMIFC0.

ReM オフ



REMIFC1.

ReM オン

Verifone® Ruby 端末の初期設定

Verifone Ruby 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このこのバーコードはボーレートを 1200 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1 ストップビットにします。また、ラインフィード (LF) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定を行います。

シンボル	プレフィックス
UPC-A	A
UPC-E	A
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPRBY.

Verifone Ruby の設定

Gilbarco® 端末の初期設定

Gilbarco 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 2400 bps に、データフォーマットを 7 データビット、偶数パリティビット、2 ストップビットにします。また、キャリッジリターン (CR) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定を行います。

シンボル	プレフィックス
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPGLB.

Gilbarco の設定

Honeywell 2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Honeywell 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 38400 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1 ストップビットにします。



PAPBIO.

Honeywell2 面式カウンタースキャナの設定

Datalogic™ Magellan®2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Datalogic Magellan 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1 ストップビットにします。



PAPMAG.

Datalogic Magellan2 面式カウンタースキャナの設定

NCR2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

NCR 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プレフィックス	シンボル	プレフィックス
UPC-A	A	Interleaved 2 of 5	b
UPC-E	E0	Code 128	f
		GS1 DataBar	r
		Omnidirectional	
EAN-8	FF	GS1 DataBar	r
		Expanded	
EAN-13	F	Codabar	N
Code 39	a	Code 32	a
		Pharmaceutical	
		(PARAF)	



PAPNCR.

NCR2 面式カウンタースキャナの設定

Wincor Nixdorf 端末の初期設定

Wincor Nixdorf 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1 ストップビットに設定します。



PAPWNX.

Wincor Nixdorf 端末の設定

Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定

Wincor Nixdorf Beetle 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プレフィックス	シンボル	プレフィックス
Aztec Code	V	Interleaved 2 of 5	I
Codabar	N	MaxiCode	T
Code 93	L	MicroPDF417	S
Code 128	K	PDF417	Q
Data Matrix	R	QR Code	U
EAN-8	B	Straight 2 of 5 IATA	H
EAN-13	A	UPC-A	A0
GS1 DataBar	E	UPC-E	C
GS1-128	P	その他すべてのバーコード	M



PAPBTL

Wincor Nixdorf Beetle の設定

Wincor Nixdorf RS232 モード A

Wincor Nixdorf RS232 モード A 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1 ストップビットに設定します。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

Note: このインターフェースは Granit デバイスではサポートしていません。

シンボル	プレフィックス	シンボル	プレフィックス
Code 128	K	EAN-13	A
Code 93	L	GS1-128	K
Codabar	N	Interleaved 2 of 5	I
UPC-A	A0	Plessey	O
UPC-E	C	Straight 2 of 5 IATA	H
EAN-8	B	GS1 DataBar	E
その他すべてのバーコード	M		



PAPWMA

Wincor Nixdorf RS232 モード A の設定

国別キーボード

USB キーボードまたはキーボードウェッジインターフェースの場合、キーボードはアメリカキーボードに初期設定されています。以下から該当する国コードを読み取り、自国もしくは自言語用のキーボードを設定します。原則として、以下の記号をサポートしますが、米国以外の国では特別な留意が必要です。**# \$ @ [¥] ^ ‘ { | } ~**. 各国のキャラクタ変換を見るには ["ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換" on page A-7](#) を参照してください。

国別キーボード



KBDCTY0.

* アメリカ



KBDCTY35.

アルバニア



KBDCTY81.

アゼリー キリル文字



KBDCTY80.

アゼリー ラテン



KBDCTY82.

ベラルーシ



KBDCTY1.

ベルギー



KBDCTY33.

ボスニア



KBDCTY16.

ブラジル



KBDCTY59.

ブラジル MS



KBDCTY52.

ブルガリア キリル文字

国別キーボード (Continued)



KBDCTY53.
ブルガリア ラテン



KBDCTY18.
カナダ フランス語



KBDCTY32.
クロアチア



KBDCTY40.
チェコ プログラマー



KBDCTY38.
チェコ QWERTZ



KBDCTY11.
オランダ



KBDCTY54.
カナダ (フランス語 Legacy)



KBDCTY55.
カナダ 多言語



KBDCTY15.
チェコ



KBDCTY39.
チェコ QWERTY



KBDCTY8.
デンマーク

国別キーボード (Continued)



KBDCTY83.
フェロー語



KBDCTY3.
フランス



KBDCTY4.
ドイツ



KBDCTY64.
ギリシャ 220 ラテン



KBDCTY65.
ギリシャ 319 ラテン



KBDCTY41.
エストニア



KBDCTY2.
フィンランド



KBDCTY84.
ゲール語



KBDCTY17.
ギリシャ



KBDCTY61.
ギリシャ 220



KBDCTY62.
ギリシャ 319

国別キーボード (Continued)



KBDCTY63.
ギリシア ラテン



KBDCTY60.
ギリシャ Polytonic



KBDCTY50.
ハンガリー語 101 キー



KBDCTY75.
アイスラン



KBDCTY56.
イタリア語 142



KBDCTY28.
日本語



KBDCTY66.
ギリシャ MS



KBDCTY12.
ヘブライ語



KBDCTY19.
ハンガリー



KBDCTY73.
アイルランド



KBDCTY5.
イタリア

国別キーボード (Continued)



KBDCTY79.
キルギスタン キリル文字



KBDCTY42.
ラトビア



KBDCTY44.
リトアニア



KBDCTY34.
マケドニア



KBDCTY86.
モンゴル キリル文字



KBDCTY78.
カザフスタン



KBDCTY14.
ラテンアメリカ



KBDCTY43.
ラトビア QWERTY



KBDCTY45.
リトアニア IBM



KBDCTY74.
マルタ



KBDCTY9.
ノルウェー

国別キーボード (Continued)



KBDCTY20.
ポーランド



KBDCTY58.
ポーランド語 プログラマー



KBDCTY25.
ルーマニア



KBDCTY67.
ロシア MS



KBDCTY21.
SCS



KBDCTY36.
セルビア ラテン



KBDCTY57.
ポーランド語 214



KBDCTY13.
ボルトガル語



KBDCTY26.
ロシア



KBDCTY68.
ロシア タイプライター



KBDCTY37.
セルビア キリル文字

国別キーボード (Continued)



KBDCTY49.
スロヴァキア QWERTY



KBDCTY31.
スロヴェニア



KBDCTY51.
スペイン語 変動



KBDCTY29.
スイス フランス語



KBDCTY85.
タタール語



KBDCTY22.
スロヴァキア



KBDCTY48.
スロヴァキア QWERTZ



KBDCTY10.
スペイン



KBDCTY23.
スウェーデン



KBDCTY6.
スイス ドイツ語



KBDCTY27.
トルコ F

国別キーボード (Continued)



KBDCTY24.
トルコ Q



KBDCTY76.
ウクライナ



KBDCTY7.
イギリス



KBDCTY87.
アメリカ Dvorak



KBDCTY88.
アメリカ Dvorak left



KBDCTY89.
アメリカ Dvorak right



KBDCTY30.
アメリカ インターナショナル



KBDCTY77.
ウズベキスタン キリル文字

キーボードスタイル

Caps Lock や Shift Lock などのキーボードスタイルを設定します。キーボードの変換設定を行った場合は、以下のキーボードスタイル設定すべてを上書きします。初期設定 = Regular (レギュラー)

通常、Caps Lock キーがオフの場合は、Regular を使用します。



KBDSTY0.
*レギュラー

通常、Caps Lock キーがオンの場合は Caps Lock を使用します。



KBDSTY1.
Caps Lock

通常、Shift Lock キーがオンの場合は、Shift Lock を使用します。(アメリカキーボードでは通常不使用。)



Caps Lock キーのオン/オフを切り換える場合は、Automatic Caps Lock を使用します。キーをオン/オフすると、ソフトが追跡反応確認して自動的に対応します。この設定を使用できるのは、Caps Lock の状態を確認する LED があるシステム (AT キーボード) の場合のみです。



Caps Lock の切り換えに Caps Lock キーを使用できない国 (ドイツ、フランスなど) では Autocaps via NumLock のバーコードを読み取ります。NumLock オプションは、通常の Autocaps と同じ働きをしますが、Caps Lock. の現在の状態を確認するには、NumLock を使用します。



外付けキーボード (IBM AT または相当品) を使用していない場合は、Emulate External Keyboard を読み取ります。



Note: Emulate External Keyboard のバーコードを読み取った後は、コンピュータをかならず再起動してください。

キーボードの変換

アルファベットのキーボード文字を強制的にすべて大文字またはすべて小文字にできます。例えば、「abc569GK」というバーコードの場合、Convert All Characters to Upper Case バーコードを読み取ると、「ABC569GK」と出力させることができます。また、Convert All Characters to Lower Case バーコードを読み取ると、「abc569gk」と出力します。

この設定はキーボードスタイルキーボードスタイルでの設定を上書きします。

Note: お使いのインターフェースがキーボードウェッジの場合は、自動 Caps Lock 自動 Caps Lock (page 2-16) のメニューコードをまず読み取ってください。そうでない場合はご希望と違う出力になることがあります。

初期設定 = Keyboard Conversion Off (キーボードの変換 無効)





KBDCNV2.

すべてのキャラクタを小文字に変換

コントロールキャラクタの出力

この機能を選択すると、コントロールキャラクタの代わりにテキスト文字列を送信します。例えば、キャリッジリターンのためのコントロールキャラクタが必要なとき、ASCII コードの 0D の代わりに、「CR」と出力表示されます。ASCII 変換チャート（コードページ 1252）[ASCII 変換チャート（コードページ 1252）](#) on page A-3 を参照してください。00 から 1 F までが変換されます（チャートの最初の列）。初期設定 = Off 初期設定 = Off（無効）

Note: Control + ASCII モードはこのモードを上書きします。



KBDNPE1.

コントロールキャラクタ出力 有効



KBDNPE0.

* コントロールキャラクタ出力 無効

キーボード設定

ここでは、CTRL+ ASCII コードやターボモードといった特別なキーボードの機能調節を行います。

Control + X (Control + ASCII) Mode On: 00 ～ 1F の値について、ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせさせて送信します。Windows は推薦モードです。すべてのキーボードの国別コードがサポートされています。DOS モードはレガシーモードであり、すべてのキーボードの国別コードをサポートしているわけではありません。新規ユーザーは Windows モードをお使いください。CTRL+ ASCII の値については、[キーボードファンクションの関係](#)，page 10-1 のキーボードファンクションの対応を参照してください。

Windows Mode Prefix/Suffix Off: 00 ～ 1F の値について ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせさせて送信しますが、プリフィクスならびにサフィックスの情報転送は一切行いません。

初期設定 = Control + ASCII Mode Off (Control + ASCII モード 無効)



KBDCAS2.

Windows モードの Control + X モード 有効



KBDCAS0.

* Control + X モード 無効



KBDCAS1.

DOS モードの Control + X モード 有効



KBDCA3.

Windows Mode Prefix/Suffix Off

Turbo Mode: ターミナルへのキャラクタ送信を高速化します。ターミナルでキャラクタの読み落としがある場合は使用しないでください。初期設定 = Off (無効)



KBDTMD1.

ターボモード 有効



KBDTMD0.

* ターボモード 無効

数字キーパッドモード: テンキーで入力したように数字を送信します。初期設定 = Off



KBDNPS1.

数字キーパッドモード 有効



KBDNPS0.

* 数字キーパッドモード 無効

自動直接接続モード: IBM AT 型のターミナルを使用し、システムでキャラクタの読み落としがある場合に使用できます。初期設定 = Off (無効)



KBDADC1.

自動直接接続モード 有効



KBDADC0.

* 自動直接接続モード 無効

RS232 モディファイヤ

RS-232 ボーレート

スキャナからターミナルに指定の速度でデータを送信します。ホストターミナルは、スキャナとかならず同じボーレートに設定してください。初期設定 = 115,200



232BAD0.

300



232BAD1.

600



232BAD2.

1200



232BAD3.

2400



232BAD4.

4800



232BAD5.

9600



232BAD6.

19200



232BAD7.

38400



232BAD8.

57,600



232BAD9.

* 115,200

RS232 ワード長：データビットストップビットパリティ

データビットはワード長をキャラクタあたり 7 または 8 データビットに設定します。アプリケーションで必要なのが ASCII Hex キャラクタの 0 ~ 7F (文字、数値、句読点) だけの場合は、7 データビットを選択してください。フルセットの ASCII キャラクタを使用するアプリケーションでは、キャラクタあたり 8 データビットを選択します。初期設定 = 8

ストップビットは 1 または 2 に設定します。初期設定 = 1

パリティはキャラクタビットパターンが適正かどうかをチェックします。

初期設定 = None



232WRD3.

7 データビット、1 ストップビット、偶数



232WRD0.

7 データビット、1 ストップビット、パリティ無し



232WRD6.

7 データビット、1 ストップビット、奇数



232WRD4.

7 データビット、2 ストップビット、偶数



232WRD1.

7 データビット、2 ストップビット、パリティ無し



232WRD7.

7 データビット、2 ストップビット、奇数



232WRD5.

8 データビット、1 ストップビット、偶数



232WRD2.

* 8 データビット、1 ストップビット、パリティ無し



232WRD8.

8 データビット、1 ストップビット、奇数



232WRD14.

8 データビット、1 ストップビット、パリティマーク

RS232 レシーバタイムアウト

スキャナは RS232 レシーバタイムアウトが切れるまで、データを受信するために待機しています。マニュアルまたはシリアルトリガーでタイムアウトをリセットします。RS232 レシーバがスリープ中の場合、キャラクタを送信してレシーバを起動し、タイムアウトをリセットすることができます。CTS ライン上のトランザクションでも、レシーバを起動します。レシーバが完全に起動するには 300 ミリ秒かかります。次のバーコードを読み取って RS232 Receiver Timeout (RS232 レシーバタイムアウト) を変更し、本書の裏表紙内側から数字を読み取り、次に **Save** (保存) を読み取ります。設定範囲は 0 ~ 300 秒です。設定範囲は 0 ~ 300 秒です。初期値 = 0 秒 (タイムアウトなし = 常時オン)



232LPT.
RS232 レシーバタイムアウト

RS232 ハンドシェイク

RS232 ハンドシェイクとは、ホストデバイスから送信されるソフトウェアコマンドを利用して、スキャナからのデータ送信を制御するものです。RTS/CTS を無効にすると、データのフロー制御はできません。

Flow Control, No Timeout (フロー制御、タイムアウト無し) : 送信するデータがある場合、スキャナは RTS をアサートし、無期限にホストからアサートされた CTS を待ちます。

Two-Direction Flow Control (二方向 フロー制御) : スキャナはホストへの送信が可能な場合、RTS をアサートし、ホストはデバイスへの送信が可能な場合 CTS をアサートします。

Flow Control with Timeout (タイムアウトつきフロー制御) : スキャナは送信するデータがある場合、RTS をアサートし、ホストにアサートされた CTS をディレー (遅延) 分 (see [RS232 タイムアウト](#) on page 2-21) の RS232 タイムアウトを参照) 待ちます。もしディレータイムが過ぎても CTS がアサートされていない場合、デバイスが送るバッファは取り消され、読み取りを再開します。初期設定 = RTS/CTS Off (RTS/CTS 無効)



232CTS1.
フロー制御、タイムアウト無し



232CTS2.
二方向フロー制御



232CTS3.
タイムアウトつきフロー制御



232CTS0.
* RTS/CTS 無効

RS232 タイムアウト

タイムアウトつきのフロー制御を用いる場合は、ホストからの CTS 待機時間の長さを設定しなければなりません。以下のバーコードを読み取り、タイムアウトの長さ (ミリ秒単位) を設定し、裏表紙にある数字を読み取ってタイムアウト (1 ~ 5100 ミリ秒) を設定し、Save (保存) を読み取ってください。



232DEL.
RS232 タイムアウト

XON/XOFF

スキャナヘデータ送信 (XON/XOFF On) や送信中止 (XON/XOFF Off) を行わせる際には標準 ASCII コントロールキャラクターが用いられます。ホストデバイスが XOFF キャラクタ (DC3, hex 13) をスキャナに送信することで送信を一時中断します。送信を再開するには、ホストから XON キャラクタ (DC1, hex 11) を送信します。データ送信は、XOFF 送信によって停止されたところから続行されます。Default = XON/XOFF Off XON/XOFF 無効)



232XON1.
XON/XOFF 有効



232XON0.
* XON/XOFF 無効

ACK/NAK

データ送信の後、スキャナはホストからの ACK キャラクタ (hex 06) もしくは NAK キャラクタ (hex 15) レスポンスを待ちます。ACK を受け取ると、通信は完成し、スキャナはさらなるバーコードを探します。NAK を受け取ると、最後のバーコードが送信され、スキャナは ACK や NAK を再度待ち受けします。ACK/NAK プロトコルを有効にする場合は、以下の ACK/NAK On (ACK/NAK 有効) バーコードを読み取ってください。ACK/NAK プロトコルをオフにする場合は ACK/NAK Off (ACK/NAK 無効) を読み取ります。Default = ACK/NAK Off (ACK/NAK 無効)



232ACK1.
ACK/NAK 有効



232ACK0.
* ACK/NAK 無効

スキャナから 2 面式カウンタースキャナへの通信

以下の設定はハネウェル社製スキャナと 2 面式カウンタースキャナとの通信の接続に用います。

Note: 2 面式カウンタースキャナとの通信には、ボーレートを 38400 に、RS232 タイムアウトを 3000 に設定しなければなりません。詳しくは、See “RS232 モディファイヤ” on page 2-18 と RS232 タイムアウト on page 2-21 をご参照ください。

2 面式カウンタースキャナパケットモード

Packet Mode On (パケットモード 有効) は 2 面式カウンタースキャナとの互換性のために、スキャナのフォーマットを設定するときに読み取ります。初期設定 = Packet Mode Off (パケットモード 無効)



232PKT0.
* パケットモード 無効



232PKT2.
パケットモード 有効

2 面式カウンター式スキャナ ACK/NAK モード

各パケットが送信された後、スキャナが2 面式カウンター式スキャナからの ACK もしくは NAK を待つ場合には Bioptic ACK/NAK On (Bioptic ACK/NAK 有効) を読み取ります。下記の 2 面式カウンター式スキャナ ACK/NAK タイムアウトはスキャナがレスポンスに対しどの程度待つかを制御するものです。初期設定 = Bioptic ACK/NAK Off (2 面式スキャナ ACK/NAK 無効)



232NAK0.

* 2 面式カウンター式スキャナ ACK/NAK
無効



232NAK1.

2 面式カウンター式スキャナ ACK/NAK 有

2 面式カウンター式スキャナ ACK/NAK タイムアウト

2 面式カウンター式スキャナからの ACK/NAK レスポンスに対するタイムアウト時間 (ミリ秒単位) を設定するものです。以下のバーコードを読み取り、裏表紙内側から数字を読み取り、タイムアウト時間 (1 ~ 30,000 ミリ秒) を設定した後、Save (保存) を読み取ります。初期設定 = 5100



232DLK.

ACK/NAK タイムアウト

コードレスシステムの操作

Note: 本章はコードレススキャナのみを対象としています。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。

コードレスチャージベース / アクセスポイントの仕組

コードレスチャージベースまたはアクセスポイントはコードレススキャナとホストシステム間の通信を行います。ベースまたはアクセスポイントはインターフェースアセンブリと無線周波（RF）モジュールから成ります。RF モジュールは、コードレススキャナとインターフェースアセンブリ間のデータ交換を行います。制御アセンブリは中枢インターフェースの動作を調整します。それには、ホストシステムとの間で行われるコマンドやデータの送受信、ソフトウェアの実行（パラメータのメニュー化、視覚インジケータのサポート、パワーオン診断）、ホストシステムのために必要なデータ変換を含みます。

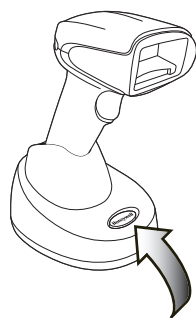
コードレスチャージベースはスキャナの充電器でもあります。詳細については[充電について](#)、page 3-3 を参照してください。

スキャナのチャージベースへの接続

ベースを接続する前に電源をオフにし、ベースが完全に接続された時点でホストデバイスを起動してください。ベースが接続され、ホストデバイスが起動してからスキャナをベースに差しこみ通信します。ベースの緑色の LED が点滅すると、スキャナのバッテリーが充電中であることを示します。

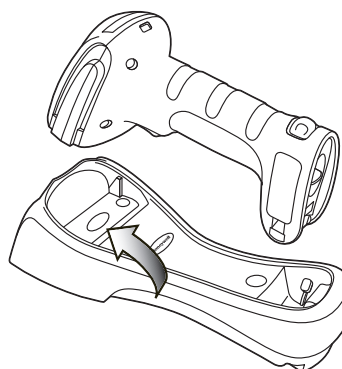
スキャナとベースが以前に通信していた場合は、反応はありません。スキャナとベースが今回初めて通信接続された場合、双方の無線が通信した時点でスキャナとベースの両方から音が鳴ります。これでこの一台のスキャナが一台のベースに接続されたことになります。

Xenon スキャナ



CCB01-010BT チャージベース
ユニット

Granit スキャナ

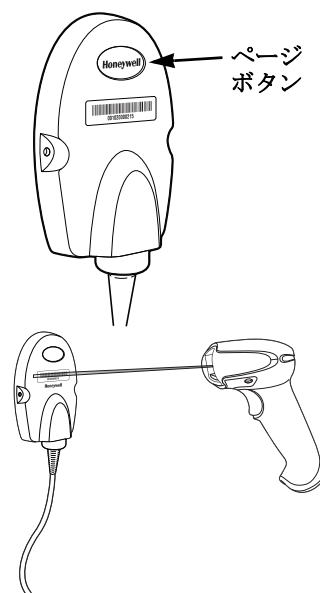


CCB02-100BT/CCB05-100BT チャージ
ベースページボタンとベースユニットの

コードレスシステムが正しく設定されているか判断するには、本書の終わりにあるサンプルバーコードの 1 つを読み取ってみてください。スキャナから読み取り有効を示すピーツという音が一回発せられ、緑の LED が点灯した場合、スキャナとベースの連結が成功しています。Granit スキャナの場合、振動します。エラーブザーが鳴り、赤い LED が点灯した場合、スキャナはベースに接続されていません。問題解決に関する情報は [page 14-4](#) のトラブルシューティングの項目を参照してください。

スキャナとアクセスポイントの接続

コンピューター（ノート PC/ デスクトップ）を起動します。はじめにインターフェースケーブルをアクセスポイントに接続し、次にコンピューターのポートへ接続します。ホストへの接続が確立するとページボタンが点灯します。



アクセスポイントの上部にあるリンクバーコードを読取、アクセスポイントとスキャナ間の接続を確立します。スキャナは短いビーブ音が鳴り、緑の LED が点滅し、アクセスポイントの接続が確認できます。アクセスポイントのページボタンが青のままです。

リンクされたスキャナの交換

チャージベースまたはアクセスポイントにリンクされた故障したり紛失したスキャナを交換する必要がある場合、新しいスキャナで以下の **Override Locked Scanner**（ロックスキャナの無効化）バーコードを読み取り、スキャナをベースユニットに置るか、Access Point linking バーコードを読み取ります。ロックされたリンクが無効化され、故障または紛失したスキャナのベースユニットまたはアクセスポイントとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。



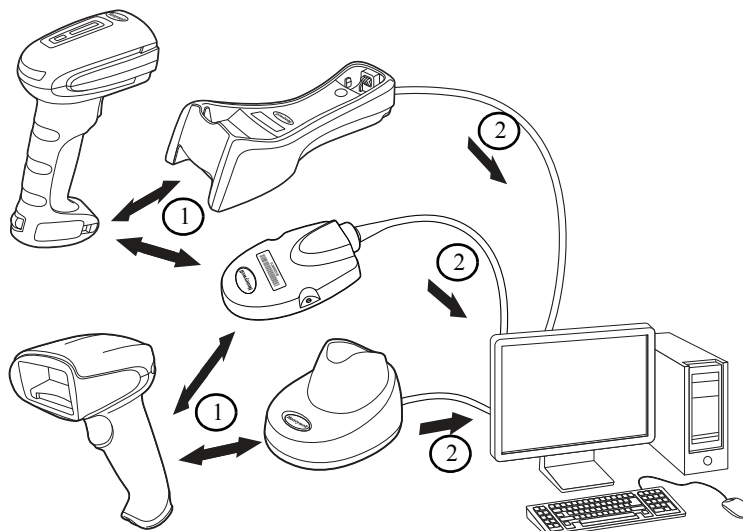
BT_RPL1.

通信固定されたスキャナの上書き
(シングルスキャナ)

コードレスシステムとホストデバイス間の通信

バーコードが正しく読み取られてベースがデータの受信を認知すると、コードレススキャナは「読み取り成功」を視覚的かつ聴覚的（スキャナ上部の緑色 LED が点灯し、とピーツという音が鳴る）に表示します。Granit スキャナの場合、振動します。バーコードが正しくスキャンされ、ベースユニットまたはアクセスポイントからデータ受信確認がされたことを示します。コードレスシステムはスキャナとベースまたはアクセスポイントの間で双方向通信するため、このようなことが可能になります。

データが読み取られると、データはベースまたはアクセスポイントを介してホストシステムへ送られます。コードレススキャナはベースまたはアクセスポイントからのデータの認知 (ACK) を認識します。データがベースまたはアクセスポイントへ正しく送信されたか否か判定できない場合は、スキャナはエラーを表示します。その際には、スキャンされたデータがホストシステムによって受信されたかをチェックしなければなりません。



1. 読取成功するとベースユニットまたはアクセスポイントから ACK を受信します。
2. ベースユニットまたはアクセスポイントがホストシステムへデータを送信します。

スキャナとベースユニットまたはアクセスポイントのプログラム

システムとしてスキャナとベースまたはアクセスポイントを一緒に使用する場合、メニューパラメータと設定がチャージベースまたはアクセスポイントに保存されます。それゆえ、メニュー構成設定をプログラムする場合、スキャナはチャージベースまたはアクセスポイントにリンクしている必要があります。

Note: スキャナがチャージベースまたはアクセスポイントにリンクされている場合のみ適応されます。スキャナがノンベースモーターの場合、設定はスキャナに保存されます。

RF (無線周波) モジュールの操作

コードレスシステムは二方向 Bluetooth® 無線を利用して、スキャナおよびベースまたはアクセスポイント間におけるデータの送受信を行ないます。ライセンス不要な ISM 帯域を使用することで、周波数が無作為に変化する無線信号に、比較的小さいデータパケットを載せて高速なデータレートで送信しています。それ故に、当コードレスシステムを多様なデータ収集アプリケーションに対応でき、かつノイズの多い無線周波環境に対して強い耐性のある製品にしています。CCB01-010BT (Bluetooth クラス 2) は環境によりませんが、スキャナとベースまたはアクセスポイント間の通信距離はおよそ 10m 程度になります。CCB02-100BT/CCB05-100BT (Bluetooth クラス 1) は環境によりませんが、スキャナとベースまたはアクセスポイント間の通信距離はおよそ 100m 程度になります。この範囲のコントロールについては出力管理, page 3-11 のフレキシブル出力管理の項目をご覧ください。

システム条件

あるスキャナをベースまたはアクセスポイントに連動させたり、スキャナを通信可能範囲外へ持ち出したり、更に中へ再び持ち込んだり、2つのコードレスシステムの間でスキャナを交換したりする際、コードレスシステムの構成部分は、特定の相互作用を起こします。下記はコードレスシステムの動作条件について説明したものです。

通信プロセス

スキャナがコードレスチャージベースに差し込まれると、スキャナのバッテリー残量がチェックされ、ソフトウェアは自動的にスキャナを検知します。選択された接続モードに合わせてスキャナをベースに接続します。

アクセスポイントへの接続に関する情報はスキャナとアクセスポイントの接続, page 3-1 を参照してください。

スキャナが通信可能範囲外にあるとき

コードレススキャナはバーコードデータを送信していないときも、ベースまたはアクセスポイントと通信しています。スキャナが数秒にわたってベースまたはアクセスポイントと通信できないときは、スキャナが通信可能範囲外にあることになります。スキャナが通信可能範囲外にあるときにバーコードを読み取ると、スキャナはエラーブザーを発してベースまたはアクセスポイントと通信していないことを示します。コードレスチャージベースもアラーム音を発することがあります。[通信範囲外アラーム](#) , page 3-10 の通信可能範囲外アラームの項目をご参照ください。

スキャナが通信可能範囲内へ戻ったとき

スキャナ、ベースまたはアクセスポイントがリセットされたか、スキャナが通信可能範囲内に戻ったとき、スキャナは再度通信を開始します。スキャナが通信を再度確立する際、通信再確立プロセス（パラメータテーブルのアップロード）が完了すると、音が一回鳴ります。詳細については[通信範囲外アラーム](#) on page 3-10 を参照してください。

バッチモード有効時での通信可能範囲への出入り

スキャナは通信可能範囲外において数多くのシンボル（UPC シンボル約 500 個、他はばらつきあり）を保存し、通信可能範囲内に戻った時点でベースへ送信することができます。（see [バッチモード](#) on page 3-12）

このモードでは、通信エラーブザーは聞こえませんが、無線通信が機能していない場合、トリガーを引いたときに短いブザー音が聞こえます。無線接続がされてデータがベースまたはアクセスポイントに送信されている間、スキャナは一連のピーツという音を発します。

ページ（呼出し）ボタン

ベースまたはアクセスポイントのページボタンを押すと、そのベースまたはアクセスポイントに接続しているスキャナがピーツという音（3 回短く、1 回長く）を鳴らし始めます。呼び出しに応じて鳴っているスキャナのトリガーを引くか、ベースまたはアクセスポイントのページボタンをもう一回押すと、接続しているすべてのスキャナが鳴り止みます。ページボタンの設定に関する詳細は、[ページング（スキャナの呼び出し）](#) on page 3-6 のページング（呼出し）の項をご参照ください。

Note: *Xenon 1902HC* モデルをお使いの場合、[Page Button and Presentation Modes](#) on page 5-2 の追加ページングボタン設定をご参照ください。

バッテリーについて



バッテリー交換を誤ると、爆発するおそれがあります。ハネウェルが推奨するバッテリーのみに交換してください。使用済みバッテリーは、それを廃棄する国の所轄省庁が指定したリサイクル方法に従って処分してください。

コードレススキャナの電源は、スキャナハンドル内に組み込まれた充電式バッテリーから供給されます。出荷時には、約 30% から 60% 程度バッテリーを充電してありますが、充電容量最大限まで完全に充電することを推奨致します。最初に使用する際、最適な性能を確保する為に最低 4 時間の充電を行なってください。

充電について

バッテリーは、スキャナがコードレスチャージベースに差し込まれている間に充電される設計になっています。充電状態を現すインジケーターの解釈については、3-6 [ページベースユニット / アクセスポイントの LED シーケンスと意味](#) , page 3-4 のベースの LED シーケンスに関する項目をご参照ください。スキャナをベースに接続することなく充電する必要がある場合は、[充電限定モード](#) (page 3-8) の充電限定モードの項目をご覧ください。

適切な電源がベースに接続されていることを確認し、スキャナをベースに差し込んでください。定格出力 5 ~ 5.2Vdc、1A の Limited Power Source (LPS) かクラス 2 タイプの電源のみをご使用ください。

Note: 外部電源をチャージベースの補助ポートに差し込まず、インターフェースケーブル（例えば USB ケーブル）を介してホストデバイスからベースへ電力を供給する場合、充電に使える電力が減ってしまいますので、充電時間がより長くなります。

バッテリーについての推奨事項

- ・ バッテリーはリチウムイオン電池で、完全に充電せずに使えますし、耐用寿命に悪影響を及ぼすことなく、放電しきってからでなくとも充電できます。この種のバッテリーについては、充電 / 放電コンディショニングをする必要があります。
- ・ ホストデバイスを使用していないときは、ベースを電源に接続しておいてください。
- ・ 欠陥のあるバッテリーは、スキャナ破損の原因になりますので、直ちに交換してください。

- ・ バッテリーは何回も充電できますが、最終的には消耗してしまいます。十分に充電できなくなった場合、バッテリーを交換してください。
- ・ 電池や充電器が正常に機能しているか判らないときには、ハネウェルか正規サービスセンターへ送って点検してください。詳細については [Customer Support](#) on page 15-1 を参照してください。



Caution:

当装置には部品番号 100000495、定格 3.7 Vdc、7.4Whr のハネウェル社製リチウムイオン電池パックのみをご使用ください。ハネウェル社提供以外のバッテリーを使用して故障した場合、保証の対象外です。

リチウム電池の安全に関する注意事項

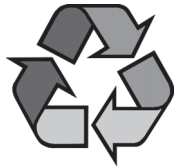
- ・ バッテリーを燃やしたり、加熱したりしないこと。
- ・ 火気・高温の場所を避けて保管すること。
- ・ 金属製品とともにバッテリーを保管したり、所持したりしないこと。
- ・ 水気を避け、バッテリーを濡らさないようにすること。
- ・ 金属製品を使ってバッテリーの陽極と陰極を接続（ショート）しないこと。
- ・ バッテリーに穴を開けたり、たたいたり、踏んだり、強い衝撃を与えたりしないこと。
- ・ バッテリーを解体・改造しないこと。



Caution:

バッテリー交換を誤ると、爆発するおそれがあります。使用済みバッテリーは、それを廃棄する国の所轄省庁が指定したリサイクル方法に従って処分してください。

バッテリーの適切な処分



バッテリーが耐用年数の終わりに達したときは、資格を持つリサイクル業者ないし危険物取扱業者によって処分してください。バッテリーを一般廃棄物と共に焼却したり、処分したりしないでください。スキャナのバッテリーを弊社に御返却いただくことも可能です。（送料ご負担いただきます。）使用済みバッテリーの梱包、表示、明細書作成、輸送に関するすべての国・連邦・州・自治体法規の遵守は輸送業者の責任です。リサイクル・処分に関しては、製品サービス部門 ([page 15-1](#)) にお問い合わせください。バッテリーをご返送いただく費用が高額な場合、地元のリサイクル処理業者にて処分された方が経費を抑えられる場合もありますので、まずは御問い合わせください。

ブザー・LED のシーケンスと意味

スキャナ上部には LED が組み込まれており、通電・通信・電池残量を表示します。ベース上部に LED があり、起動・通信・充電状態を表示します。赤色 LED = エラー、緑色 LED = あらゆる種類の正常な完了を意味します。スキャナと CCB01-010BT ベースユニットにも音による表示もあります。エラーブザー 1 回 = エラー、2 回ピーツ = メニュー変更、1 回ピーツ = それ以外のすべての正常な完了です。

下記の表にスキャナの LED 点灯・ブザーによる表示のしかたとその原因をまとめてあります。

スキャナの LED シーケンスと意味

LED 表示	ブザー表示	振動表示	原因
正常な操作			
赤点灯	なし	なし	バッテリー残量少
緑点灯	1 回ビープ音	なし	通信またはリンクに成功
赤点滅	エラーブザー	なし	通信失敗
メニュー操作			
緑点灯	2 回ビープ音	2 回振動	メニュー変更成功
赤点滅	エラーブザー	1 回長い振動	メニュー変更失敗

ベースユニット / アクセスポイントの LED シーケンスと意味

ベースについている赤色 LED とアクセスポイントについている青い LED が本体の状態を表し、ホストシステムとの通信状態を確認することができます。またベースユニットの緑色 LED はスキャナのバッテリー充電状況を表します。

赤色もしくは青色 LED : ホストとの通信	
赤色もしくは青色 LED	通信状態
オフ	USB 保留
継続してオン	電源オン、システムアイドル
複数回にわたり短く点滅。無線モジュールまたはホストポートとの間のデータ通信中点滅	データ受信
緑色 LED - スキャナバッテリー (ベースのみ、アクセスポイントは対象外)	
緑色 LED	充電状態
オフ	バッテリーが検出されないか、充電が中止されたとき
ゆっくり点滅 (1 秒点灯、1 秒消灯)	充電前と充電中
継続して点灯	充電完了
速く点滅 (300 ミリ秒点灯、300 ミリ秒消灯)	充電エラー

ベースのパワーインジケータ

ベースのパワーインジケータを表示するには、Base Power Communication Indicator On (ベースパワー通信インジケータ 有効) パーコードを読み取ってください。パワーインジケータを無効にするには、Off パーコードを読み取ってください。初期設定 = On (有効)



⋆:BASRED1.

* ベースパワー通信インジケータ
有効



⋆:BASRED0.

ベースパワー通信インジケータ 無
効

スキャナのリセット

下のバーコードを読み取ることによって、スキャナは再起動され、ベースまたはアクセスポイントと再接続します。



スキャナをベースに置いた状態での読み取り

Note: CCB01-010BT ベースユニットのみの機能です。

スキャナをベースに置いた状態でバーコードを読み取ることができるようにしたい場合は、下記の Scanning in Cradle On (ベースに置いた状態で読み取り 許可) バーコードを読み取ってください。スキャナがベースに置かれていない状態でのみ読み取りを行うようにしたい場合は、Scanning in Cradle Off (ベースに置いた状態での読み取り 禁止) を読み取ってください。スキャナをベースに置いてシャットダウンしたい場合は、Shut Down Scanner In Cradle (ベースにおいてスキャナをシャットダウン) を読み取ってください。初期設定 = Scanning in Cradle On (ベースに置いた状態での読み取り 許可)



ベースチャージモード

ベースが外部電源 (予備電源ポートに接続) とホストインターフェースケーブルの両方に接続されている場合、外部電源から電源を取ります。ベースが外部電源がない場合、インターフェースケーブルから電源を取ります。しかし、スキャナのバッテリーは予備外部電源よりホストインターフェースケーブルからのほうがゆっくり充電されます。以下を使用し、スキャナを電源またはホストインターフェースケーブルから充電するか選択できます。

Base Charge Off (ベースチャージオフ) が選択されると、スキャナバッテリーはベースに置かれている場合も充電されません。

External or Interface Cable Power (外部またはインターフェースケーブル電源) が選択される場合、スキャナバッテリーはベースの外部電源から充電されます。外部電源が接続されていない場合、スキャナバッテリーはインターフェースケーブルから充電されます。

External Power Only (外部電源のみ) の場合、スキャナバッテリーは外部電源からのみ充電されます。外部電源が接続されていない場合、スキャナバッテリーは充電されません。

*Note: コードレスチャージベースを使用している場合、Presentation Mode**External Power Only** (外部電源のみ) 設定のみが利用可能です。*

初期設定 = External or Interface Cable Power (外部またはインターフェースケーブル電源)





BASCHG1.

外部またはインターフェースケー
ブル電源



BASCHG2.

外部電源のみ

ページング（スキャナの呼び出し）

ページングモード（スキャナの呼び出し）

初期設定では、ベースのページングボタンを押すと、そのベースと通信を確立しているスキャナを呼び出します。ベースのページングボタンを無効にしたい場合は、下記の Paging Mode Off（ページングモード 無効）バーコードを読み取ってください。ページングモードが無効のときは、ボタンを押してもベースまたはアクセスポイントはスキャナを呼び出さなくなります。ベースの赤色 LED は点灯したままになり、ページングモードが無効であることを示します。（LED はボタンを押すと消え、ボタンが解除されると再度点灯します）初期設定 = *Paging Mode On*（ページングモード 有効）

Note: *Xenon 1902HC* モデルをお使いの場合、*Page Button and Presentation Modes on page 5-2* のページボタン設定をご参照ください。



BEPPGE1.

* ページングモード



BEPPGE0.

ページングモード 無効

ページング（呼び出し）音の音程

ベースのページングボタンを押すと、そのベースと通信しているスキャナがピーツと鳴り始めます。（see ページ（呼び出し）ボタン on page 3-3）下記のバーコードの 1 つを読み取ることによってスキャナのページング音の高さを設定することができます。初期設定 = *Low*（低 1000Hz）



BEPPFQ1000.

* 低 (1000Hz)



BEPPFQ3250.

中 (3250Hz)



BEPPFQ4200.

高 (4200Hz)

エラーインジケータ

ブザー音の音程：ベースのエラー発生時

Note: CCB01-010BT ベースユニットのみの機能です。

CCB01-010BT ベースをホストシステムへの通信上の問題などエラーが発生した際に特定のピッチでピーツと鳴るように設定することができます。以下のバーコードによって、エラー発生時にベースが発するエラーブザー音の音程を変更できます。初期設定 = Low (低)



BASFQ2250.

* 低 (250 Hz)



BASFQ23250.

中 (3250 Hz)



BASFQ24200.

高 (4200 Hz)

ブザー音の回数：ベースのエラー発生時

Note: CCB01-010BT ベースユニットのみの機能です。

エラー発生時に CCB01-010BT ベースから発せられるブザー音や LED の点滅回数を 1 ～ 9 回まで設定することができます。例えば、このオプションをエラーブザー音 5 回と設定すると、エラーに反応してエラーブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。エラーブザーの回数を変更するには、下記のバーコードを読み取ったのち、本書の裏表紙にあるから数値 (1~9) バーコードを読み取り、次に Save (保存) バーコードを読み取ります。Programming Chart 初期設定 = 1



BASERR.

ベース：エラー発生時のブザー回数および LED 点滅

スキャナレポート

下記のバーコードを読み取ることで、接続されたスキャナについてのレポートを生成することができます。レポートには、ポート、ワークグループ、スキャナ名、アドレスが表示されます。スキャナに名前を割り当てるには [Menu Command Syntax](#), page 12-1 を参照してください。



RPTSCN.

スキャナレポート

スキャナのアドレス

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のスキャナのアドレスを決定することができます。



BT_LDA.

スキャナのアドレス

ベースまたはアクセスポイントのアドレス

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のベースまたはアクセスポイントのアドレスを決定することができます。



.*:BASLDA.

ベースアドレス

スキャナモード

Xenon はスキャナ 1 台または複数台のモードや、チャージベースやアクセスポイント以外の Bluetooth 対応機器とあわせて機能することができます。

充電限定モード

スキャナを充電したいけれど、ベースと通信させたくない場合があるかもしれません。例えば、スキャナをアクセスポイントや他の Bluetooth 対応機器と通信しており、スキャナを充電する必要があるものの、その既存の通信を維持したい場合などです。

ベースを充電限定モードに設定するには、そのベースにスキャナを 1 台接続しなければなりません。ベースにスキャナを接続したら、Charge Only Mode（充電限定モード）バーコードを読み取ってください。その後、そのベースに差し込まれるスキャナはベースと通信せずに充電できます。設定のために使用したスキャナは、ベースに接続したままとなります。そのスキャナとの通信を切断するには、[スキャナとの解除](#) on page 3-9 を読み取ってください。



.*:BASLNKO.

充電限定モード

Note: 充電限定モード時、スキャナは定期的に起動し、ピーツとブザーを鳴らします。この設定を変更するには、[Power Up Beeper](#) on page 4-1 を参照してください。

スキャナを充電し、ベースと通信を接続したい場合は、Charge and Link Mode（充電および通信モード）を使用してください。ベースが充電限定モードに設定されている場合、充電および通信モードに設定しなおすためには、まずスキャナ 1 台をそのベースと接続しなければなりません。ベースのバーコードを読み取って、スキャナを接続してから Charge and Link Mode を読み取ります。初期設定 = Charge and Link Mode（充電および通信モード）



.*:BASLNK1.

* 充電および通信モード

通信モード

Locked Link Mode（通信固定モード）と Open Link Mode（通信オープンモード）は、各々異なるアプリケーションに対応するモードです。これらモードを切り換えるには、下記の説明にある該当バーコードを読み取ってください。初期設定 = Open Link Mode（通信オープンモード）

通信固定モード：スキャナ 1 台の場合

通信固定モードを使うと、スキャナをベース 1 台と通信させている時に誤って他のスキャナをそのベースと通信を確立しないように阻止できます。他のスキャナをベースに差し込んだ場合、スキャナは充電されますが、通信はできません。



BASCONO,DNG1.

通信固定モード
(シングルスキャナ)

異なるスキャナを使用する場合は、Unlink Scanner（スキャナとの通信解除）のバーコードを読み取って元のスキャナとの通信を切断します。（[スキャナモード](#)，page 3-8 を参照してください。）

通信オープンモード

納品されたばかりのときや初期設定に戻された場合、スキャナはベースまたはアクセスポイントと接続しています。スキャナをベースまたはアクセスポイントに差し込むと通信が確立されます。通信オープンモードの場合、新しいスキャナをベースに差し込むかアクセスポイント通信バーコードを読み取ると新しい通信を確立します。スキャナを1台ベースに差し込むかアクセスポイント通信バーコードをスキャンするたびにそのスキャナはベースまたはアクセスポイントに接続し、以前に接続していたスキャナとの通信は解除されます。



BASCON1,DNG1.

* 通信オープンモード
(シングルスキャナ)

スキャナとの通信解除

ベースまたはアクセスポイントとスキャナが通信している場合、まずスキャナの通信を解除しなければ次の新しいスキャナと接続することができません。元のスキャナとの通信解除を行うと、ベースまたはアクセスポイントは通信を切断します。ベースまたはアクセスポイントとスキャナの通信を解除するには、下記の Unlink Scanner（スキャナとの解除）バーコードを読み取ってください。



BT_RMV.

スキャナとの解除

通信固定されたの上書き

チャージベースまたはアクセスポイントにリンクされた故障したり紛失したスキャナを交換する必要がある場合、新しいスキャナで以下の **Override Locked Scanner** バーコードを読み取り、スキャナをベースユニットに置か、Access Point linking バーコードを読み取ります。ロックされたリンクが無効化され、故障または紛失したスキャナのベースユニットまたはアクセスポイントとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。



BT_RPL1.

通信固定されたスキャナの上書き
(シングルスキャナ)

通信範囲外アラーム

ベースの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、ベースとスキャナの両方からアラーム音が鳴ります。アクセスポイントの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、スキャナからアラーム音が鳴ります。そのスキャナがベースまたはアクセスポイントに近づくか、ベースまたはアクセスポイントが別のスキャナと接続するか、もしくはアラーム音継続の設定時間が経過す

ると、アラームは止まります。スキャナまたはベースのアラームを有効にし、アラームが鳴る時間を設定するには下記の該当するバーコードを読み取り、その後、裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から数値を読み取り、タイムアウト時間（0 ～ 3000 秒の間）を設定し、Save（保存）を読み取ります。初期設定＝0 秒（アラームなし）



ベースアラームの鳴動時間

Note: アクセスポイントにはベースアラームがありません。



スキャナアラームの鳴動時間

Note: バーコード読み取り時に通信範囲外にいる場合、アラームを設定していなくても、エラーブザーが鳴ります。ベース、アクセスポイントまたはホストヘータを送信することができない場合でも、同じくエラーブザーが鳴るようになっています。

アラーム音の種類

下記から該当するバーコードを読み取り、裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から数値（0 ～ 7）のバーコードと Save を読み取ることで、スキャナや CCB01-010BT ベースのアラーム音の種類を変更することができます。初期設定＝0
アラーム音の種類：

設定	音
0	3 回長くピーッという音、音程 - 中
1	3 回長くピーッという音、音程 - 高
2	4 回短くピーッという音、音程 - 中
3	4 回短くピーッという音、音程 - 高
4	1 回鳥のさえずりのような音、音程 - 中
5	鳥のさえずりのような音が 2 回 + 1 回、音程 - 中
6	1 回鳥のさえずりのような音、音程 - 高
7	鳥のさえずりのような音が 2 回 + 1 回、音程 - 高



ベースアラームの種類

Note: CCB01-010BT のみアラームがあります。



スキャナアラームの種類

スキャナパワータイムアウトタイマー

Note: スキャナパワータイムアウトタイマーは、コードレスシステムのみに適用されます。有線スキャナには適用できませんので、ご注意ください。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。

指定時間内に動作しない場合、スキャナは低パワーモードに入ります。適切なスキャナパワータイムアウトバーコードを読み取って、タイムアウトの長さを秒単位で変更してください。

Note: タイムアウトの長さを「0」にすると、タイムアウトがない状態になります。

タイムアウト時間内にスキャナのトリガーを引かなかった場合、スキャナはパワーダウンモードに入ります。トリガーが有効・無効に関わらず、タイマーはリセットされます。スキャナがベースユニットに置かれていて、かつバッテリーが充電中の場合は、パワーダウンモードにはなりません。初期設定=3,600 秒



BT_LPT0.

0 秒



BT_LPT200.

200 秒



BT_LPT400.

400 秒



BT_LPT900.

900 秒



BT_LPT3600.

* 3600 秒



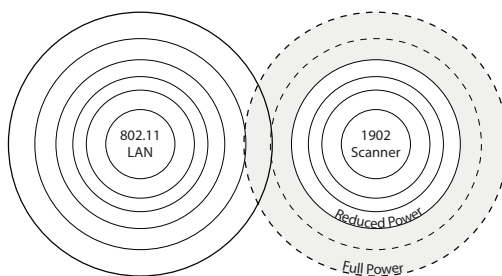
BT_LPT7200.

7200 秒

Note: スキャナがパワーダウンモードに入っている時にトリガーを引くと、パワーが戻ります。起動ブザーが鳴り、無線通信に入るまで数秒の遅れが発生します。その後、スキャナを使用できます。

出力管理

ネットワーク性能に問題があり、スキャナが他の装置と混線していると思われる場合は、スキャナの出力を下げるができます。これにより、下記の図に示されるとおり、スキャナまたはアクセスポイントとベース間の通信可能範囲が縮小されます。



下記のバーコードの1つを読み込むことで、以下のいずれかの出力を選択して設定することができます。完全出力（100%）[2.5mW、4dBm]、出力 - 中（35%）[0.875mW、0dBm]、出力 - 中低（5%）[0.125mW、-9dBm]、出力 - 低（1%）[0.025mW、-16dBm] 初期設定 = Full Power（フルパワー）

Note: Granit スキャナをクラス 2Bluetooth のフルパワーより低い値に設定



バッチモード

バッチモードは、スキャナがベースまたはアクセスポイントの通信範囲外にあるとき、または棚卸をするときのバーコードデータ保存に使用します。スキャナが通信範囲内に戻ったとき、あるいは記録が手作業で送信されたとき、データはベースまたはアクセスポイントへ送信されます。

Note: バッチモードはハネウェルチャージ通信ベース（CCB）とハネウェルアクセスポイント（AP）のみサポートしています。1 台のベースまたはアクセスポイントに対して複数のスキャナを使用する際、バッチモードには限界があります。マルチリンクモードを使用すれば、最多 7 台のスキャナを 1 台のベースまたはアクセスポイントに接続することが可能です。ただし、スキャナが通信範囲エリアを常に入出力している場合、蓄積された、もしくはバッチ処理された読み取りデータが失われる可能性があります。

Automatic Batch Mode（自動バッチモード）はスキャナがベースまたはアクセスポイントの通信範囲外にあるとき、バーコードデータを保存します。スキャナが通信範囲内に戻ると、データはベースへ自動的に送信されます。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、スキャナをベースまたはアクセスポイントの通信範囲内に戻り、データが送信できるようにしなければなりません。

Inventory Batch Mode（棚卸バッチモード）ではベースまたはアクセスポイントの通信範囲内に居る・居ないに関わらず、バーコードデータを保存します。保存されたデータをベースへ送信するには、スキャナをベースに差し込むか、[棚卸の記録を送信](#) (page 3-16) の Transmit Inventory Records（棚卸レコードを送信）を読み取ります。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、データをベースまたはアクセスポイントへ送信しなければなりません。一旦データを送信すると、スキャナ内のデータはクリアされます。

Persistent Batch Mode（持続バッチモード）はデータがベースまたはアクセスポイントに送信してもスキャナに保持される以外、Inventory Batch Mode と同じです。1 回以上送信したい場合は、このモードを使用してください。スキャナのバッファをクリアするには、[すべてのコードを削除](#) (see page 3-16) のバーコードをスキャンしてください。

初期設定 = Batch Mode Off（バッチモード 無効）





BATENA2.
棚卸パッチモード



BATENA1.
自動パッチモード



BATENA3.
持続パッチモード

パッチモード：ブザー音

パッチモード使用時に棚卸パッチモード (page 3-13) (パッチモードブザー 有効) を読み取ると、各バーコードを読み、そして保存するたびにスキヤナがカチッと鳴るように設定できます。Granit スキヤナの場合、振動します。Batch Mode Beep が有効の場合、各バーコードがホストに送信されるとクリック音が鳴ります。この音を無効にするには、Batch Mode Beep Off をスキャンしてください。初期設定 = Batch Mode Beep On (パッチモードブザー 有効)



BATBEP0.
パッチモードブザー 無効



BATBEP1.
* パッチモードブザー 有効

パッチモード：保存形式

パッチモードにおいて、スキヤナがデータを保存する際、フラッシュメモリに保存するか RAM に保存するかを選択できます。

フラッシュ保存：スキヤナが低出力になる前に、まだ送信していないデータをすべてフラッシュメモリに書き込みます。スキヤナが再起動した際もデータはまだ残っています。しかし、スキヤナのパワーダウンタイムアウトに達した場合やバッテリー残量が非常に少なくなると、未送信のデータがあってもスキヤナは低出力になります。

RAM 保存：未送信データがスキヤナに入っているとき、スキヤナはパワーダウンタイムアウトに達しても低出力になりません。しかし、バッテリー切れになった場合は、スキヤナは低出力になり、データは失われます。

初期設定 = Flash Storage (フラッシュメモリに保存)



BATNVS1.
* フラッシュメモリに保存



BATNVS0.
フラッシュメモリに保存

バッチモード：個数

バッチモードにおいて、同一のバーコードを何個も送信するのではなく、バーコードの個数を送信したいことがあるかもしれません。例えば、Batch Mode Quantity Off（バッチモードの個数 無効）の状態では XYZ という 3 つのバーコードを読み取ったとすると、そのデータを送信したときには、XYZ が 3 個表示されます。Batch Mode Quantity On（バッチモードの個数 有効）と (page 3-15) の Quantity Codes（個数コード）を使えば代わりに「XYZ, 00003」と出力することができます。

Note: 出力した内容をフォーマットしたい場合、例えばバーコードデータと数量の間に CR や Tab を挿入したいときは、[Data Formatting beginning on page 7-1](#) のデータフォーマットの項を参照してください。

初期設定 = Batch Mode Quantity Off（バッチモードの個数 無効）



BATQTY0.

* バッチモードの個数 無効



BATQTY1.

バッチモードの個数 有効

個数の入力

page 3-15 の Quantity Codes（個数コード）を用いれば、最後に読み取ったバーコードについて、9999 までの個数（初期設定 = 1）を入力できます。個数の数字は右から左へ移動しますので、5 桁目の数字が読み込まれると既に読み込んだ 1 桁目の数字がなくなり、2・3・4 桁目の数字が左へずれて、新たな 1 桁を迎え入れます。

例えば、個数が 1234 に設定されたあとで、Quantity 5 バーコードを読み取ると、1 が脱落实、個数は 2345 になります。

Example: 例：最後に読み取ったアイテムに 5 という個数を付与する場合

1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。

Example: 例：最後に読み取ったアイテムに 1,500 という個数を付与する場合

1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 1 のバーコードを読み取ってください。
3. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。
4. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。
5. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。

Example: 例：個数を 103 から 10 に変更する場合

間違った個数を訂正するには、Quantity 0 のバーコードを読み取り、間違った数字を置き換えます。その後、正しい数量コードを読み取ります。

1. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 1030 に変更します。
2. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0300 に変更します。
3. Quantity 1 バーコードを読み取って個数を 3001 に変更します。
4. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0010 に変更します。

初期設定 = 1

個数コード



BATNUM0.

0



バッチモード：出力順序

バッチモードでデータを送信する際には、データを FIFO（先入れ先出し）で送信するか、LIFO（後入れ先出し）で送信するかを選択してください。初期設定 = *Batch Mode FIFO*（先入先出）



レコードの合計件数

バッチモードの間に読み取ったバーコードの数量を出力したい場合は、Total Records（レコードの合計件数）を読み取ってください。



BATNRC.

レコードの合計件数

最後のコードを削除

バッチモードにおいて、最後に読み取ったバーコードを削除したい場合は Delete Last Code（最後のコードを削除）を読み取ってください。



BATUND.

最後のコードを削除

すべてのコードを削除

スキャナのバッファからバッチモードで蓄積されたすべてのデータを消去したい場合は、Clear All Codes（すべてのコードを削除）を読み取ってください。



BATCLR.

すべてのコードを削除

保存したデータをホストシステムへ送信

Inventory Batch Mode（棚卸バッチモード、(see [棚卸バッチモード](#) on page 3-13) において、保存されたすべてのデータをホストシステムへ送信するには、下記のバーコードを読み取ってください。



BAT_TX.

棚卸の記録を送信

バッチモード：送信ディレイ（間隔）

蓄積されたスキャンデータをホストシステムへ送信する際、送信が速すぎてアプリケーションが処理しきれないことがあります。蓄積されたスキャンデータ間にディレイ（間隔）を設定するには、下記のディレイのいずれかを読み取ってください。初期設定 = Off（無効）

Note: ほとんどの場合、ディレイは短い（250 ミリ秒）ことが理想です。しかし、より長いディレイを設定することもできます。詳細については、テクニカルサポート ([page 15-1](#)) にご連絡ください。



BATDLY0.

* バッチモードの送信ディレイ 無効
(ディレイなし)



BATDLY250.

バッチモードの送信ディレイ 短
(250 ms)



BATDLY500.

パッチモードの送信ディレー 中
(500 ms)



BATDLY1000.

パッチモードの送信ディレー 長
(1000 ms)

複数スキャナでの操作

Note: Multiple Scanner Operation Mode (複数スキャナ操作モード) では、1 台のベースまたはアクセスポイントにスキャナを最多 7 台まで接続することができます。その 7 台のスキャナのうち、1 台の通信を解除するか、通信可能範囲の外へ持ち出さなければ、8 番目のスキャナを追加することはできません。

スキャナを複数スキャナ操作モードに追加するには、以下のバーコードを読み取ってください。このバーコードを読み取ると、スキャナはベースまたはアクセスポイントとの通信から解除されるため、再度接続するには、そのスキャナをベースに差し込むか、アクセスポイント通信バーコードをスキャンしなければなりません。



BASCON2.DNG3.

複数スキャナでの操作

スキャナ名

御使用の各スキャナを識別できるように、それぞれに名前をつけることができます。例えば、ベースまたはアクセスポイントから送信された画像コマンドを受信するスキャナに独自の識別名称をつけたいときなどです。

初期設定名は ScannerName_Model_SN_XXXXXXXXXX です。ベースに複数のスキャナが接続されており、それらすべての同一の初期設定名が付いている場合、ベースに最初に接続されたスキャナがコマンドを受信します。同一の初期設定名が付いている一連のスキャナを命名し直す際は、1 台を残してすべてのスキャナをベースとの通信から解除してください。

命名し直しの操作は [page 3-18](#) バーコードを読み取るか、シリアルコマンド「**ScannerName:BT_NAMNEWname**」を送信します。(NewName は新しいスキャナの名前) 他のスキャナの名称も変更したい場合は、1 台ずつ接続し、各スキャナに「ScannerName:BT_NAMname」(Xenon の場合、「Xenon:BT_NAMname」) というコマンドを繰り返します。

スキャナに順序だった番号で命名し直すには、下記のバーコードを読み取ってください。名称を変更するたびに、Reset (リセット) コードを読み取り、スキャナがベースまたはアクセスポイントと再度接続するまで待ってから、次のスキャナを命名し直すためのバーコードを読み取ってください。



BT_NAM0001.

0001



BT_NAM0002.

0002



BT_NAM0003.

0003



BT_NAM0005.
0005



BT_NAM0004.
0004



BT_NAM0006.
0006



BT_NAM0007.
0007



RESET_
リセット

下記の Scanner Name（スキャナ名）バーコードを読み取り、その後スキャナ名として数字を読み取ることも可能です。例えば、通信済のスキャナを「312」と命名したい場合、下記のバーコードを読み取り、本書の裏表紙にある [Programming Chart](#) から 3、1、2 のバーコードを読み取り、Save（保存）を読み取ってください。Reset バーコードを読み取り、スキャナがベースに再度接続されるまで待ってください。



BT_NAM.
スキャナ名

アプリケーションワークグループ

ご使用のコードレスシステムでは、1 台のベースに対し最多 7 台までスキャナを接続することができます。また、最高 7 つまでワークグループを設定できます。すべてのスキャナを同一の設定にしたい場合は、複数のワークグループを使用する必要はありません。一方、各スキャナに独特な設定（ブザー音量、プリフィックス / サフィックス、データフォーマッターなど）を施したい場合は、各スキャナが独自のワークグループを持つように設定し、各スキャナを独立させることができます。例えば、小売 / 倉庫のアプリケーションでは、倉庫と小売店舗内でそれぞれ異なったデータをバーコードに付して使用したいことがあるかもしれません。その場合、小売店舗内のスキャナをすべて 1 つのワークグループに割り当て、倉庫内のスキャナをすべてもう 1 つのワークグループに割り当てるのが可能です。これにより、小売店舗内であれ倉庫であれ、変更点は該当するワークグループ内のスキャナすべてに適用されます。ハネウェルの設定ツール、EZConfig ([page 11-2](#)) では、複数のスキャナ、複数のワークグループへの設定変更が容易にできるようになっています。

スキャナは、自らが使用しているメニュー設定を保存しています。スキャナがベースまたはアクセスポイントに接続または再接続するたびにベースまたはアクセスポイントからスキャナにそのワークグループの最新設定が送信され、そして更新されます。また、スキャナはベースまたはアクセスポイントによって処理されたメニュー設定変更も受信します。スキャナがベースまたはアクセスポイントから外されて別のベースまたはアクセスポイントに差し込まれたりすると、そのスキャナに元々割り当てられていたワークグループの新しい設定で更新されます。例えば、最初にベースと接続した際はワークグループ 1 だったスキャナは、2 台目のベースでもワークグループ 1 となり、関連の設定が付与されます。

アプリケーションワークグループセレクション

ここでは、下記のバーコードを読み取ることによってスキヤナを特定のワークグループに割り当てることができます。その後、ご使用のアプリケーションが必要とする設定（ブザー音量、プリフィクス / サフィックス、データフォーマッターなど）を設定することができます。初期設定 = Group 0（グループ 0）



GRPSEL0.

*グループ 0



GRPSEL1.

グループ 1



GRPSEL2.

グループ 2



GRPSEL3.

グループ 3



GRPSEL4.

グループ 4



GRPSEL5.

グループ 5



GRPSEL6.

グループ 6

初期設定へのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ

下記のバーコードを読み取ると、すべてのワークグループを工場出荷時設定に戻します。



PAPDFT&

工場出荷時設定にリセット：
すべてのワークグループ

工場出荷時設定の詳細については、[Menu Commands](#), beginning on page 12-4 のメニューコマンドの表を参照してください。標準製品の各コマンド初期設定は「*」で示されています。

Note: このバーコードを読み取ると、スキヤナとベースの設定がリセットされ、通信が解除されます。通信を再確立するためには、スキヤナをベースに差し込まなければなりません。詳細は、[スキヤナモード](#), page 3-8 のスキヤナモードを参照してください。

ご使用のスキヤナが複数スキヤナ操作モードになっている場合は、すべてのスキヤナがベースに再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

カスタムデフォルトへのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ

すべてのワークグループをカスタムデフォルト設定に戻したい場合は、下記の Custom Product Default Settings（カスタムデフォルト設定）バーコードを読み取ってください。カスタムデフォルトがない場合は、初期設定へリセットされます。カスタムデフォルトについての詳細は、See “Setting Custom Defaults” on page 1-13 のカスタムデフォルトの設定を参照してください。



PAPDFT.

カスタムデフォルト設定：
すべてのワークグループ

Note: このバーコードを読み取ると、スキャナとベースの設定がリセットされ、通信が解除されます。通信を再確立するためには、スキャナをベースに差し込まなければなりません。詳細は、[スキャナモード](#)，page 3-8 のスキャナモードを参照してください。

ご使用のスキャナが複数スキャナ操作モードになっている場合は、すべてのスキャナがベースに再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

Bluetooth 対応機器との併用

スキャナはチャージベースまたはアクセスポイントや他の Bluetooth 対応機器とも併せて使用することが可能です。他の Bluetooth 対応機器には、PC、ノート型 PC、PDA/ ハンディターミナルなどを含みます。

Bluetooth Secure Simple Pairing (SSP)

Secure Simple Pairing (SSP モード) は暗証コードを入力することなしに、以下で [Bluetooth HID キーボード接続説明](#)するよう、他の Bluetooth 機器と簡単に安全に接続できます。SSP モードは Bluetooth バージョン 2.1 以降で利用できます。SSP モードでは暗証コードはペアリングに必要ありません。互換性のある Bluetooth バージョンを使用していない場合、SSP モードを無効にしてください。初期設定 = Bluetooth SSP 有効

Note: SSP モードは Granit1981i でのみ利用できます。



BT_SSP1.

* Bluetooth SPP 有効



BT_SSP0.

Bluetooth SPP 無効

Bluetooth HID キーボード接続

お使いのスキヤナは、iPad やスマートフォン、ノート型 PC など Bluetooth 対応機器 と接続することが可能です。キーボードによるデータ入力と同じように、読み取ったデータが画面に表示されます。Bluetooth 機器と通信を確立するには、以下の手順に沿ってください。

1. Bluetooth HID Keyboard Connect (Bluetooth HID キーボード接続) を読み取ります。



2. Bluetooth 対応 ホストデバイスを立ち上げて、他の Bluetooth 機器を検索します。(ホストデバイスのユーザズガイドを参照してください)
3. ホストデバイスがスキヤナを検知したら、スキヤナ名を選択してください。[Bluetooth Secure Simple Pairing \(SSP\)](#) デバイスを使用している場合、自動的に接続されます。使用していない場合、60 秒以内に入力する PIN コードをランダムに表示します。下記の Bluetooth PIN Code (Bluetooth PIN コード) を素早く読み取って、後続ページの番号バーコードを読み取ってください。最後に Save (保存) を読み取ります。





K7K

7



K8K

8



K9K

9



MNUSAV.

Save

バーチャルキーボード

スキャナが iPad やスマートフォン、ノート型 PC など接続されると、スキャナのトリガーを 2 回素早く引くことでバーチャルキーボード入力ができます。

Note: このインターフェースは Granit デバイスではサポートされていません。

Bluetooth HID キーボード 通信切断

お使いのスキャナが、[Bluetooth HID キーボード接続](#) (page 3-20) によって iPad やスマートフォン、ノート型 PC のようなホストデバイスに直接接続されている場合、ベースユニットに再接続する為に Bluetooth 接続を一旦切断する必要があります。Bluetooth HID Keyboard Disconnect (Bluetooth HID キーボード 通信切断) を読み取って、ホストデバイスとスキャナ間の通信を切断してください。ベースユニットまたはアクセスポイント上の接続バーコードを読み取って、スキャナを再接続してください。



PAPSPP.

Bluetooth HID キーボード 通信切断

Bluetooth シリアルポート : デスクトップ型 PC / ノート型 PC

下記の Non-Base BT Connection (ベースなし BT 接続) バーコードを読み取ると、スキャナを他の Bluetooth 対応機器 (PC / ノート型 PC など) と併せて使用できるようになります。この設定を有効にすると、スキャナは RS232C インターフェースのスキャナと同様の動作を行い、読み取ったデータを出力する為に PC 上の COM ポートを開く必要があります。

下記のバーコードを読み取った後、ご使用の Bluetooth 対応機器添付の取扱説明書に従い、スキャナを認識し、接続してください。スキャナを持って通信可能範囲の外に出ると、通信可能範囲内に戻ってきたとしても Bluetooth 対応機器に接続しませんので、ご注意ください。チャージベースに再接続したい場合は、[通信固定されたの上書き](#), page 3-9 を参照してください。

Note: スキャナをチャージベースまたはアクセスポイント以外の Bluetooth 対応機器と併せて使用している場合、複数のワークグループのオプションは使用できません。



BT_TRMD;BT_DNG5.

Non-Base BT Connection

PDA やモバイルデバイスとの ベースなし BT 接続

スキャナを PDA やハネウエルのハンディターミナルと併せて使用することもできます。下記のバーコードを読み取り、ご使用の Bluetooth 対応機器に添付されていた取扱説明に従って、スキャナを認識し、接続してください。



BT_TRM0;BT_DNG1.
PDA/ハンディターミナル

スキャナの Bluetooth 暗証コード変更

一部の機器には、Bluetooth セキュリティ機能の一環として、暗証コードが必要です。スキャナの初期設定の暗証記号は 1234 で、ご使用の PDA または PC に初めて接続する際、入力が必要かもしれません。暗証コードは 1 ～ 16 文字の間でなければなりません。暗証コードを変更するには、下記のバーコードを読み取り、その後本書の裏表紙にある [Programming Chart](#) から該当の数値バーコードを読み取ります。Save（保存）を読み取って選定した内容を保存してください。



BT_PIN.
Bluetooth 暗証コード

Bluetooth/ISM 帯域ネットワーク干渉の最小化

この設定は、コードレスエリアイメージングシステムの再接続時の動作をカスタマイズし、利便性を確保しながら、干渉を低く抑えるための最適な妥協点を見出すのに役立ちます。

Note: ISM 帯域とは、無線ネットワーク、コードレス電話、Bluetooth が使用する 2.4 GHz から 2.48 GHz の周波数帯域を指します。

自動再接続モード

自動再接続は、接続が中断されたことが検出されたときに、スキャナが自動的に再接続のプロセスを開始するか否かを制御するものです。Auto Reconnect On（自動再接続 有効）のバーコードを読み取ると、スキャナはユーザーの介入なしにただちに再接続のプロセスを開始します。初期設定 = Auto Reconnect On（自動再接続 有効）



BT_ACM1.
* 自動再接続 有効



BT_ACM0.
自動再接続 無効

Note: Bluetooth のインターフェースモジュールに接続している場合には、Auto Reconnect Off に設定してください。

下の表は、Auto Reconnect が有効 および無効設定時の結果です。

事象	自動再接続 有効	自動再接続 無効
スキャナが通信範囲外にあるとき	自動的に再接続されます。再接続を最高限度回数まで試行しても成功しない場合は、トリガーを引くか、スキャナをベースまたはアクセスポイントに差し込むか、接続バーコードを読み取るかのいずれかによってスキャナの再接続を行ってください。(See “再接続試行最高限度回数” on page 3-22) の再接続試行最高限度回数を参照	スキャナはトリガーを引くか、アクセスポイント接続バーコードを読み取ることによって再度接続されます。
(ファームウェアのアップグレードもしくは電源再起動により) ベースまたはアクセスポイントがリセットされたとき	スキャナは通信範囲外にあるかのように動作します。	ベースまたはアクセスポイントがオフの間は、再接続を試行しません。再接続を始めるためには、トリガーを引いてください。
スキャナのパワータイムアウトタイマーの設定によりスキャナの電源がオフのとき参照 (see page 4-7)	再接続を行うには、トリガーを引くか、接続バーコードを読み込むか、スキャナをベースに差し込むかのいずれかを行います。(注意：スキャナは起動時に再接続しますが、起動するには上記の操作いずれかを行なう必要があります。)	
ファームウェアのアップグレードによりスキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	
バッテリー交換により、スキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	
スキャナが別のベースユニットに差し込まれたとき	自動的に新しいベースと接続します。	

再接続試行最高限度回数

再接続試行最高限度回数は、スキャナがベースまたはアクセスポイントとの接続を試みる回数を制御します。接続セットアッププロセスの間、スキャナはベースまたはアクセスポイントを捜し、接続すべく発信を行います。発信をし続けることによって、ISM 帯域の他のユーザーに影響するのを避けるため、この設定によって接続試行回数が制限されています。再接続試行最高限度回数に達すると、スキャナはベースまたはアクセスポイントへの再接続を断念します。トリガーを引くか、接続バーコードを読み込むか、スキャナをベースまたはアクセスポイントに差し込むかのいずれかを行うことで試行回数がリセットされ、スキャナは再度接続を試みるようになります。

Maximum Link Attempts (再接続試行最高回数) バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定試行回数 (0 ～ 100) を読み取ってください。Save (保存) を読み取って、設定を保存します。初期設定 = 0



BT_MLA.

再接続試行最高限度回数

Note: 自動再接続モードが有効のとき、再接続試行最高限度回数を 0 に設定すると、スキャナはパワータイムアウトタイマー設定 (see page 3-10) 参照) 時間が経過するまで、通信を試みます。自動再接続モードが無効のとき、再接続試行最高限度回数を 0 に設定すると、スキャナはトリガーが引かれたあと 1 回だけ再接続を試みます。

再接続タイムアウト

再接続タイムアウトは、再接続試行中のアイドル時間を制御します。ベースまたはアクセスポイントとの接続を再試行するには、一般に最高 5 秒ほどかかります。これはスキャナが実際にコンタクトしようと試みている時間です。再接続タイムアウトは 1 回接続を試み終わってから次に試み始めるまでの経過時間を秒単位で制御します。

Note: 試行時の所要時間は、1 台のベースユニットまたはアクセスポイントに接続されているスキャナの台数によって異なります。接続に成功したときには、さらに 7 秒かかることもあります。

Relink Time-Out（再接続タイムアウト）バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定秒数（0 ～ 100）を読み取ってください。Save（保存）を読み取って、設定を保存します。初期設定 = 3 秒



Bluetooth / ISM ネットワークアクティビティの例

初期設定

スキャナが通信範囲外に出ると、ベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を何回も試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

再接続試行最高限度回数 15、 他の値は初期設定値の場合：

スキャナが通信範囲外に出ると、ベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル（8 x 15 = 120）すなわち、約 2 分後に、スキャナはベースユニットまたはアクセスポイントへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたであろうバーコードは保存されています。1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

自動再接続モードを 0 に設定、 再接続試行最高限度回数 15、 他の値は初期設定値の場合：

スキャナが通信範囲外に出ても、再接続を一切試みません。トリガーを引くと、ベースユニットまたはアクセスポイントへのリンクを 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル（8 x 15 = 120）すなわち、約 2 分後に、スキャナはベースユニットまたはアクセスポイントへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたであろうバーコードは保存されています。1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。他にどのような事象によって再接続プロセスが始まるか、[自動再接続モード](#)，page 3-22 ページの自動再接続モードを参照してください。

自動再接続モードを 1 に設定、 再接続試行最高限度回数 0、 再接続タイムアウトを 10 に、 スキャナパワータイムアウトを 1800 に設定した場合：

Note: See [スキャナパワータイムアウトタイマー](#) on page 3-10.

スキャナは 1 回の試行開始から次の試行開始まで、15 秒の間隔でベースユニットまたはアクセスポイントへの接続を試みます。30 分経過すると、スキャナの電源がオフになります。

ホストコマンドの認知

一部のアプリケーションでは、送信されてきたバーコードをホストターミナル（ないしサーバー）が承認するか、または却下することを要求し、この処理をユーザーに知らせるよう要求します。ホスト ACK モードでは、スキャナは各スキャン後に返答を待ちます。視覚的聴覚的レスポンスでオペレーターはフィードバックを得られます。ホスト ACK を有効にすることによってスキャナはホストシステムからのコマンドに反応する状態になります。

Note: ホスト ACK を 9600 未満のボーレートで使用すると、システム性能が落ちますので、ご注意ください。

ホスト ACK を正常に作動させる為には、下記の条件を満たす必要があります。

- ・コードレスシステムがホストのポート RS232（ターミナル ID = 000）もしくは USB COM エミュレーション（ターミナル ID = 130）に設定してください。
- ・RTS/CTS の初期設定は無効です。ホストシステムが RTS/CTS を必要としている場合は、有効にしなければなりません。
- ・ホスト ACK を有効にしてください ([page 3-24](#))
- ・区切り文字にはカンマが必要です。
- ・ホストターミナルのソフトウェアには、バーコードデータを解釈し、かつデータの内容によって決定を下す能力が必要とされます。スキャナへ適切なエスケープコマンドを送信する能力が必要です。

エスケープコマンドは「アプリケーションワークグループ」を介してスキャナへ送信されます。コマンドが送信されると、そのグループ内のスキャナすべてがコマンドに反応します。そのため、各スキャナにホスト ACK モードで自分専用のグループを割り当てることを推奨します。

スキャナが反応するコマンドは [page 3-24](#) に列挙されています。**[ESC]** は Hex 値での 1B です。典型的なコマンドストリングは y<ESC>x で、「y」はアプリケーションワークグループ番号、「<ESC>x」はエスケープコマンド、コンマは終止符が必要です。（「y」が特定されていない場合、コマンドは初期設定の Application Work Group 0 に送信されます。）

Example: コマンドをつなげて、カスタマイズされたレスポンスシーケンスを作成することもできます。以下はコマンドストリングの一例です。

0[ESC]4,[ESC]5,[ESC]6,

上記の例では、アプリケーションワークグループがゼロのスキャナが、始めは小さい音でピーッと、その後中位の音でピーッと、さらにその後大きな音でピーッと鳴ります。

Example: ファイルのどのアイテムにもピーッ音が必要ですが、ファイルにアイテムがない場合、エラーブザーが必要です。この場合、

オンファイル製品用に [ESC]7 がホストへ送信されます。

非オンファイル製品用に [ESC]8、[ESC]8 がホストへ送信されます。

バーコードがスキャンされると、スキャナはホスト ACK シーケンスまたはタイムアウト（初期設定 10 秒）になるまでのタイムアウト期間を入力します。

ホスト ACK が有効なとき、システムは次のように機能します。

- ・ スキャナはバーコードを読み、ホストシステムに送信すべく、ベースユニットまたはアクセスポイントにデータを送ります。スキャナがエスケープコマンドを受信するまで音や視覚によるインジケータは発せられません。読み取りに成功すると、スキャナの読み取り用ライトが消えます。
- ・ 以下のいずれかになるまで、スキャナの操作は中止されます。1) ベースユニットを介して、ホストシステムからの有効なエスケープ・ストリングを受信する。2) スキャナがタイムアウトになる。
- ・ 上記の 1) ないし 2) の条件が満たされると、スキャナは再び読み取り準備が整い、プロセスが繰り返されます。

スキャナが 10 秒以内に有効なエスケープコマンドを受信しなければ、タイムアウトが起きます。タイムアウトはエラーブザーで示されます。タイムアウトになった場合、ユーザーはホストシステムをチェックしてスキャナへの応答がなぜ受信されなかったのかを確認してください。

ホスト ACK



HSTACK1.

ホスト ACK 有効



HSTACK0.

* ホスト ACK 無

ホスト ACK のレスポンス

コマンド	動作
[ESC] a,	2 回ピーッと鳴り、設定変更成功を示します。
[ESC] b,	エラーブザーが鳴り、設定変更が成功しなかったことを示します。
[ESC] 1,	緑の LED が 135 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 2,	緑の LED が 2 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 3,	緑の LED が 5 秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 4,	小さい音で 1 回ピーッと鳴ります。

コマンド	動作
[ESC] 5,	中位の音で 1 回ピーッと鳴ります。
[ESC] 6,	大きい音で 1 回ピーッと鳴ります。
[ESC] 7,	連続音で、デコードとホストへの通信が成功したことを示します。
ESC 8, ESC J	ホストへのデコードまたは通信が失敗したことを表すエラーブザーが鳴ります。

入力・出力設定

起動ブザー

Note: 本機能は CCB02-100BT/CCB05-100BT ベースにはございません。

スキャナは、電源が入るとブザーが鳴るようになっています。コードレスシステムをご使用の場合は、電源を入れるとベースが鳴るようになっています。起動ブザーをお使いにならない場合は、Off バーコードを読み取ってください。初期設定 = Power Up Beeper On - Scanner (スキャナ、起動ブザー有効)



BEPPWR0.

スキャナ、起動ブザー無効



BEPPWR1.

* スキャナ、起動ブザー有効



BASPWR0.

コードレスベース、起動ブザー
無効



BASPWR1.

コードレスベース、起動ブザー
有効

BEL ブザー

ホストからのコマンドに対してブザーを鳴らしたい場合は、下の Beep on BEL On (BEL ブザー 有効) バーコードを読み取ってください。スキャナがホストから BEL キャラクタを受信するたびにブザーが鳴ります。初期設定 = Beep on BEL Off (BEL ブザー 無効)



BELBEP0.

*BEL ブザー 無効



BELBEP1.

BEL ブザー 有効

トリガークリック音

トリガーを引くたびにクリック音が聞こえるようにしたい場合は、下の Trigger Click On（トリガークリック音 有効）バーコードを読み取ってください。クリック音が聞こえないようにするには、Trigger Click Off（トリガークリック音 無効）コードを読み取ります。（シリアルトリガーモードもしくは自動読み取りモードには影響しません。）初期設定 = Trigger Click Off（トリガークリック音 無効）



BEPTRG0.

*トリガークリック音



BEPTRG1.

トリガークリック音

読み取り成功インジケータ

ブザー：読み取り成功時

読み取りに成功した場合のブザーを **On** または **Off** に設定できます。この設定を無効にすると、読み取り成功時のインジケータの中でもブザーだけを無効にします。エラー発生時や設定変更時のブザーはすべて鳴動します。初期設定 = *Beeper -Good Read On*（読み取り成功のブザー 有効）



BEPBEP0.

読み取り成功のブザー 無効



BEPBEP1.

*読み取り成功のブザー 有効

ブザーの音量：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザーの音量を変更します。初期設定 = (*Granit/Xenon* は *High* (大)、*Xenon HC* は *Low* (低))



BEPLVL1.

*小



BEPLVL2.

中



BEPLVL3.

*大



BEPLVL0.

Off (な

ブザーの音程：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の音程（周波数）を変更します。中音程は Xenon と Granit スキャナで異なります。初期設定 = Medium (中)



BEPFQ11600.

低 (1600 Hz)



BEPFQ12700.

* 中 - Xenon
(2700 Hz)



BEPFQ13200.

* 中 - Granit
(3200 Hz)



BEPFQ14200.

高 (4200 Hz)

振動：読み取り成功時

Note: 振動の設定は Granit デバイスのみに適応されます。

バーコードの読取に成功するとスキャナは1回振動し、設定バーコードの読取に成功すると2回振動します。設定バーコードの読取に失敗すると、スキャナは1回長く振動します。(2回分の長さ) 振動を使用しない場合は、Vibrate - Good Read Off (読み取り成功の振動 オフ) を読み取ってください。 初期設定 = Vibrate - Good Read On (読取成功の振動 オン)



TFBGRD0.

読み取り成功時の振動 無効



TFBGRD1.

* 読み取り成功時の振動 有効

振動時間

読み取り成功時の振動の長さを設定したい場合、以下のバーコードをスキャンし、裏表紙の内側から数字を読み取って (100 ～ 2,000 ミリ秒) の長さを設定し **Save** を読み取ります。初期設定 = 300 ms



ブザーの音程：読み取り失敗時およびエラー発生時

エラー発生時にスキャナが発するエラーブザー音の音程を変更できます。初期設定 = Razz (低)



ブザーの長さ：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の長さを変更します。初期設定 = Normal (通常)



LED：読み取り成功時

読み取り成功時に点灯する LED を On または Off に設定できます。初期設定 = On (有効)



ブザーの回数：読み取り成功時

読み取り成功時のブザー回数を1～9に設定できます。読み取り成功時のブザー回数を設定すると、その回数が読み取り成功時のブザーとLEDの回数として適用されます。例えば、この設定をブザー5回に設定すると、読み取り成功に反応してブザーが5回鳴り、LEDが5回点滅します。ブザーとLEDの点滅は互いに同期しています。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にある**から数字（1～9）**バーコードと**Save（保存）**バーコードを読み取ります。[Programming Chart](#) 初期設定=1



BEPRPT.

Number of Good Read Beeps/LED Flashes （読み取り成

ブザーの回数：読み取り失敗時およびエラー発生時

読み取り失敗時およびエラー発生時にスキャナが鳴らすブザーやLEDの点滅回数を1～9のうちで設定できます。例えば、この設定をブザー5回に設定すると、エラーに反応してブザーが5回鳴り、LEDが5回点滅します。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にある**から数値（1～9）**バーコードを読み取り、次に**Save（保存）**バーコードを読み取ります。[Programming Chart](#) 初期設定=1



BEPERR.

エラー発生時のブザーとLED回数

ブザー音最大

Note: *Beeper Volume Max*（ブザー音最大）機能は *Granit* 製品のみです。

以下のバーコードをスキャンし、すべてのエラーと読み取り成功のブザー音を最大値に設定します。この機能は**ブザーの音程：読み取り成功時最大レベル**にも設定します。



PAPBLM.

ブザー音最大

読み取り成功ディレイ

読み取り成功後、次のバーコードを読み取るまでの最短時間を設定します。初期設定=0ミリ秒（ディレイなし）



DLYGRD0.

*ディレイなし



DLYGRD500.

短いディレイ (500 ms)



DLYGRD1000.

中位のディレイ (1,000 ms)



DLYGRD1500.

長いディレイ (1,500 ms)

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

読み取り成功ディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 30,000 ミリ秒) を設定し、最後に **Save** (保存) を読み取ります。



DLYGRD.

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

マニュアルトリガーモード

マニュアルトリガーモードの場合、バーコードが読み取られるまで、もしくはトリガーを放すまで読み取りを行います。Normal (標準) と Enhanced (強化) の二つのモードから選択できます。ノーマルモードでは、高速で広い読取範囲 (読取深度) で読み取ります。強化モードでは、最速の読み取りを行いますが、ノーマルモードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。初期設定 = *Manual Trigger Mode - Normal* (マニュアルトリガーモード 標準)



PAPHHF.

* マニュアルトリガー 標準



PAPHHS.

マニュアルトリガー 強化

LED 照明：マニュアルトリガーモード

LED 照明の明るさを調節したい場合は、下記のいずれかのバーコードを読み取ってください。トリガーを引いた時のスキヤナの LED 照明を設定することができます。初期設定 = High (高)

Note: Medium(注) は Granit デバイスではサポートされていません。

LED はカメラのフラッシュのようなものです。部屋の照明が暗い場合、スキヤナがバーコードを確認できるよう LED 照明もより明るくしなければなりません。



PWRNOL0.

無効



PWRNOL100.

低



PWRNOL120.

中



PWRNOL150.

* 高

シリアルトリガーモード

トリガーを引くか、シリアルトリガーコマンドを用いることで、スキヤナを動作させることができます。Trigger Commands on page 12-3 を参照。シリアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るか、停止コマンドが送信されるまで読み取り動作を続けます。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるようにスキヤナを設定することもできます。(読み取りタイムアウトを参照。)

読み取りタイムアウト

スキヤナをシリアルコマンドで動作させる場合、この設定でトリガーのタイムアウト (ミリ秒単位) を設定します。スキヤナが一旦タイムアウトになった後は、トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを用いて動作させることができます。Read Time-Out (読み取りタイムアウト) のバーコードを読み取り、裏表紙の内側にある Programming Chart から数字を読み取って、タイムアウト時間 (0 ~ 300,000 ミリ秒) を設定し、次に Save (保存) を読み取ります。初期値 = 30,000ms (ミリ秒)



TRGSTO.

読み取りタイムアウト

プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードでは、周囲の照明を使ってバーコードを検知します。プレゼンテーションモードで動作するように設定すると、LED はバーコードがスキヤナに提示されるまで消灯されており、バーコードが提示されると、自動的に点灯して読み取ります。室内の照明が暗いと正常に機能しないことがありますので、ご注意ください。

Note: プレゼンテーションモードでコードレスチャージベースユニットをご使用の場合、ベースユニットの補助電源ポートに電源がつながれるまでは、バッテリーは充電を行いません。

以下のバーコードをスキャンして、プレゼンテーションモードに設定します。



PAPTPR.
プレゼンテーションモード

LED 照明：プレゼンテーションモード

LED 照明の明るさを調節したい場合は、下記のいずれかのバーコードを読み取ってください。プレゼンテーションモード時のスキャナの LED 照明を設定することができます。（スキャナのトリガーを引くと、LED 照明はマニュアルトリガー時の設定になってしまいます。） See “LED 照明：マニュアルトリガーモード” on page 4-6 初期設定 = High（高）

Note: LED はカメラのフラッシュのようなものです。部屋の照明が暗い場合、スキャナがバーコードを確認できるように LED 照明もより明るくしなければなりません。



PWRLDC0.
無効



PWRLDC100.
低



PWRLDC150.
* 高

Note: プレゼンテーションモードの LED 照明設定は、ストリーミングプレゼンテーション™モードや携帯端末読み取りモードには適用されません。

デコード後のプレゼンテーション LED の動作

スキャナがプレゼンテーションモードにあるとき、バーコードをデコードした後の短い間、LED は点灯したまま読み取りを続けます。バーコードをデコードした後、直ちに LED を消灯したい場合は、次の LEDs Off バーコードを読み取ってください。初期設定 = LEDs On. (LED 有効)



TRGPCK1.
* LED 有効



TRGPCK0.
LED 無効

プレゼンテーション感度

プレゼンテーション感度とは、提示されたバーコードに対するスキャナの反応時間を増減させる数値範囲です。感度を設定するには、**Sensitivity**（感度）バーコードを読み取り、裏表紙の内側から感度（0 ～ 20）を読み取り、次に **Save** を読み取ります。最も感度の高い設定が 0 で、最も低い設定が 20 です。初期設定 = 1



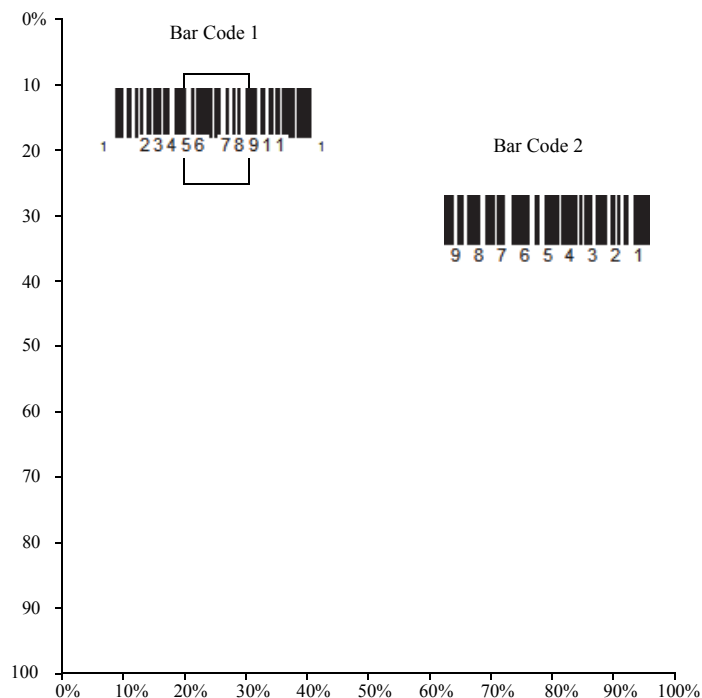
プレゼンテーションセンタリング

ここでは、スキャナがスタンドに設置された際にスキャナの視野を狭め、ユーザーが読み取りを望むバーコードだけをスキャナに読み込ませる設定です。例えば、複数のバーコードが 1 枚のシートに密接して印刷されている場合、特定のバーコードだけが読み取られるようになります。

Note: スタンドを使用せず、スキャナを手で持った状態でセンタリングを調節したい場合は、[センタリング](#) (page 4-14) を参照してください。

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません。**Presentation Centering On**（プレゼンテーションセンタリング 有効）を読み取って設定を有効にすると、**Top of Presentation Centering Window, Bottom of Presentation Centering Window**（プレゼンテーションウィンドウ 底部）、**Left and Right of Presentation Centering Window**（プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは 20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード 1 は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。



Note: バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Presentation Centering On (プレゼンテーションセンタリング 有効) を読み取った後、以下のバーコードを読み取ってセンタリングウィンドウの上部、底部、左、右を変更してください。本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、その後 **Save** を読み取ります。初期設定 = 40% for Top and Left, 60% for Bottom and Right (上部および左に 40%、底部および右に 60%)



PDCWIN1.
プレゼンテーションセンタリング 有



PDCWIN0.
* プレゼンテーションセンタリング



PDCTOP.
プレゼンテーションセンタリング
ウィンドウ 上



PDCBOT.
プレゼンテーションセンタリング
下



スタンド使用時のセンサーモード

Note: スタンド使用時のセンサーモードは Xenon 製品にのみ適応されます。

この機能は、スキャナがスタンドから離れた場合にマニュアルトリガーによって読み取り実行をスキャナへ指示するものです。Sensor On (センサー 有効) が有効なとき、スタンド使用時のスキャナはストリーミングプレゼンテーションモードをデフォルトとし、スタンド不使用時の場合は、マニュアルトリガーモードをデフォルトとします。初期設定 = Sensor On (センサー 有効)



Note: 画像取り込み (see [Imaging Commands](#) beginning on page 9-1) の場合は、スタンド使用時センサーモードをオフにしてください。

スタンド使用時にはストリーミングプレゼンテーションモード (標準、強化、または携帯端末) を設定し、スタンド不使用時には マニュアルトリガーモード (標準、強化、または携帯端末) で設定します。まず始めにお好みのストリーミングプレゼンテーションモード (下記) をまず読み取ります。その後ご使用希望のマニュアルトリガーモード [page 4-5](#) と [page 4-10](#) を読み取ります。

CodeGate®

CodeGate を有効にすると、デコードされたデータをホストシステムへ送信させるためにトリガーを使用します。スキャナは読み取りもデコードも行いますが、トリガーが引かれるまでデコードされたデータを送信しません。CodeGate が無効になっていると、バーコードのデータはデコードされて直ぐにホストシステムに送信されます。初期設定 = CodeGate Off, Out of Stand (スタンド不使用時 CodeGate 無効)



ストリーミングプレゼンテーション™モード

ストリーミングプレゼンテーションモードを設定すると、スキャナのエイマーは短時間後消えますが、スキャナの照明はバーコードを探すために継続して常時点灯されます。Normal（標準）と Enhanced（強化）の2つのモードから選択できます。標準モードは、高速で広い読取範囲で読取を行います。強化モードでは、最速の読み取りを行います。標準モードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。



優先シンボル優先シンボル (page 4-16) を使用しているとき、優先順位の低いシンボルはエイミングパターンの中央に置かれ、ストリーミングプレゼンテーションモードで読み取られます。

Note: コードレススキャナのベースユニットをご使用の場合、ストリーミングプレゼンテーションモードを正常に動作させるには、外部電源を補助ポートに接続する必要があります。

スタンド使用時のストリーミングプレゼンテーション設定

この機能は、スタンド使用時のセンサーモード，page 4-9 のスタンド使用時センサーモードが有効の際にお使いいただけます。スタンド内での読み取りに対し、特定のストリーミングプレゼンテーションモードを設定いただけます。まず、ご希望のストリーミングプレゼンテーションモード（標準、強化、携帯端末）を読み取り、その後ご希望のマニュアルトリガーモード（標準、強化、携帯端末）を読み取り取ってください。

携帯端末読み取りモード

この機能は、お使いのスキャナを携帯端末やその他の LED デバイスのバーコード読み取りに最適化します。しかし、このモードでは、印刷されたバーコードの読取速度は少し遅くなります。携帯端末読み取りモードは、読み取り方式（手持ち、またはハンズフリー）に関わらず、お使いになれます。



Note: 携帯端末読み取りモードを無効にするには、マニュアルトリガーまたはシリアルトリガーモードのバーコード (see page 4-5) を読み取ります。

ハンズフリータイムアウト

スキャンスタンド、またはプレゼンテーションモードは「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、スキャナがマニュアルトリガーモードのままにいる時間を設定できます。タイムアウト値に達すると（さらにトリガーが引かれなければ）元のハンズフリーモードに戻ります。

Hands Free Time-Out (ハンズフリータイムアウト) のバーコードを読み取り、裏表紙の内側からタイムアウト時間 (0 ~ 300,000 ミリ秒) を読み取り、次に **Save** (保存) を読み取ります。 *初期値 = 5,000ms (ミリ秒)*



TRGPTO.
ハンズフリータイムアウト

再読み取りディレイ

同一バーコードを 2 回目に読み取るまでの間隔を秒単位で設定します。再読み取りディレイを設定することで、同一バーコードを誤って再読み取りするのを防ぎます。ディレイを長くすると、再読み取りエラーを最小限にするのに効果的です。バーコードの繰り返し読み取りが必要な場合は、ディレイを短くします。再読み取りディレイが動作するのは、プレゼンテーションモード **プレゼンテーションモード** (see page 4-6) のときだけです。 *初期設定 = Medium (中)*



DLYRRD500.
短 (500 ms)



DLYRRD750.
* 中 (750 ms)



DLYRRD1000.
長 (1000 ms)



DLYRRD2000.
エクストラ (2000 ms)

ユーザー定義の再読み取りディレイ

再読み取りディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 30,000 ミリ秒) を設定し、最後に **Save** を読み取ります。



DLYRRD.
ユーザー定義の再読み取りディレイ

2D 読み取りディレイ

2 次元シンボルは他のバーコードと比べて、読み取りに時間が掛かることがあります。2 次元シンボルに再読み取りディレイを設定したい場合、以下の設定バーコードを読み取ってください。 **2D Reread Delay Off** (2D 再読み取りディレイ無効) は **再読み取りディレイ** が設定された 1 次元・2 次元バーコードの両方に使用できます。 *初期設定 = 2D Reread Delay Off (2 D 再読み取りディレイ無効)*



DLY2RRD.
* 2 D 再読み取りディレイ無効



DLY2RR2000.

中 (2000ms)



DLY2RR1000.

短 (1000ms)



DLY2RR3000.

長 (3000ms)



DLY2RR4000.

エクストラ (4000ms)

キャラクタ有効化モード

ホストからキャラクタを送信してスキナの読取を開始します。有効キャラクタを受信すると、スキナは**キャラクタ有効化タイムアウト** (page 4-13) キャラクタ有効化タイムアウトになるか、(see **無効化キャラタ** on page 4-13) 無効キャラクタを受信するか、またはバーコードを送信するまでスキャンし続けます。キャラクタアクティベーションを使用するには、以下の On バーコードを読み取り、ホストから送信してスキャンを始めるキャラクタを以下のアクティベーションキャラクタを使用します。初期設定 = Off



HSTCEN0.

* 無効



HSTCEN1.

有効

アクティベーションキャラタ

キャラクタアクティベーションモードを使用している場合、読み取りに使用するキャラクタを設定します。スキャンを開始するための文字を、**ASCII Conversion Chart (Code Page 1252)**, page A-3ASCII 変換チャートにある 16 進数から選択してください。以下のバーコードをスキャンし、**Programming Chart**ASCII キャラクタに対応した英数字を使用してください。Save (保存) を読取終了します。初期設定 = 12 [DC2].



HSTACH.

有効化キャラタ

読み取り成功後の終端文字のアクティベーション

スキャナがバーコードの検出・読取に成功後、スキャンするために照明をそのままにするか消灯するか設定できます。**End Character Activation After Good Read**（読み取り成功後の終端文字アクティベーション）を有効にすると、読み取り成功後に照明を消灯し、読取を停止します。**Do Not End Character Activation After Good Read**（読み取り成功後の終端文字アクティベーション無効）をスキャンすると、読み取り成功後も照明はそのままになります。*初期設定 = Do Not End Character Activation After Good Read*（読み取り成功後の終端文字アクティベーション無効）



* 読み取り成功後の終端文字ア有効化
無効



読み取り成功後の終端文字有効化

キャラクタ有効化タイムアウト

キャラクタ有効化モードを使用している場合、照明が点灯している時間の長さとバーコードのデコード試行する時間を設定できます。以下のバーコードを読み取ってタイムアウトの時間（ミリ秒）を設定し、[Programming Chart](#) 裏表紙にある数字を読み取って **Save** タイムアウト時間（1 ～ 300,000 ミリ秒）を設定してください。*初期値 = 30,000ms（ミリ秒）*



キャラクタ有効化タイムアウト

キャラクタ無効化モード

スキャン開始のためのキャラクタをホストから送信する場合、スキャン停止のためのキャラクタを送ることも出来ます。キャラクタ無効化を使用するには、以下の On バーコードを読み取り、ホストから送信してスキャンを始めるキャラクタを以下の無効化文字を使用します。*初期設定 = Off*



* 無効



有効

無効化キャラタ

文字無効化モードを使用している場合、読み取りに使用するキャラクタを設定します。スキャンを停止するための文字を、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), page A-3ASCII 変換チャートにある 16 進数から選択してください。以下のバーコードをスキャンし、[Programming Chart](#)ASCII キャラクタに対応した英数字を使用してください。Save を読み取り終了します。初期設定 = 14 [DC4]



HSTDCH.

無効化キャラクタ

照明設定

バーコードの読み取り中に照明ライトをオンにしたい場合は、次の **Lights On** のバーコードを読み取ります。ただし、単にライトをオフしたい場合は、**Lights Off** のバーコードを読み取ります。初期設定 = Lights On (照明 有効)

Note: この設定は、エイマーライトには無効です。エイミングライトは、[エイマーモード](#) (page 4-14) で設定できます。



SCNLED1.

* 照明 有効



SCNLED0.

照明 無効

エイマーディレイ

ユーザーがスキャナの狙いを定めて画像を取り込むまでのディレイ（間隔）を設定します。これらのコードで、トリガーを引いてから画像を取り込むまでの時間を設定します。ディレイ時間の間はエイミングライトが照射されますが、ディレイ時間を過ぎるまで LED は点灯しません。初期設定 = Off (エイマーディレイ 無効)



SCNDLY200.

200 ミリ秒



SCNDLY400.

400 ミリ秒



SCNDLY0.

* 無効、または

ユーザー定義のエイマーディレイ

ディレイ時間に独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から数字（0～4,000 ミリ秒）を読み取ってタイムアウト時間を設定し、**Save**（保存）を読み取ります。



SCNDLY.
ディレイ時間

エイマーモード

この機能はエイマーの切り替えを行うものです。**Interlaced**（非同時）のバーコードを読み取ると、エイマーと照明 LED は同時に点灯できません。illumination LEDs. 初期設定 = **Interlaced**（非同時）

Note: Granit 1980i および 1981i はエイマーモードに対応していません。



SCNAIM0.
無効



SCNAIM2.
* 非同時

センタリング

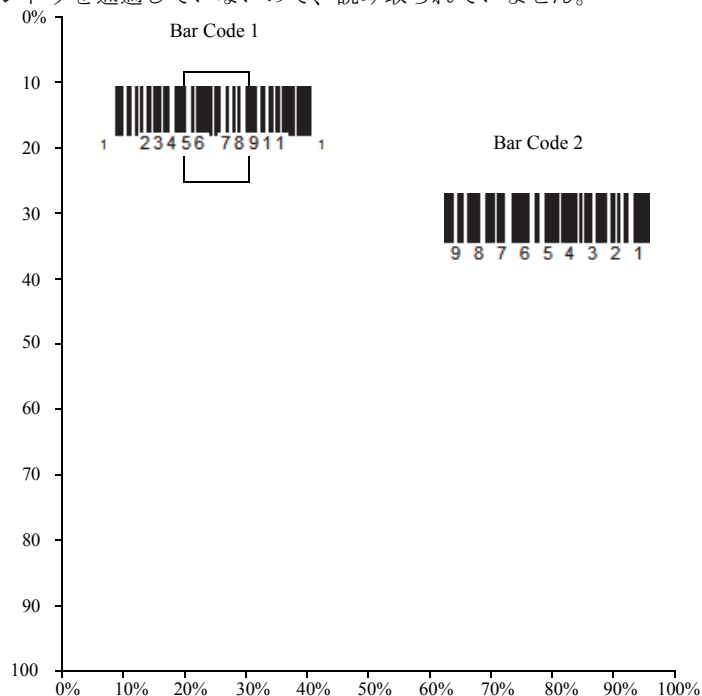
希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用してスキャナの視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります（センタリングは、複数のバーコードが接近して配置されている作業環境でエラーができるだけ発生しないように、[エイマーディレイ](#)、page 4-14 のエイマーディレイと一緒に使用できます。エイマーディレイ機能とセンタリング機能を併用すると、リニアレーザーバーコードスキャナなどの旧式システムの動作をエミュレーションできます。）

Note: スタンドを使用せず、スキャナを手で持った状態でセンタリングを調節したい場合は、[プレゼンテーションセンタリング](#) (page 4-7) の「センタリング」を参照してください。

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません。

Centering On（プレゼンテーションセンタリング 有効）を読み取って設定を有効にすると、**Top of Centering Window, Bottom of Centering Window**（センタリングウィンドウ 上部）、**(プレゼンテーションウィンドウ 底部)**、**Left, and Right of Centering Window**（プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード 1 は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード 2 はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。



Note: バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Centering On を読み取り、次のバーコードをどれか読み取ってセンタリングウィンドウの上下左右いずれかを変更します。次に本書の裏表紙の内側にある数字を用いて、センタリングウィンドウを移動するパーセンテージを読み取ります。その後 **Save** を読み取ります。 初期設定センタリング = Top と Left が 40%、Bottom と Right が 60%





DECRGT.
センタリング 右

優先シンボル

複数のシンボルが 1 枚のシートに印刷されているものの、優先順位の低い方のシンボルの読み取りを無効にできない場合、ある一つのシンボルを他のシンボルよりも優先順位が高いものとして指定することができます。

例えば、UPC シンボルを小売店舗で読み取るよう設定を施したスキャナを使用している場合に、運転免許証のバーコードを読み取らなければならない場合があります。一部の免許証には Code 39 シンボルのほかに PDF417 シンボルもありますが、優先シンボルを使用すると、Code 39 ではなく PDF417 を先に読み取るよう指定することができます。

優先シンボルは、各シンボルを優先度 高、優先度 低、または指定なしタイプに分類されます。優先度低のシンボルが現れたとき、スキャナは設定した時間 (see [優先シンボルのタイムアウト](#) on page 4-17) の間、このシンボルを無視し優先度高のシンボルをサーチします。この時間内に優先度高のシンボルが見つかったら、即座にデータが読み取られます。

優先度の高いシンボルを読み取る前にタイムアウト時間が過ぎてしまうと、スキャナは視界内のバーコード (優先度 低 または指定なし) を読み取るようになります。タイムアウト時間が過ぎてもスキャナの視界内にバーコードが見つからない場合、データは報告されません。

Note: 優先度低のシンボルは、読み取るエイミングパターンの中央に置く必要があります。

次のバーコードを読み取って、優先シンボルを有効または無効にします。 初期設定 = Preferred Symbology Off (優先シンボル 無効)



PRFENA1.
優先シンボル 有効



PRFENA0.
* 優先シンボル 無効

高優先度シンボル

優先度の高いシンボルを指定するには、次の High Priority Symbology (高優先度シンボル) バーコードを読み取ります。 [Symbology Charts](#) on page A-1 のシンボルチャートで、高優先度に設定するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャート (裏表紙の内側) から 2 桁の Hex 値を読み取ります。Save (保存) を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None (なし)



PRFCOD.
高優先度シンボル

低優先度シンボル

優先度の低いシンボルを指定するには、次の Low Priority Symbology (低優先度シンボル) バーコードを読み取ります。 [Symbology Charts](#) on page A-1 のシンボルチャートで、低優先度に設定するシンボルを探します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャート (裏表紙の内側) から 2 桁の Hex 値を読み取ります。

優先度の低いシンボルをさらに設定したい場合は、FF を読み取った後、次のシンボルに対応する 2 桁の Hex 値をプログラミングチャートから読み取ります。最大 5 つの優先度低シンボルを設定できます。Save（保存）を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None（なし）



PRFBLK.

低優先度シンボル

優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルを有効にし、高優先度および低優先度のシンボルを入力したら、タイムアウト時間を設定する必要があります。これは、低優先度のバーコードが現れた後、スキャナが高優先度のバーコードをサーチする時間です。次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ（0 ～ 3,000 ミリ秒）を設定し、Save（保存）を読み取ります。初期値 = 500ms（ミリ秒）



PRFPTO.

優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルのタイムアウト

次のバーコードを読み取ると、すべての優先シンボル設定がデフォルトに戻されます。



PRFDFT.

優先シンボルのデフォルト

アウトプットシーケンスの概要

アウトプットシーケンスエディタ

この設定では、バーコードが読み取られる順序には関係無く、アプリケーションに必要な任意の順序でデータを出力するように（複数のシンボルを読み取るとき）スキャナを設定できます。Default Sequence（シーケンスのデフォルト）のシンボルを読み取ると、下記の汎用値にスキャナを設定します。これが初期設定になっています。Default Sequence のシンボルを読み取る前に必ずフォーマットをすべて削除するかクリアしてください。

Note: アウトプットシーケンスエディタを設定するときは、アプリケーションに必要なコード ID、コード長、および合致させるキャラクタを事前に確認する必要があります。英数字シンボル（裏表紙の内側）を用いてこれらの設定値を読み取ってください。また、シーケンスで各バーコードを読み取る間は、トリガーを引いたままにしておく必要があります。

アウトプットシーケンスを追加する

1. **Enter Sequence**（シーケンスの入力）のバーコードを読み取ります。（[アウトプットシーケンスの要求](#)，page 4-19 を参照。）
2. **コード I.D.**
[Symbology Charts](#) on page A-1 のシンボルチャートでアウトプットシーケンスフォーマットを適用するシンボルの種類を確認します。シンボルの Hex 値を確認し、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から 2 桁の Hex 値を読み取ります。
3. **コード長**
シンボルの長さ（最大 9,999 キャラクタ）を指定します。プログラミングチャートから 4 桁のデータ桁数を読み取ってください。（注：50 桁は 0050 と入力します。9999 は汎用の数字で、すべての長さ／桁数を示します。）データ桁数を計算するときには、設定したプリフィクス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。（9999 を使用しない場合。）
4. **合致キャラクタの指定**
[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#)，page A-3 の「印刷バーコードのコードページマッピング」で合致させたい

キャラクタを表す Hex 値を確認します。その後、プログラミングチャートを使用し、ASCII キャラクタを表す英数字の組合せを読み取ります。(99 は汎用の数字で、すべてのキャラクタを示します。)

5. **アウトプットシーケンスの終了**

追加シンボル用にアウトプットシーケンスを入力するときは **FF**を読み取ります。または **Save** を読み取って入力を保存します。

他のプログラム設定

- ・ **Discard**
アウトプットシーケンスの変更を保存しないで終了します。

アウトプットシーケンス 設定例

この例では、Code 93、Code 128、および Code 39 のバーコード読み取りに際し、下記のように Code 39 をはじめに、次に Code 128 を、Code 93 を三番目に出力するよう読み取りたいとします。

Note: この例では、Code 93 が必ず有効でなければなりません。



A - Code 39



B - Code 128



C - Code 93

次のコマンド行でシーケンスエディタを設定します。

SEQBLK62999941FF6A999942FF69999943FF

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK シーケンスエディタのスタートコマンド

62	Code 39 のコード ID
9999	Code 39 の場合に対応しなければならないコード長、9999 : すべての長さ
41	Code 39 先頭キャラクタを指定、41h="A"
FF	最初のコードの終了
6A	Code 128 のコード ID
9999	Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、9999 : すべての長さ
42	Code 128 の先頭キャラクタを指定、42h="B"
FF	2 番目のコードの終了
69	Code 93 のコード ID
9999	Code 93 の場合に対応しなければならないコード長、9999 : すべての長さ
43	Code 93 の先頭キャラクタを指定、43h="C"
FF	3 番目のコードの終了ストリング

特定のデータ長を使用して先の例を設定するには、設定したプレフィックス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ長の一部として数える必要があります。page 4-18 の例を使用しつつ<CR>サフィックスと特定のコード長を想定する場合は、次のコマンド行を使用します。

SEQBLK62001241FF6A001342FF69001243FF

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK シーケンスの入力

62	Code 39 のコード ID
0012	A - Code 39 のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
41	Code 39 先頭キャラクタ、41h="A"
FF	最初のコードの終了
6A	Code 128 のコード ID
0013	B - Code 128 のコード長 (12) + CR サフィックス (1) = 13
42	Code 128 先頭キャラクタ、42h="B"
FF	2 番目のコードの終了
69	Code 93 のコード ID
0012	C - Code 93 のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
43	Code 93 先頭キャラクタ、43h="C"
FF	3 番目のコードの終了

アウトプットシーケンスエディタ



SEQBLK.

シーケンスの入力



SEQDFT.

シーケンスのデフォルト

パーティカルシーケンス

アウトプットシーケンスがすべての出力シーケンス基準と合致する前に終了された場合、そこまでに得られたバーコードデータが「パーティカルシーケンス」となります。

Discard Partial Sequence (パーティカルシーケンスの破棄) を読み取ると、アウトプットシーケンスが途中で中断されたパーティカルシーケンスを放棄します。Transmit Partial Sequence (パーティカルシーケンスの送信) を読み取ると、パーティカルシーケンスを送信します。(合致するデータがないシーケンスのフィールドは、出力時にスキップされます。)



SEQTTS1.

パーティカルシーケンスの送信



SEQTTS0.

* パーティカルシーケンスの放棄

アウトプットシーケンスの要求

アウトプットシーケンスが **Required** のとき、出力データはすべて設定シーケンスどおりでなければなりません。合致していなければ、スキャナは出力データをホストデバイスに送信しません。**On/Not Required** (有効、要求しない) のときは、編集されたシーケンスに合うように出力データを取得しようとします。取得できなければ、すべての出力データをそのままホスト機器に送信します。

無効の場合は、バーコードデータはスキャナがデコードしたままホストに出力されます。初期設定 = Off (無効)

Note: この設定は、マルチプルシンボル選択がオンになっているときは使用できません。



SEQ_EN2.

要求する



SEQ_EN1.

有効、要求しない



SEQ_EN0.

* 無効

複数シンボル

このプログラミング設定を有効にスキャナのトリガーを 1 回引くだけで複数のシンボルを読み取ることができます。トリガーを引いたまま複数のシンボルに照準を合わせると、各シンボルを 1 回ずつ読み取り、その都度ブザーを鳴らします（有効時に限る。） Granit スキャナの場合、振動します。スキャナは、トリガーを引いている間は新たなシンボルを探してデコードしようとします。このプログラム設定を無効にすると、エイミングビームに最も近いシンボルだけを読み取ります。初期設定 = Off (無効)



SHOTGN1.

有効



SHOTGN0.

* 無効

No Read

No Read を有効にすると、スキャナはコードを読み取れない場合に通知します。EZConfig Tool Scan Data Window see page 11-3 を使用している場合は、コードを読み取れなかったときに「NR」と表示されます。No Read を無効にすると「NR」は表示されません。初期設定 = Off (無効)



SHWNRD1.

有効



SHWNRD0.

* 無効

例えば「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、出力メッセージを編集できます (see [Data Formatting](#) beginning on page 7-1) からのデータフォーマット参照)。No Read シンボルの Hex 値は 9C です。

ビデオリバース（反転コード）

ビデオリバースを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。**Video Reverse Off**はこのバーコードの例です。色が反転したバーコードのみを読み込む際には、Video Reverse Only（反転コードのみ 有効）を読み取ってください。どちらのタイプのコードも読み込む場合は、Reverse and Standard Bar Codes（標準および反転コード両方 有効）を読み取ってください。

Note: Video Reverse Only を読み取った後は、メニューバーコードの読み取りができません。メニューバーコードを読み取るには、Video Reverse Off（反転コード 無効）もしくは Video Reverse and Standard Bar Codes を読み込んでください。

Note: 画像は反転されません。これは、バーコードのデコード専用設定です。



VIDREV1.

反転コードのみ 有効



VIDREV2

反転および標準コード

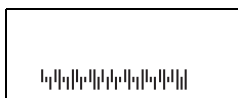


* 反転バーコード 無効

ワーキングオリエンテーション

バーコードによっては、方向に敏感なものがあります。例えば、KIX コードや OCR フォントのように横から、または上下逆さに読み取ると誤読してしまうものもあります。このようなコードが常にスキャナの正面で読み取られない場合、この機能を使用してください。初期設定=Upright（正面）

正面



上下逆さ



垂直、上から下へ
(CW 90° 回転)



垂直、下から上へ
(CW 90° 回転)





ROTATN0.

* 正面



ROTATN2.

上下逆さ



ROTATN1.

垂直、下から上



ROTATN3.

垂直、上から下

ヘルスケア設定

医療環境での拡張読み取りの設定を行えます。この設定は Xenon 1902HC スキャナとベースのみ対応しています。ストリーミングプレゼンテーションの迅速な設定や、患者さんの邪魔をせずに読取のサイレントモードに設定したりできます。

クワイエットオペレーション - コンビネーションコード

1つのプログラムバーコードを使用して、サイレント・クワイエット設定を Xenon HC スキャナとベースにプログラムを行います。個別に設定を行いたい場合は、[クワイエットオペレーション - LED とボリューム設定](#), beginning on page 5-2 を参照してください。

LED 点滅消音モード

次のバーコードを読み取ってベースとスキャナを完全消音に設定します。スキャナのビープ音、ベースのビープ音、スキャナの起動音、スキャナの接続音がすべて消音になります。バーコードを読み取ると、LED とエイマーが 5 回点滅します。緑色は読み取り成功、赤色は読み取り失敗を表します。



LED 点滅消音モード

長い LED 消音モード

次のバーコードを読み取ってベースとスキャナを完全消音に設定します。スキャナのビープ音、ベースのビープ音、スキャナの起動音、スキャナの接続音がすべて消音になります。バーコードを読み取ると、LED とエイマーが 1 秒間点灯します。緑色は読み取り成功、赤色は読み取り失敗を表します。



長い LED 消音モード

超小音量 (夜間モード)

次のバーコードはベースを消音に、バーコードを読み取った際のスキャナの音を非常に低いビープ音に設定します。バーコードを読み取ると、ベースのビープ音、ベースとスキャナの起動音、そしてスキャナの接続音がすべて消音になります。バーコードが読み取られると、スキャナがとてもやわらかい音が鳴ります。



夜間モード

小音量 (昼間モード)

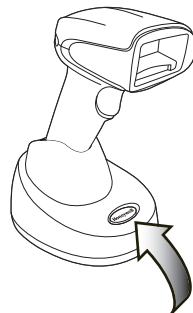
次のバーコードはすべての音を有効にしますが、小音量に設定します。スキャナのビープ音、ベースのビープ音、ベースとスキャナの起動音、スキャナの接続音がすべて小音量になります。



昼間モード

スキャナとベースを初期設定に再設定するには、[Resetting the Custom Defaults](#) (page 12-3) を参照してください。

ページボタンとプレゼンテーションモード



ストリーミングプレゼンテーションモードを設定すると、スキャナのエイマーは短時間後消えますが、スキャナの照明はバーコードを探すために継続して常時点灯されます。(see [Streaming Presentation™ Mode](#) on page 4-11) **Temporary Streaming Presentation Mode** (一時的ストリーミングプレゼンテーションモード) の場合、ベースのページボタンを押すと、タイムアウトが起きるまで、スキャナをストリーミングプレゼンテーションモードに設定します。タイムアウトになる前にバーコードが読み取られると、タイマーが再開します。

スキャナがベースにある場合、ページボタンを1回押されるとスキャナは一時的ストリーミングプレゼンテーションモードになります。スキャナがベースにあり、ベースが外部電源に接続されている場合、ページボタンを2回押すとスキャナはストリーミングプレゼンテーションモードになります。ページボタンを再度2回押すとストリーミングプレゼンテーションモードを終了します。ベースが外部電源に接続されていない場合、ページボタンを2回押すとストリーミングプレゼンテーションモードになりません。

スキャナがベースに置かれていない場合、ページボタンは通常通り動作します。初期設定 = 一時的ストリーミングプレゼン



BEPPGE2.

* 一時的ストリーミングプレゼンテーションモード 有効

テーションモード 有効

一時的ストリーミングプレゼンテーションモードを解除するには、* [Paging Mode On](#) on page 3-7 のバーコードを読み取ってください。

一時的ストリーミングプレゼンテーションタイムアウト

一時的ストリーミングプレゼンテーションモードを使用している場合、照明が点灯している時間の長さとバーコードのデコード試行する時間を設定できます。次のバーコードのうち1つをスキャンすることでタイムアウトの時間を設定します。初期設定 = 10,000 ミリ秒 (10 秒)



TRGTPM10000.

*10 秒でタイムアウト



TRGTPM60000.

60 秒でタイムアウト

クワイエットオペレーション - LED とボリューム設定

スキャナとベースの音をサイレントまたは消音にしている場合、Bluetooth 接続音、読取音、呼び出し音、接続範囲外アラーム音を、LED 表示で調整できます。

LED の色と音のリンク

通常作業時、ベースまたは接続時にスキャナは高い音が鳴り、ベースとスキャナの両方の LED が緑色に点滅します。すべての音を消音にし、両方の機器の接続状態表示を赤色 LED で点滅させたい場合、次の **Red LED Flashes/Silent** (赤色 LED 点滅 / 消音) バーコードを読み取ります。接続中に LED は赤く点滅し、ベースとスキャナが接続されると緑色になります。初期設定の LED 色と音に戻す場合は、**Green LED Flashes/Sound** (緑色 LED 点滅 / 音) を読み取ります。初期設定 = LED 点滅 / 音



BEPPAR1.

*緑色 LED 点滅 / 音



BEPPAR0.

赤色 LED 点滅 / 消音

LED 点滅回数

スキャナのビープ音を消音にした場合、バーコードを読み取った際の LED の点滅回数を設定します。初期設定 = 1 回 LED 点滅

Note: **LED 固定、点滅無** (page 5-4) をいずれか、また無効に設定した場合、LED 点滅設定が上書きされます。この場合、**LED Solid Off** (LED 固定無効) バーコードを読み取りこの機能を無効にし、**使用したい LED Flash** (LED 点滅) バーコードを読み取ります。



BEPLFN0.

*1 回 LED 点滅



BEPLFN5.

5 回 LED 点滅



BEPLFN10.

10 回 LED 点滅



BEPLFN25.

25 回 LED 点滅

LED 点滅間隔

スキャナのビープ音を消音にした場合、バーコードを読み取った際の LED の点灯速度を設定します。初期設定 = 高速点滅



BEPLFR50.

* 高速点滅



BEPLFR250.

中速点滅



BEPLFR500.

低速点滅

LED 固定、点滅無

スキャナのビープ音を消音にした場合、バーコードを読み取った際の LED を点滅ではなく点灯に設定します。初期設定 = *LED 固定 無効



BEPLOT0.

* LED 固定 無効



BEPLOT1.

LED 固定 1 秒



BEPLOT3.

LED 固定 3 秒



BEPLOT5.

LED 固定 5 秒

呼び出し音制御

ベースまたはアクセスポイントのページングボタンを押すと、そのベースまたはアクセスポイントと通信しているスキャナがピーツと鳴り始めます。呼び出しに応じて鳴っているスキャナのトリガーを引くか、ベースまたはアクセスポイントのページボタンをもう一回押すと、接続しているすべてのスキャナが鳴り止みます。次のバーコードで呼び出し音量、スキャナがバーコード読み取った際の音量を設定します。初期設定 = Low (低)



BEPPGV0.

呼び出し音量 無効



BEPPGV1.

* 呼び出し音量 低



BEPPGV2.

呼び出し音量 中



BEPPGV3.

呼び出し音量 高

通信範囲外アラーム

ベースの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、ベースとスキャナの両方からアラーム音が鳴ります。アクセスポイントの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、スキャナからアラーム音が鳴ります。そのスキャナがベースまたはアクセスポイントに近づくか、ベースまたはアクセスポイントが別のスキャナと接続するか、もしくはアラーム音継続の設定時間が経過すると、アラームは止まります。(see [範囲外アラームディレイ](#) on page 5-6) 次のバーコードでベースとスキャナの通信範囲外アラームでのそれぞれの音量を設定します。初期設定 = ベースアラーム音量低、スキャナアラーム音量低



BASORV0.

ベースアラーム音量
無効



BT_ORV0.

スキャナアラーム音量
無効



BASORV1.

* ベースアラーム音量
低



BT_ORV1.

* スキャナアラーム音量
低



BASORV2.

Base Alarm Volume
中



BT_ORV2.

スキャナアラーム音量
中



BASORV3.

Base Alarm Volume
高



BT_ORV3.

スキャナアラーム音量
高

範囲外アラームディレイ

範囲外アラーム設定を使用する場合、Out-of-Range Delay（範囲外アラームディレイ）でアラームのディレイ長を設定します。スキャナがベースまたはアクセスポイントの範囲外にある場合、設定した時間が経過するとアラームが止まります。次のバーコードを読み取って、タイムアウトする時間（秒）を設定し、その後、裏表紙にある [Programming Chart](#) から数値を読み取って、タイムアウト時間（0 ～ 3000 秒の間）を設定し [Save](#) をスキャンしてください。初期設定 = No Delay（ディレイなし）



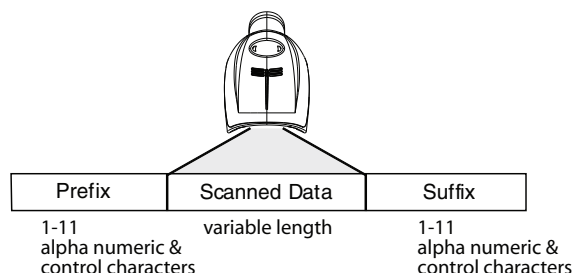
BT_ORY.

範囲外アラームディレイ

プレフィックス／サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータと一緒にホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザ定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザ定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プレフィックスとサフィックスのキャラクタは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクタです。全シンボルに適用するか、特定シンボルにだけ適用するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。



補足

- ・ 常にメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときだけです。初期設定プレフィックス= None (なし) 初期設定サフィックス= None (なし)
- ・ プレフィックスやサフィックスは、1 シンボルまたは全シンボルに追加／削除できます。
- ・ [ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 で、プレフィックスやサフィックスは、どれでもコード ID や AIM ID と一緒に追加できます。
- ・ 1 回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- ・ 出力で表示したい順にプレフィックスとサフィックスを入力してください。
- ・ すべてのシンボルではなく、特定のシンボルを設定するとき、そのコード ID 値は、追加されたプリフィックスまたはサフィックスのキャラクタと見なします。
- ・ プリフィックス / サフィックスは、ヘッダー情報を含めて最大 200 キャラクタ（桁）まで追加可能です。

プレフィックスまたはサフィックスの追加手順

- Step 1.** Add Prefix （プリフィックスの追加）または Add Suffix （サフィックスの追加）のバーコードを読み取ります。
[page 6-2](#)
 - Step 2.** シンボルチャート ([Symbology Charts](#), beginning on page A-1 にあります) からプレフィックスまたはサフィックスを適用したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。例えば、Code 128 の場合、コード ID は「j」、Hex ID は「6A」です。
 - Step 3.** 本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から 2 桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は 9、9 と読み取ります。
 - Step 4.** [ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 から、入力したいプレフィックスまたはサフィックスの Hex 値を確認します。
 - Step 5.** 本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から、確認した 2 桁の Hex 値を読み取ります。
 - Step 6.** プレフィックスまたはサフィックスのキャラクタごとに Step 4 と Step 5 を繰り返します。
 - Step 7.** コード ID を追加するときは、5、C、8、0 を読み取ります。
AIM ID を追加するときは、5、C、8、1 を読み取ります。
バックスラッシュ (¥) を追加するときは、5、C、5、C を読み取ります。
- Note:* Step 7 でバックスラッシュ (¥) を追加するときは、5C を 2 回読み取ってください。1 回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。
- Step 8.** Save を読み取って保存／終了するか、Discard を読み取って保存せずに終了します。
別のシンボルにプレフィックスまたはサフィックスを追加するときは、Step 1 ～ 6 を繰り返します。

例：タブサフィックスをすべてのシンボルに追加する

Step 1. Add Suffix を読み取ります。

Step 2. 本書の裏表紙の内側にある Programming Chart すべてのシンボルに適応するために 9、9 を読み取ります。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にある Programming Chart から 0、9 を読み取ります。これは ASCII Conversion Chart (Code Page 1252), beginning on page A-3 の水平タブの HEX 値と一致します。

Save を読み取って保存・終了するか、Discard を読み取って保存せずに終了します。

1 つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスの削除

シンボルのプレフィックスまたはサフィックスを 1 つまたはすべて削除できます。1 つのシンボルにプリフィクスやサフィックスを追加したことがある場合、Clear One Prefix/Suffix (1 つのプリフィクスまたはサフィックスを削除) で特定のキャラクタをシンボルから消去します。また、Clear All Prefixes/Suffixes (すべてのプリフィクスまたはサフィックスを削除) を選択すると、すべてのプリフィクスまたはサフィックスが削除されます。

Step 1. Clear One Prefix または Clear One Suffix のバーコードを読み取ります。

Step 2. シンボルチャート (Symbology Charts, beginning on page A-1 にあります) から、プレフィックスまたはサフィックスを削除したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にある Programming Chart から 2 桁の Hex 値を読み取ります。全シンボルの場合は 9、9 を読み取ります。

変更内容は自動的に保存されます。

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加する

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。



VSUF CR.

キャリッジリターンサフィックスを
すべてのシンボルに追加

プレフィックスの設定



PREBK2.

プリフィクス追加



PRECL2.

プレフックス 1 つ削除



PRECA2.

すべてのプリフィクス削除

サフィックスの設定



SUFBK2.
サフィックス



SUFCL2.
サフィックス1つ削除



SUFCA2.
すべてのサフィックス削

ファンクションコード送信

この設定を有効にすると、読み取ったデータにファンクションコードが含まれている場合、スキャナがそのファンクションコードをホストシステムに送信します。これらのファンクションコードは、[page 10-3](#)からの「Supported Interface Keys」に記載されています。キーボードウェッジモードのとき、読み取りコードはキーコードに変換されてから送信されます。初期設定 = Enable (有効)



RMVFNC0.
* 有効



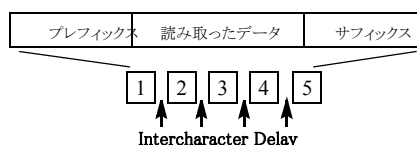
RMVFNC1.
無効

キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ

データ送信が速すぎると、ターミナルによっては情報（キャラクタ）を読み落とすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイはデータ送信を遅くすることで、より確実にデータを送信します。

キャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの各キャラクタを送信する間に最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の Intercharacter Delay キャラクタ間ディレイのバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と Save のバーコードを読み取ります。



DLYCHR.
Intercharacter Delay

このディレーを削除するときは、Intercharacter Delay のバーコードを読み取り、次にディレー数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から、Save のバーコードを読み取ります。

Note: キャラクタ間ディレーは、USB のシリアルエミュレーションではサポートされていません。

ユーザ指定のキャラクタ間ディレー (間隔)

読み取ったデータの特定のキャラクタを送信した後に、最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のキャラクタ間ディレーを設定できます。次の **Delay Length** (ディレー長) のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save** のバーコードを読み取ってから Save のバーコードを読み取ります。

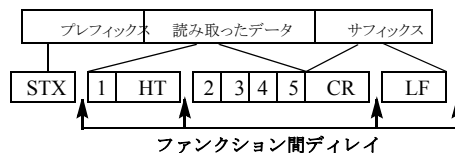
次に、**Character to Trigger Delay** のバーコードを読み取り、[Lower ASCII Reference Table](#), page A-4 で、ディレーをトリガーする ASCII キャラクタの 2 桁の Hex 値を読み取ります。



このディレーを削除するときは、**Delay Length** のバーコードを読み取り、次にディレー数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から、Save のバーコードを読み取ります。

ファンクション間ディレー (間隔)

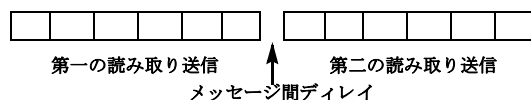
メッセージストリングの各セグメントを送信する間に最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のファンクション間ディレーを設定できます。次の **Interfunction Delay** (ファンクション間ディレー) のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save** のバーコードを読み取ります。



このディレーを削除するときは、Intercharacter Delay のバーコードを読み取り、次にディレー数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から、Save のバーコードを読み取ります。

Intermessage Delay

読み取り送信の間に最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のメッセージ間ディレイを設定できます。次の **Intermessage Delay (メッセージ間ディレイ)** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save** のバーコードを読み取ります。



DLYMSG.

Intermessage Delay (メッセー

このディレーを削除するときは、Intercharacter Delay (メッセージ間ディレイ) のバーコードを読み取り、次にディレー数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から、Save のバーコードを読み取ります。

データフォーマット

データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタを使ってスキヤナの出力を変更できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定個所にキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。

データフォーマットの初期設定 = None (なし)

通常、バーコードを読み取ると自動的にデータが出力されますが、フォーマットを使用する場合は、フォーマットプログラムの中で「送信」コマンド (see [送信コマンド](#) on page 7-3) 「送信コマンド」を参照) でデータを出力する必要があります。

スキヤナには複数のフォーマットのプログラム設定が可能です。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適用される順序を示しています。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ

データフォーマットの構成はヘッダー情報を含め、2000 バイトが最大サイズです。

最初のデータフォーマットに失敗し、次にデータフォーマットがある場合、そちらがバーコードデータに使用されます。他のデータフォーマットがない場合、そのままのデータが出力されます。

データフォーマットの設定の変更を行ったものの、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、下の Default Data Format コードを読み取ってください。



DFMD3.

* データフォーマット初期設定

データフォーマットの追加

Step 1. Enter Data Format のシンボルを読み取ります。 (page 7-2)

Step 2. Primary (基準) もしくは Alternate Format (代用) フォーマットを選択します。

基準のデータフォーマットにするか、または 3 つある代用フォーマットの 1 つにするかを決定します。全部で 4 つの異なるデータフォーマットの方法を保存することができます。基準フォーマットを設定するときは、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) で **0** を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。(詳細については、See “基準/代用 データフォーマット” on page 7-12 をご参照ください。)

Step 3. ターミナルの種類

[ターミナル ID テーブル](#) (page 7-3) を参照し、お使いのコンピュータのターミナル ID ナンバーを確認します。裏表紙の内側にある 3 つの数字バーコードを読み取り、そのターミナル ID でスキヤナをプログラム設定します。(数字を 3 つ入力してください。) 例えば、AT ウェッジの場合は **0**、**0**、**3** を読み取ります。

Note: すべてのターミナルに適用する場合は、**099** と入力してください。

Step 4. コード ID

[Symbology Charts](#), beginning on page A-1 で、データフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認し、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から 2 桁の Hex 値を読み取ります。

ある特定のシンボル以外のすべてのシンボルに設定を適用したい場合は、B8 (page 7-11) を参照してください。

バッチモード数量のデータフォーマットを作成するには、コード ID の 35 を使用します。

Note: 例えば、AT ウェッジの場合は **0**、**0**、**3** を読み取ります。

Step 5. コードの長さ

このシンボルで可能なデータの長さ（最大 9,999 キャラクタ）を指定します。本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から 4 桁のデータ長を読み取ります。例えば、50 キャラクタ（桁）は 0050 と入力します。

Note: コードの長さを問わず設定を適用したい場合は、9999 と入力してください。

Step 6. 編集コマンド

[データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）](#) (page 7-3) を参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。

Step 7. データフォーマットの保存には、Save（保存）を読み取ってください。保存しない場合は Discard（破棄）を読み取ります。



DFMBK3.

データフォーマットの入



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

他の設定

Clear One Data Format

1 つのシンボルに対してデータフォーマットを 1 つ削除します。基準フォーマットを削除する場合は、本書の裏表紙の内側にある [Programming Chart](#) から 0 を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって 1、2、または 3 を読み取ります。その後、削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コード ID (see [Symbolology Charts](#) on page A-1)、およびバーコードデータ桁数を読み取ります。他のフォーマットは全く影響を受けません。

Clear all Data Formats

すべてのデータフォーマットを削除します。

Save : データフォーマットを保存します。

Discard : データフォーマットの設定を中止し、破棄します。



DFMCL3.

データフォーマットを 1 つ削除する



DFMCA3.

データフォーマットをすべて削



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

ターミナル ID テーブル

	モデル	ターミナル ID
USB	PC キーボード	124
	Mac キーボード	125
	PC 日本語キーボード	134
	シリアル (COM ドライバ必要)	130
	HID POS	131
	USB SurePOS ハンドヘルドスキャナ	128
	USB SurePOS テーブルトップスキャナ	129
シリアル	RS232 TTL	000
	RS232 True	000
	RS485 (IBM-HHBCR 1+2, 46xx)	051
キーボード	PS2 互換機	003
	AT 互換機	002

データフォーマットエディタコマンド (編集コマンド)

データフォーマットエディタを行う場合、カーソルが入力データにそって移動します。次のコマンドを使用して、カーソルを違う位置に移動し、最終出力にデータの選択、変換、そして挿入を行います。

送信コマンド

すべてのキャラクタを送信する

- F1 入力メッセージ (読み取ったデータ) のすべてのキャラクタが出力メッセージに含まれます。現在のカーソル位置から始まり、最後にキャラクタを挿入します。Syntax = F1xx (xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

いくつかのキャラクタを送信する

- F2 入力メッセージ (読み取ったデータ) から指定した桁数のデータだけを送信します。現在のカーソル位置から「nn」個のキャラクタまで、もしくは入力メッセージの最後のキャラクタまで、最後にキャラクタを挿入して送信します。Syntax = F2nnxx (nn はキャラクタの数を示す数字 (00 ~ 99) で、xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

F2 の例 : いくつかのキャラクタを送信する



上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入して送信します。コマンド : F2100D

F2 は「Send a number of characters (いくつかのキャラクタを送信する)」コマンドです。

10 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は : 1234567890

F2 と F1 の例 : キャラクタを 2 行に分割

上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入し、残りのキャラクタを送信します。

コマンド : F2100DF10D

F2 は「Send a number of characters (いくつかのキャラクタを送信する)」コマンドです。

10 は最初の行に送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

1234567890

ABCDEFGHIJ

<CR>

特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する

- F3 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索キャラクタ「ss」の手前までのデータを送信します。続いて、指定したキャラクタを挿入します。カーソルは「ss」キャラクタへと移動します。Syntax = F3ssxx (nn は検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示し、xx は、挿入したいキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています)。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

F3 の例：特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「D」までのすべての文字とキャリッジリターンを送信します。

コマンド：F3440D

F3 は「Send all characters up to a particular character (特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する)」です。

44 は「D」の Hex 値です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

1234567890ABC

<CR>

特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する

- B9 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索文字列「s...s」の手前までのデータを送信します。カーソルは「s...s」キャラクタへと移動します。Syntax = B9nnnns...s (nnnn は検索する文字列の ASCII コードに対する Hex 値を示し、s...s は、指定した文字列の ASCII コードに対する Hex 値を示しています。文字列は文字列にある文字の Hex 値です。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

B9 の例：特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。

コマンド：B900024142

B9 は「Send all characters up to a string (特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する)」です。

0002 は文字列の長さです。(2 文字)

41 は「A」の Hex 値です。

42 は「B」の Hex 値です。

データ出力は：1234567890

最後のキャラクタ以外を送信する

- E9 現在のカーソル位置から、最後の「nn」キャラクタを除く、すべての出力メッセージを送信します。カーソルは最後の入力メッセージキャラクタが含まれる位置を過ぎたところへ移動します。Syntax = E9nn (nn は、メッセージの最後で送られないキャラクタの数の数値 (00 ~ 99) を示しています)。

キャラクタを複数回挿入する

- F4 現在のカーソル位置はそのまま、「xx」キャラクタを「nn」回出力メッセージで送信します。Syntax = F4xxnn (xx は、挿入したいキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示し、nn は、送信する回数の数値 (00 ~ 99) を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

E9 と F4 の例：最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する



上記のバーコードから最後の 8 桁を除いたすべてのキャラクタにタブを 2 つ追加して送信します。

コマンド：E908F40902

E9 は「Send all but the last characters (最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する)」

08 は無視するキャラクタ数です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

09 は「水平タブ」の Hex 値です。

02 は挿入するタブの数です。

データ出力は：1234567890AB<tab><tab>

文字列の挿入

- BA 現在のカーソル位置はそのまま、「nn」の長さの「ss」キャラクタを送信します。Syntax = BAnnnns...s (nnnn は文字列の長さ、s...s は文字列を示しています。) 文字列は文字列にある文字の Hex 値です。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

B9 と BA の例：「AB」を検索し、アスタリスク (**) を 2 つ挿入する。



上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。2 つのアスタリスクを挿入し、それ以降の文字にキャリッジリターンを付加して送信します。

コマンド：B900024142BA00022A2AF10D

B9 は「Send all characters up to a string (特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する)」です。

0002 は文字列の長さです。(2 文字)

41 は「A」の Hex 値です。

42 は「B」の Hex 値です。

BA は「文字列の挿入 (Insert a string)」です。

0002 は追加する文字列の長さです。(2 文字)

2A はアスタリスク (*) の Hex 値です。

2A はアスタリスク (*) の Hex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

1234567890**ABCDEFGHIJ
<CR>

シンボル名を挿入する

- B3 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードシンボル名を挿入します。含まれるのは、ハネウェル ID のあるシンボルのみです。(see [Symbology Charts](#) on page A-1)Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

バーコード長を挿入する

- B4 カーソルを動かさことなく、出力メッセージにバーコードの長さを挿入します。バーコードの長さは数字のストリングによって示され、リード部の0は含まれません。

B3 と B4 の例：シンボル名とシンボル長を挿入する



上記のバーコードにバーコードデータの前にシンボル名と長さを挿入し送信します。その挿入をスペースで分けま
す。キャリッジリターンで終わります。

コマンド：B3F42001B4F42001F10D

B3 は「シンボル名を挿入する (Insert symbology name)」です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するタスペースの数です。

B4 は「Insert bar code length (バーコード長を挿入する)」です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するタスペースの数です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

Code128 20 1234567890ABCDEFGHIJ
<CR>

キーストロークを挿入する

- B5 キーストローク、またはキーストロークの組み合わせを挿入します。キーストロークは、お使いのキーボードにより異なります。(see [Unicode Key Maps](#) on page A-10) 矢印やファンクションを含め、どんなキーも挿入できます。
Syntax = B5xxssnn ss は下表のキーモディファイアであり、nn は [Unicode Key Maps](#), page A-10 ユニコードキーマップのキー番号です。

キーモディファイア	
キーモディファイア無し	00
Shift Left (左シフト)	01
Shift Right (右シフト)	02
Alt Left (左 Alt)	04
Alt Right (右 Alt)	08
Control Left (左 Ctrl)	10
Control Right (右 Ctrl)	20

例えば、B501021F というコマンドを作成すると米国キーボード 104 キー に A を追加します。B5 = キーストロークを挿入するコマンド、01 = キーモディファイア無しに押されたキーの数、02 = Shift Right のキーモディファイア、1F = 小文字の「a」もし小文字の「a」が挿入されたら、B50121F の設定は成功です。

キーストロークが 3 つある場合、B5xxssnn をもう一つ追加し、Syntax は B5xxssnnssnnssnn に変わります。「abc」を入力する場合は、以下のとおりです：B503001F00320030F833。

Note: 必要であれば、キーモディファイアは組み合わせて一緒に付加することが可能です。例えば：Cotrol Left (右 Ctrl) + Shift Left (右シフト) = 11 となります。

移動コマンド

前方キャラクタへ移動する

- F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、先へと移動させます。
Syntax = F5nn (nn は、カーソルを前に移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

F5 の例：カーソルを前に移動し、データを送信します。



上記のバーコードのカーソルを 3 文字前に移動し、それ以降のバーコードデータを送信します。キャリッジリターンで終わります。

コマンド：F503F10D

F5 は「Move the cursor forward a number of characters (前方キャラクタへ移動する)」です。

03 はカーソルを移動するキャラクタ数です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

4567890ABCDEFGHIJ

<CR>

後方キャラクタへ移動する

- F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、後ろへ移動させます。
Syntax = F6nn (nn は、カーソルを後ろに移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

カーソルを先頭に移動する

- F7 カーソルを入力メッセージの先頭キャラクタに移動させます。Syntax = F7

FF と F7 の例：1 で始まるバーコードを処理します。



1 で始まるバーコードを検索します。バーコードが一致した場合、カーソルはデータの先頭に移動し、6 文字にキャリッジリターンを付加し送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：FE31F7F2060D

FE は「Compare characters (キャラクタの比較)」です。

31 は 1 の Hex 値です。

F7 は「Move the cursor to the beginning (カーソルを先頭に移動する)」です。

F2 は「Send a number of characters (いくつかのキャラクタを送信する)」コマンドです。

06 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

123456

<CR>

カーソルを末尾に移動する

- EA カーソルを入力メッセージの最終キャラクタに移動します。Syntax = EA

検索コマンド

前方のキャラクタを検索する

- F8 現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F8xx (xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

F8 の例：特定のキャラクタの後に始まるバーコードデータを送信する



バーコードにある「D」を検索し、「D」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します。

コマンド：F844F10D

F8 は「Search forward for a character (前方のキャラクタを検索する)」コマンドです。

44 は「D」の Hex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

DEFGHIJ

<CR>

後方のキャラクタを検索する

- F9 現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F9xx (xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

前方の文字列を検索する

- B0 現在のカーソル位置より前方にある「s」ストリングを検索し、カーソルは「s」ストリングに移動します。Syntax = B0nnnnS. nnnn はストリングの長さ (9999 まで) で、s は対応するストリングの各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B0000454657374 では初めて 4 桁のキャラクタのストリングが登場する「Test」を前方検索します。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

B0 の例：特定のストリングの後に始まるバーコードデータを送信する



バーコードにある「FGH」を検索し、「FGH」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：B00003464748F10D

B0 は「前方のストリングを検索する (Search forward for a string)」コマンドです。

0003 はストリング長 (3 文字) です。

46 は「F」の Hex 値です。

47 は「G」の Hex 値です。

48 は「H」の Hex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

FGHIJ

<CR>

後ろ方の文字列を検索する

- B1 現在のカーソル位置より後方にある「s」ストリングを検索し、カーソルは「s」ストリングに移動します。Syntax = B1nnnnS。nnnn はストリングの長さ (9999 まで) で、s は対応するストリングの各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B1000454657374 では初めて 4 キャラクタのストリングが登場する「Test」を後方検索します。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

合致しないキャラクタの前方を検索する

- E6 現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax = E6xx。xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

E6 の例：バーコードデータのはじめにある 0 を削除する



0 があるバーコードの例です。0 を無視し、それ以降のすべてのデータを送信する場合、E6 は 0 ではない最初の文字を検索し、その後のデータすべてとキャリッジリターンを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：E630F10D

E6 は「Search forward for a non-matching character (合致しないキャラクタの前方を検索する)」コマンドです。

30 は 0 の Hex 値です。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

37692

<CR>

合致しないキャラクタの後方を検索する

- E7 現在のカーソル位置より後方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax = E7xx。xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

その他のコマンド

キャラクタを無効にする

- FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大 15 の別のキャラクタをすべて無効にします。FC コマンドを実行することで、この機能を停止することができます。FB コマンドではカーソルが移動しませんので、ご注意ください
Syntax = FBnnxyzz は、リストにある無効キャラクタの数、xyyy..zz は、無効にするキャラクタのリストです。

FB の例：バーコードデータのスペースを削除します。



スペースがあるバーコードの例です。データ送信の前にスペースを削除します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：FB0120F10D

FB は「Suppress characters (キャラクタを無効にする)」です。

01 は無効にするキャラクタタイプです。

20 はスペースの Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

34567890

<CR>

キャラクタの無効を停止する

FC キャラクタの無効を停止し、無効になったキャラクタをすべて削除します。 *Syntax = FC*

キャラクタを置き換える

E4 出力メッセージにある最大 15 桁のキャラクタをカーソルを移動せずに変更します。変更は、E5 コマンドを実行するまで続きます。 *Syntax = E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2*。nn は (変更前のキャラクタと変更後) のキャラクタの合計です。xx1 は、変更前のキャラクタを、xx2 は変更後のキャラクタを定義します。zz1 と zz2 まで同様です。

E4 の例：バーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。



ホストアプリケーションで含めたくないキャラクタを持つバーコードがある場合、E4 コマンドを使用してそれらのキャラクタを別のものに置き換えられます。この例では、上記のバーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。

コマンド：E402300DF10D

E4 「キャラクタを置き換える (Replace characters)」

02 は置き換えるキャラクタの合計数と置き換えるキャラクタ (0 をキャリッジリターンに置き換えるので、合計キャラクタ数は 2) です。

30 は 0 の Hex 値です。

0D はキャリッジリターンの Hex 値です。(0 に置き換わるキャラクタ)

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

1234

5678

ABC

<CR>

キャラクタの置き換えを停止する

E5 キャラクタの変更を停止します。 *Syntax = E5*.

キャラクタを比較する

FE 現在のカーソル位置にあるキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを 1 つ進めます。 *Syntax = FExx* (xx は、比較するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

ストリングを比較する

B2 入力メッセージにあるストリングをストリング「s」と比較します。ストリングが同じ場合は、カーソルをそのストリングの末尾まで移動させます。 *Syntax = B2nnnnS*。nnnn はストリングの長さ (9999 まで) で、s は対応するストリングの各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B2000454657374 は現在のカーソル位置のストリングと 4 つのキャラクタストリング「Test」を比べます。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII Conversion Chart \(Code Page 1252\)](#), beginning on page A-3 (コードページ 1252) を参照してください。

数字をチェックする

EC 現在のカーソル位置に ASCII 数字があることを確認します。ASCII 数字でない場合は、フォーマットを中止します。

EC の例：バーコードが数字で始まる場合のみデータを出力します。

数字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド : ECF10D

EC は「数字をチェックする (Check for a number)」コマンドです。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されます。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ **AB1234** が出力されます。

このバーコードが読まれると、 データ出力は :

1234AB

<CR>

数字以外のキャラクタをチェックする

- ED 現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタがあることを確認します。キャラクタが数字の場合は、フォーマットを中止します。

ED の例 : バーコードが文字で始まる場合のみデータを出力します。

文字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド : EDF10D

ED は「数字以外のキャラクタをチェックする (Check for a non-numeric character)」コマンドです。

F1 は「Send all characters すべてのキャラクタを送信する」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されます。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ **123 4 AB** が出力されます。

このバーコードが読まれると、 データ出力は :

AB1234

<CR>

ディレイを挿入する

- EF 現在のカーソル位置から 49,995 ミリ秒までの (5 ミリ秒単位) ディレイを挿入します。Syntax = Efnnnn。nnnn は 5 ミリ秒単位でのディレイを示し、9999 までです。このコマンドはキーボードウェッジインターフェースの場合にのみ、使用可能です。

ディレイを破棄する

- B8 データを破棄します。例えば、キャラクタ「A」で始まる Code 128 を破棄するとします。page 7-1 の Step 4 で、6A (Code 128) を選択し、Step 5 で 9999 (すべての長さ) を選択します。B8FE41 コマンドを入力し、「A」で始まる Code 128 バーコードのデータを破棄します。Syntax = B8。

Note: B8 コマンドはすべての他のコマンドの後に入力してください。

B8 コマンドを使用するには、データフォーマットは要求する (see page 7-11) になっている必要があります。データフォーマットが有効で、**要求しない**設定になっている場合、(page 7-11)B8 フォーマットに適合するバーコードでも通常通り読み取られて、そして出力されます。

データフォーマットは有効かつ要求するにすることがあるため、(page 7-11)、出力したいすべてのバーコードだけでなく破棄したいすべてのバーコードに対してデータフォーマットを入力する必要があります。他のデータフォーマット設定が、この B8 コマンドに影響します。Data Format Non-Match Error Tone (page 7-12 のデータフォーマット非適合エラーブザー) が有効な場合、スキャナはエラーブザーを鳴らします。逆に Data Format Non-Match Error Tone が無効になっている場合、コードの読み取りを行わないと同時に、エラーブザーもなりません。

データフォーマッター

データフォーマッターを無効にすると、プリフィクスとサフィックスを含め、バーコードデータは読み取ったままホストに出力されます。



読み取ったデータをユーザーが作成・保存したデータフォーマットに合致させたい場合、以下の設定をデータフォーマットに適用することができます。

Data Formatter On, Not Required, Keep Prefix/Suffix

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。

Data Formatter On, Not Required, Drop Prefix/Suffix

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィクス、サフィックスは送信されません。データフォーマットが特定のシンバルにない場合、プリフィクス、サフィックスは送信されます。

Data Format Required, Keep Prefix/Suffix

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合、すべてに対してエラーブザーが鳴らされ、そのバーコードのデータは送信されません。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、[データフォーマット非適合エラーブザー](#)を参照してください。

Data Format Required, Drop Prefix/Suffix

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィクス、サフィックスは送信されません。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合は、すべてエラーブザーが鳴らされます。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、[データフォーマット非適合エラーブザー](#)を参照してください。

操作は以下から 1 つ選んでください。初期設定 = Data Formatter On, Not, Required, Keep Prefix/Suffix



データフォーマット非適合エラーブザー

ユーザーが要望するデータフォーマットに合わないバーコードが読み込まれた場合、通常、スキャナがエラーブザーを鳴らします。しかし、エラーブザーを聞くことなくバーコード読み込みを続けたい場合もあります。Data Format Non-Match Error Tone Off (データフォーマット非適合エラーブザー 無効) バーコードを読み込むと、データフォーマット

と一致しなかったデータは送信されず、エラーブザーもありません。非適合のバーコードがあったときにエラートーンを聞きたい場合は、Data Format Non-Match Error Tone On（データフォーマット非適合エラーブザー 有効）バーコードを読み取ってください。初期設定 = Data Format Non-Match Error Tone On



DFMDEC0.

* データフォーマット非適合エラーブザー 有効



DFMDEC1.

データフォーマット非適合エラーブザー 無効

基準／代用 データフォーマット

データフォーマットは4種類保存することができ、それらのフォーマットを切り換えることができます。基準データフォーマットの場合は、0で保存してください。それ以外のフォーマットは1、2、3のどれかで保存してください。フォーマットを使えるようにするには、以下のバーコードのいずれか1つを読み取ってください。



ALTFNM0.

基準データフォーマット



ALTFNM1.

データフォーマット 1



ALTFNM2.

データフォーマット 2



ALTFNM3.

データフォーマット 3

データフォーマットの切り替え

一回の読み取りだけでデータフォーマットの切り替えができます。以下のバーコードを代用データフォーマットで読み取り、前記で選択したフォーマット（基準、もしくは1、2、3）へと戻します。

例えば、Data Format 3として保存したデータフォーマットをデバイスに設定したい場合、以下の **Single Scan-Data Format 1** バーコードをトリガーを引き、スキャンしてData Format1に切り替えられます。Data Format 1でスキャンしたその次のバーコードはData Format 3に切り替えられます。



VSAF_0.

基準データフォーマットへ切り替え



VSAF_2.

データフォーマット 2 へ切り替え



VSAF_1.

データフォーマット 1 へ切り替え



VSAF_3.

データフォーマット 3 へ切り替え

シンボル

この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については、[Chapter 12](#) を参照してください。

- ・ すべてのシンボル
- ・ Aztec コード
- ・ 中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)
- ・ 中国漢信 (Han Xin) コード
- ・ Codabar
- ・ Codablock A
- ・ Codablock F
- ・ Code 11
- ・ Code 128
- ・ Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- ・ Code 39
- ・ Code 93
- ・ Data Matrix
- ・ EAN/JAN-13
- ・ EAN/JAN-8
- ・ GS1 コンポジットシンボル
- ・ GS1 データバー拡張型 (エクスパンデッド)
- ・ GS1 データバー限定型 (リミテッド)
- ・ GS1 データバー 標準型 (オムニディレクショナル)
- ・ GS1 エミュレーション
- ・ GS1-128
- ・ Interleaved 2 of 5 (ITF)
- ・ 韓国郵便
- ・ ラベルコード
- ・ Matrix 2 of 5
- ・ Maxi コード
- ・ MicroPDF417
- ・ MSI
- ・ NEC 2 of 5
- ・ 2次元郵便コード
- ・ 1次元郵便コード
- ・ PDF417
- ・ GS1 データバー 標準型 (オムニディレクショナル)
- ・ QR コード
- ・ Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ)
- ・ Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート / ストップ)
- ・ TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- ・ Telepen
- ・ Trioptic コード
- ・ UPC-A
- ・ 拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13
- ・ UPC-E0
- ・ UPC-E1

すべてのシンボル

お使いのスキヤナで可能なシンボルをすべてデコードしたい場合は、**All Symbolologies On** (すべてのシンボル 有効) のバーコードを読み取ります。一方、特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、**All Symbolologies Off** (すべてのシンボル 無効) を読み取り、その後 特定のシンボルに対して On バーコードを読み取ります。



ALLENA1.
すべてのシンボル 有効



ALLENA0.
すべてのシンボル 無効

Note: **All Symbolologies On** を読み取っても、2次元郵便コードの読み取りは有効になりません。2次元郵便コードについては、別に設定してください。

読み取り桁数について

バーコードシンボルによっては、読み取り桁数を設定できます。読み取ったバーコードのデータ桁数が指定した読み取り桁数と一致しない場合、エラーブザーが鳴ります。スキヤナに強制的に一定桁数のバーコードデータを読み取らせるため、最小と最大を同じ値に設定することも可能です。これは、読み取りエラーの削減に役立ちます。

例： 桁数が 9 ～ 20 のバーコードだけをデコードする。例：文字数が 9 ～ 20 のバーコードだけをデコードする。
最小：09、最大：20

例： 桁数が 15 のバーコードだけをデコードする。
最小：15、最大：15

初期設定の最小および最大読み取り桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコード読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**の読み取り桁数の数値と **Save**（保存）のバーコードを読み取ります。最小と最大、および初期設定は、それぞれのシンボル別設定に記載されていますので、そちらを参照してください。

Codabar

【Codabar すべての設定を初期化】



Codabar 有効 / 無効



Codabar スタート / ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定 = Don't Transmit（送信しない）



Codabar チェックキャラクタ

Codabar チェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス 16 チェックキャラクタを用いた Codabar のバーコードだけを読み取るよう、スキャナを設定できます。初期設定値 = No Check Character（チェックキャラクタなし）

No Check Character（チェックキャラクタなし）は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate and Transmit（認証および送信）に設定すると、スキャナはチェックキャラクタが印刷された Codabar のみ読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate, but Don't Transmit (認証、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタと共に印刷された Codabar バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは、読み取ったデータと一緒に送信されません。



CBRCK20.

* チェックキャラクタなし



CBRCK21.

モジュラス 16 有効、
送信しない



CBRCK22.

モジュラス 16 有効、
送信する

Codabar の連結

Codabar には、連結サポート機能があります。連結機能を有効にすると、「D」のスタートキャラクタがあるバーコードと、「D」のストップキャラクタがあるバーコードに隣接する Codabar を検索します。この場合、2 つのデータは 1 つに連結され、「D」キャラクタは省略されます。



A 1 2 3 4 D D 5 6 7 8 A

連結されていない単独の「D」Codabar をデコードしないようにするには、Required (要求する) を選択します。この選択をしても、「D」のスタート / ストップ キャラクタがない Codabar には影響ありません。



CBRCCT1.

有効



CBRCCT0.

* 無効



CBRCCT2.

要求する

Codabar の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 60 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 60



CBRMIN.

最小読み取り桁数



CBRMAX.
最大読み取り桁数

Code 39

【 Code 39 すべての設定を初期化 】



C39DFT.

Code 39 有効 / 無効



C39ENA1.

* 有効



C39ENA0.

無効

Code 39 スタート / ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定値 = Don't Transmit (送信しない)



C39SSX1.

送信する



C39SSX0.

* 送信しない

Code 39 チェックキャラクタ

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタと読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。初期設定値 = No Check Character (チェックキャラクタなし)



C39CK20.

* チェックキャラクタなし



C39CK22.

有効、送信する



C39CK21.

有効、送信しない

Code 39 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 0 ~ 48 最短の初期設定値 = 0 最長の初期設定値 = 48



C39MIN.

最小読み取り桁数



C39MAX.

最大読み取り桁数

Code 39 の連結

この機能により、複数の Code 39 バーコードのデータを付加してからホストシステムに送信できます。この機能を有効にすると、スキャナはスペースで始まる Code 39 バーコード（スタートおよびストップシンボルを除く）を保存し、すぐにはデータを送信しません。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外のキャラクタで始まる Code 39 バーコードを読み取ると、保存したデータを読み取った順で送信します（FIFO）。初期設定値 = Off（無効）



C39APP1.

有効



C39APP0.

* 無効

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical は、イタリアの薬局で使用されている Code 39 の一種です。PARAF とも呼ばれます。

Note: Code 32 Pharmaceutical のバーコードを読み取るときは、Trioptic Code (page 8-32) を必ず無効にしてください。



C39B321.

有効



C39B320.

* 無効

Full ASCII

Full ASCII Code 39 デコーディングを有効にすると、バーコードシンボル内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例えば、「\$V」は ASCII キャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」としてデコードされます。初期設定 = Off (無効)

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y	) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	: /Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT \$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[%K	k +K	{ %P
FF \$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- /M	= %H	M M	] %M	m +M	} %R
SO \$N	RS %D	? /N	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
SI \$O	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。

「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



C39ASC1.

Full ASCII 有効



C39ASC0.

* Full ASCII 無効

Code 39 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し (see [ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#) on page A-7) の本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) から値と **Save** (保存) のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。



C39DCP.

Code 39 コードページ

Interleaved 2 of 5 (ITF)

【Interleaved 2 of 5 すべての設定を初期化】



Interleaved 2 of 5 (ITF) の有効 / 無効



Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。初期設定値 = No Check Digit (チェックデジットなし)



Interleaved 2 of 5 (ITF) の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80





I25MAX.
最大読み取り桁数

NEC 2 of 5

【NEC 2 of 5 すべての設定を初期化】



N25DFT.

NEC 2 of 5 有効 / 無効



N25ENA1.

* 有効



N25ENA0.

無効

Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。初期設定値 = No Check Digit (チェックデジットなし)



N25CK20.

* チェックデジット 無効



N25CK21.

有効、送信しない



N25CK22.

有効、送信する

NEC 2 of 5 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



N25MIN.
最小読み取り桁数



N25MAX.
最大読み取り桁数

Code 93

【 Code 93 すべての設定を初期化 】



C93DFT.

Code 93 有効 / 無効



C93ENA1.
* 有効



C93ENA0.
無効

Code 93 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 0 ~ 80 最短の初期設定値 = 0 最長の初期設定値 = 80



C93MIN.
最小読み取り桁数



C93MAX.
最大読み取り桁数

Code 93 連結機能

この機能を使用すると、複数の Code 93 バーコードをホストデバイスに送信する前に一緒連結させることができます。スペースで始まる Code 93（スタート / ストップシンボルを除く）を読み取った順に保存し、各バーコードからスペースを削除します。スペース以外で始まる Code 93 バーコードを読み取ると、スキャナは結合したデータをホストデバイスに送信します。初期設定 = Off



C93APP1.

有効



C93APP0.

* 無効

Code 93 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(see [ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#) on page A-7) を参照）、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と Save のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。



C93DCP.

Code 93 コードページ

Straight 2 of 5 Industrial (3 バーススタート / ストップ)

【 *Straight of 5 Industrial* すべての設定を初期化 】



R25DFT.

Straight 2 of 5 Industrial 有効 / 無効



R25ENA1.

有効



R25ENA0.

* 無効

Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 1 ~ 48 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 48



R25MIN.

最小読み取り桁数



R25MAX.

最大読み取り桁数

Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ)

【 IATA すべての設定を初期化 】



A25DFT.

Straight 2 of 5 IATA 有効 / 無効



A25ENA1.

有効



A25ENA0.

* 無効

Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 1 ~ 48 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 48



A25MIN.

最小読み取り桁数



A25MAX.

最大読み取り桁数

Matrix 2 of 5

【 Matrix 2 of 5 すべての設定を初期化 】



X25DFT.

Matrix 2 of 5 有効 / 無効



X25ENA1.

有効



X25ENA0.

* 無効

Matrix 2 of 5 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



X25MIN.

最小読み取り桁数



X25MAX.

最大読み取り桁数

Code 11

【 Code 11 すべての設定を初期化 】



Code 11 有効 / 無効



チェックデジットの要求

Code 11 バーコードに必要なチェックデジットを 1 つまたは 2 つに設定します。初期設定値 = Two Check Digits (チェックデジット 2 つ)



Code 11 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



Code 128

【 Code 128 すべての設定を初期化 】



128DFT.

Code 128 有効 / 無効



128ENA1.

* 有効



128ENA0.

無効

ISBT 128 連結機能

1994 年、国際輸血学会 (ISBT) は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための基準を定めました。ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128 のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1) 血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2) セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いことから Code 128 の使用を現在は推奨すること、3) 隣接シンボルの連結をサポートする Code 128 の変形、4) 血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。次のバーコードを用いて連結をオン／オフします。初期設定値 = Off (無効)



ISBENA1.

有効



ISBENA0.

* 無効

Code 128 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 0 ~ 80 最短の初期設定値 = 0 最長の初期設定値 = 80



128MIN.

最小読み取り桁数



128MAX.

最大読み取り桁数

Code 128 連結機能

この機能では、複数の Code 128 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スキャナが連結を示すキャラクタを含んだ Code 128 バーコードを読み取ると、連結を示すキャラクタを含まないバーコードを読み取るまで Code 128 バーコードのデータを一時的に保存します。バーコードデータは読み取った順に出力されます (FIFO)。初期設定 = On (有効)



128APP1.

* 有効



128APP0.

無効

Code 128 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し ((see [ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#) on page A-7) を参照)、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と Save のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。



128DCP.

Code 128 コードページ

GS1-128

【GS1-128 すべての設定を初期化】



GS1-128 有効 / 無効



GS1-128 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80 最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 80



Telepen

【Telepen すべての設定を初期化】



TELDFT.

Telepen 有効 / 無効



TELENA1.

有効



TELENA0.

* 無効

Telepen 出力

AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力) を使用すると、スキヤナはスタート / ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、標準の Full ASCII (スタート / ストップパターン 1) としてデコードします。Original Telepen Output (オリジナル Telepen 出力) を選択すると、スタート / ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、オプションの Full ASCII (スタート / ストップパターン 2) を含む圧縮された数値としてデコードします。初期設定 = AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力)



TELOLD0.

* AIM Telepen 出力



TELOLD1.

オリジナル Telepen 出力

Telepen 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 60 最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 60



TELMIN.

最小読み取り桁数



TELMAX.

最大読み取り桁数

UPC-A

【UPC-A すべての設定を初期化】



UPC-A 有効 / 無効



Note: UPC-A バーコードを EAN-13 に変換するには、[UPC-A から EAN-13 への変換](#) on page 8-25 を参照してください。

UPC-A チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On



UPC-A システム番号

通常は読み取ったデータの最初に UPC シンボルのシステム番号を送信しますが、送信しないように設定できます。初期設定 = On (無効)



UPC-A アドオン

読み取ったすべての UPC-A データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。

初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加 禁止)



UPAAD21.

アドオン 2 桁許可



UPAAD20.

* アドオン 2 桁禁止



UPAAD51.

アドオン 5 桁許可



UPAAD50.

* アドオン 5 桁禁止

UPC-A アドオンの要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-A バーコードだけを読み取ります。

page 8-20 に記載された 2 桁または 5 桁のアドオンを有効にする必要があります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPAARQ1.

要求する



UPAARQ0.

* 要求しない

UPC-A アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = Off (無効)



UPAADS1.

* 有効



UPAADS0.

無効

拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付き UPC-A および EAN-13 を有効または無効にします。もし初期設定 (Off) のままにしておくと、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを 1 つのバーコードと見なします。

Allow Concatenation (連結許可) コードを読み取ると、スキャナがクーポンコードと拡張クーポンコードを 1 つの読み取りで認識した場合、どちらも別々のシンボルとして送信します。それ以外の場合は、読み取った最初のクーポンコードを送信します。

Require Concatenation (連結必須) コードを読み取ると、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを 1 つとして読み取り、データを送信します。両方のコードが読めない限り、データは出力されません。初期設定 = Off (無効)



CPNENA0.

* 無効



CPNENA1.

連結許可



CPNENA2.

連結必須

クーポン GS1 データバー 出力

もし UPC と GS1 データバー 両方のバーコードを含んだクーポンを読み取った場合、GS1 データバーのデータのみ読み取り、そして出力したい場合もあるかもしれません。GS1 Output On (GS1 データバーのみ出力 有効) を読み取ると、GS1 データバーバーコードだけを読み取り、そのデータだけを出力します。初期設定 = GS1 Output Off (GS1 データバーのみ出力 無効)



CPNGS10.

* GS1 データバーのみ出力



CPNGS11.

GS1 データバーのみ出力 有効

UPC-E0

【UPC-E0 すべての設定を初期化】



UPC-E0 有効 / 無効

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のナンバーシステムコードで始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 の設定を使用します。「1」のナンバーシステムコードで始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、[UPC-E1](#) (page 8-24) を使用します。初期設定 = On (有効)



UPC-E0 の拡張

UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A フォーマットに拡張します。初期設定 = Off (無効)



UPC-E0 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-E バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPC-E0 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンデータとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = On (有効)



UPEADS1.

* 有効



UPEADS0.

無効

UPC-E0 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On (有効)



UPECKX1.

* 有効



UPECKXD.

無効

UPC-E0 システム番号

UPC-A シンボルのシステム番号は通常読み取ったデータの最初に送信されますが、UPC-E の拡張を使用している場合、送信しないように設定されます。送信を防ぐには OFF (無効) をスキャンします。初期設定 = On (有効)



UPENSX1.

* 有効



UPENSXD.

無効

UPC-E0 アドオン

読み取ったすべての UPC-E データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off



UPEAD21.

アドオン 2 桁許可



UPEAD51.

アドオン 5 桁許可



UPEAD20.

* アドオン 2 桁禁止



UPEAD50.

* アドオン 5 桁禁止

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、[UPC-E0](#) (page 8-22) を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 On (UPC-E1 有効) を選択してください。初期設定 = Off (無効)



UPEEN11.

UPC-E1 有効



UPEEN10.

* UPC-E1 無効

EAN/JAN-13

【EAN/JAN-13 すべての設定を初期化】



EAN/JAN-13 有効 / 無効



UPC-A から EAN-13 への変換

UPC-A Converted to EAN-13 (UPC-A から EAN-13 への変換) が選択されると、UPC-A バーコードは EAN-13 コードの前に 0 を付加し、13 桁にに変換されます。Do not Convert UPC-A (UPC-A の変換禁止) が選択されると、UPC-A コードは UPC-A として読まれます。



EAN/JAN-13 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On



EAN/JAN-13 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-13 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加 無効)



E13AD21.
アドオン 2 桁許可



E13AD20.
* アドオン 2 桁禁止



E13AD51.
アドオン 5 桁許可



E13AD50.
* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-13 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-13 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



E13ARQ1.
要求する



E13ARQ0.
* 要求しない

EAN/JAN-13 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = Off (無効)



E13ADS1.
* 有効



E13ADS0.
無効

Note: 拡張クーポンコード付き EAN13 を有効または無効にしたい場合は、拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13 (page 8-21) を参照してください。

ISBN 変換

ISBN は EAN-13 バーコードを用いて本にプリントされているものです。EAN-13 Bookland シンボルを同等の ISBN 番号フォーマットに変換するには、下の On バーコードを読み取ってください。初期設定 = Off (無効)



E13ISB1.

有効



E13ISB0.

* 無効

EAN/JAN-8

【EAN/JAN-8 すべての設定を初期化】



EA8DFT.

EAN/JAN-8 有効 / 無効



EA8ENA1.

* 有効



EA8ENA0.

無効

EAN/JAN-8 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On (有効)



EA8CKX1.

* 有効



EA8CKX0.

無効

EAN/JAN-8 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-8 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加 許可)



EA8AD21.

アドオン 2 桁許可



EA8AD20.

* アドオン 2 桁禁止



EA8AD51.

アドオン 5 桁許可



EA8AD50.

* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-8 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-8 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



EA8ARQ1.

要求する



EA8ARQ0.

* 要求しない

EAN/JAN-8 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = On (有効)



EA8ADS1.

* 有効



EA8ADS0.

無効

MSI

【MSI すべての設定を初期化】



MSI 有効 / 無効



MSI チェックキャラクタ

MSI バーコードにはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されています。タイプ 10 のチェックキャラクタのある MSI バーコードを読み取るようにスキャナを設定できます。初期設定 = *Validate Type 10, but Don't Transmit* (タイプ 10 有効、送信しない)

Validate Type 10/11 and Transmit (タイプ 10/11 有効、送信する) に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate Type 10/11, but Don't Transmit (タイプ 10/11 有効、送信しない) に設定した場合は、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。





MSCHK6.

MSI チェックキャラクタ無効



MSCHK5.

タイプ 11 有効、
タイプ 10、送信あり

MSI 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 4 ~ 48 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 48



MSIMIN.

最小読み取り桁数



MSIMAX.

最大読み取り桁数

GS1 データバー 標準型 (オムニディレクショナル)

【GS1 データバー標準型 すべての設定を初期化】



GS1 データバー標準型 有効 / 無効



GS1 データバー限定型 (リミテッド)

【GS1 データバー限定型 すべての設定を初期化】



GS1 データバー限定型 有効 / 無効



GS1 データバー拡張型 (エキスパンデッド)

【 GS1 データバー拡張型 すべての設定を初期化 】



GS1 データバー拡張型 有効 / 無効



GS1 データバー拡張型 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 4 ~ 74 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 74



Trioptic コード

Note: Code 32 Pharmaceutical のバーコード ([page 8-5](#)) を読み取るときは、Trioptic コードを無効に設定してください。

Trioptic コードとは磁気記憶媒体のラベリングに用いられるものです。



Codablock A

【Codablock A すべての設定を初期化】



Codablock A 有効 / 無効



Codablock A 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 600、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 600



Codablock F

【Codablock F すべての設定を初期化】



Codablock F 有効 / 無効



Codablock F 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 2048、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 2048



ラベルコード

図書館で使われている標準ラベルコードです。初期設定 = Off (無効)



PDF417

【PDF417 すべての設定を初期化】



PDF417 有効 / 無効



PDF417 Message Length

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 2750、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 2750



MacroPDF417

MacroPDF417 は、複数の PDF417 コードに含まれている非常に大量のデータをエンコードできるよう改良された PDF417 コードです。この機能を有効にすると、複数のコードを集めて一つのデータストリングに仕立てます。初期設定 = On (有効)



MicroPDF417

【MicroPDF417 すべての設定を初期化】



MicroPDF417 有効 / 無効



MicroPDF417 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 366、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 366



GS1 コンポジットシンボル

リニアコードと固有の 2D 合成成分とが複合され、GS1 コンポジット シンボルと呼ばれる新たなクラスを形成します。GS1 コンポジット シンボルにより、すでに使用されているシンボルとの共存が可能になります。初期設定 = Off (無効)



UPC/EAN バージョン

UPC または EAN 1 次元バーコードを含む GS1 コンポジット シンボルをデコードするときは、**UPC/EAN Version On** (UPC/EAN バージョン 有効) を読み取ります。(GS1-128、もしくは GS1 バーコードを含む GS1 コンポジットシンボルには影響しません。) 初期設定 = **UPC/EAN Version Off** (UPC/EAN バージョン 無効)



COMUPC1.

UPC/EAN Version 有効



COMUPC0.

* UPC/EAN Version 無効

Note: クーポンが UPC コードと GS1 データバーコード両方を含んでいて、GS1 データバーのバーコードデータのみを出力したい場合があるかもしれません。そういった場合は、[クーポン GS1 データバー 出力](#) (page 8-21) を参照してください。

GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 2435、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 2435



COMMIN.

最小読み取り桁数



COMMAX.

最大読み取り桁数

GS1 エミュレーション

スキャナは任意の GS1 データキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等の GS1-128 もしくは GS1 データバーシンボルでデコードされる内容をエミュレートすることができます。GS1 データキャリアには UPC-A、UPC-E、EAN-13 ならびに EAN-8、ITF-14、GS1-128 ならびに GS1-128 データバーと GS1 コンポジットがあります。(GS1 データに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを 1 つ認識するだけですむからです。)

GS1-128 Emulation (GS1-128 エミュレーション) を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID,]C1 となります。(see [シンボルチャート](#) on page A-1)

GS1 Databar Emulation (GS1 データバーエミュレーション) を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1- データバー AIM ID,]em となります。(see [シンボルチャート](#) on page A-1)

IGS1 Code Expansion Off (GS1 コード エミュレーション 無効) を読み取ると、小売コード拡張が無効となり、UPC-E 拡張は UPC-E0 拡張 **UPC-E0 の拡張** (page 8-22) 設定によって制御されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID,]C1 となります。(see [シンボルチャート](#) on page A-1)

EAN8 to EAN13 Conversion を読み取ると、すべての EAN8 バーコードは EAN13 フォーマットに転換されます。

初期設定 = *GS1 Emulation Off* (GS1 エミュレーション 有効)



EANEMU1.

GS1-128 エミュレーション



EANEMU2.

GS1 データバーエミュレーション



EANEMU3.

GS1 コード拡張 無効



EANEMU4.

EAN8 から EAN13 へ転換



EANEMU0.

* GS1 エミュレーション 無

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このバーコードは、Code 39 のバーコード部分と MicroPDF417 のスタックコード部分による複合コードになっています。どのバーコードスキャナにも Code39 バーコードを読み取る能力がありますが、MicroPDF417 の部分をデコードできるのは TLC39 On (TLC39 有効) に設定したときだけです。MicroPDF417 の成分をデコードできるのは、**TLC39 On** (TLC39 有効) に設定したときだけです。リニア成分は、TLC39 がオフでも Code39 としてデコードできます。初期設定 = *Off* (無効)



T39ENA1.

有効



T39ENA0.

* 無効

QR コード

【QR コード すべての設定を初期化】



QR コード 有効 / 無効

この選択は、QR Code と Micro QR Code の両方に適用されます。



QR コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 7089、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 7089



QR コード 連結機能

この機能では、複数の QR コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ QR コードを読み取ると、QR コードに含まれた情報に従って、決められた数量の QR コードを一時的に保存します。適切な数量の QR コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。初期設定 = On (有効)



QR コード コードページ

QR コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し (see [ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#) on page A-7) を参照)、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と Save (保存) のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。



QRCDP.

QR コード コードページ

Data Matrix

【Data Matrix すべての設定を初期化】



IDMDFT.

Data Matrix 有効 / 無効



IDMENA1.

* 有効



IDMENA0.

無効

Data Matrix 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 3116、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 3116



IDMMIN.

最小読み取り桁数



IDMMAX.

最大読み取り桁数

Data Matrix 連結機能

この機能では、複数の Data Matrix コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Data Matrix コードを読み取ると、Data Matrix コードに含まれた情報に従って、決められた数量の Data Matrix コードを一時的に保存します。適切な数量の Data Matrix コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。初期設定 = On (有効)



IDMAPP1.

* 有効



IDMAPP0.

無効

Data Matrix コードページ

Data Matrix コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し ((see [ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#) on page A-7) を参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と **Save** (保存) のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



IDMDCP.

Data Matrix コードページ

Maxi コード

【Maxi コード すべての設定を初期化】



Maxi コード 有効 / 無効



Maxi コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 150、最短の初期設定 = 1、最長の初期設定 = 150



Aztec コード

【Aztec コード すべての設定を初期化】



Aztec コード 有効 / 無効



Aztec コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 3832、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 3832



Aztec 連結機能

この機能では、複数の Aztec コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Aztec コードを読み取ると、Aztec コードに含まれた情報に従って、決められた数量の Aztec コードを一時的に保存します。適切な数量の Aztec コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。初期設定 = ON(有効)



Aztec コードページ

Aztec コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（(see ISO 2022/ISO 646 [キャラクタ変換](#) on page A-7) を参照）、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と **Save**（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



AZTDCP.
Aztec コードページ

中国漢信 (Han Xin) コード

【漢信コード すべての設定を初期化】



HX_DFT.

漢信コード 有効 / 無効



HX_ENA1.
有効



HX_ENA0.
* 無効

漢信コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最長と最短 = 1 ~ 7833、最短の初期設定値 = 1 最長の初期設定値 = 7833



HX_MIN.
最小読み取り桁数



HX_MAX.
最大読み取り桁数

2次元郵便コード

以下は、読み込み可能な2次元郵便コードと認識可能な2次元郵便コードの組み合わせです。1つの2次元郵便コードしか有効にできません。2つ目の郵便コード設定を有効にすると場合、初めの設定は上書きされます。*初期設定 = 2D Postal Codes Off (2次元郵便コード 無効)*



POSTAL0.

* 2次元郵便コード 無効

2次元郵便コード (単独)



POSTAL1.

オーストラリア郵便 有効



POSTAL7.

英国郵便 有効



POSTAL30.

カナダ郵便 有効



POSTAL10.

インテリジェントメール 有効



POSTAL3.

日本郵便 有効



POSTAL4.

KIX 有効



POSTAL5.

Planet コード 有効

*Planet コード チェック
デジット , page 8-48*



POSTAL9.

Postal-4i 有効



POSTAL6.

Postnet 有効

Postnet チェックデジット, page 8-48



POSTAL11.

Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL2.

Info Mail 有効

2次元郵便コード (組み合わせ)



POSTAL8.

Infomail および英国郵便 有効



POSTAL20.

Intelligent Mail バーコード、Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL14.

Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL16.

Postnet および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL17.

Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL19.

Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL12.

Planet コード
Postnet コード 有効



POSTAL13.

Planet コード
Postal-4i 有効



POSTAL21.

Planet コード
Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL23.

Planet コード
Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL25.

Planet コード、
Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL27.

Postal-4i、
Intelligent Mail コード、Postnet B およ
び B' フィールド 有効



POSTAL18.

Planet コード
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL15.

Planet コード
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL22.

Planet コード
Postnet および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL24.

Postnet、
Postal-4i および
Intelligent Mail バーコード 有効



POSTAL26.

Planet コード
Intelligent Mail コード、Postnet B および
B' フィールド 有効



POSTAL28.

Planet コード
Postal-4i および
Intelligent Mail コード、Postnet 有効



POSTAL29.

Planet コード、
Postal-4i および
Intelligent Mail コード、Postnet B およ
び B' フィールド 有効

Planet コード チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



PLNCKX1.

チェックデジットを送信



PLNCKXD.

* チェックデジットを送信しない

Postnet チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



NETCKX1.

チェックデジットを送信す



NETCKXD.

* チェックデジットを送信しない

オーストラリア郵便 判読

この機能では、オーストラリア郵便で使用されている 4-State バーコードに含まれている顧客フィールドにどのような判読が適用されるかを制御します。

Bar Output (バー出力) はバーコードのパターンを「0123」フォーマットで一覧にします。

Numeric N Table (数字 N テーブル) は N Table を使用して、フィールドを数字データとして判読します。

Alphanumeric C Table (英数字 C テーブル) は、C Table を使用して、フィールドを英数字データとして判読します。

Australian Post の仕様表を参照してください。

Combination C and N Table (C および N コンビネーションテーブル) は C Table または N Table を使用して、フィールドを判読します。



AUSINT0.

* パー出力



AUSINT1.

数字 N テーブル



AUSINT2.

英数字 C テーブル



AUSINT3.

C および N テーブルコンビネーション

1 次元郵便コード

1 次元の郵便コードを以下に挙げます。いかなる 1 次元郵便コードの組み合わせでも同時に有効にすることが可能です。

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)

【中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) すべての設定を初期化】



CPCDFT.

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 有効 / 無効



CPCENA1.

有効



CPCENAD.

* 無効

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。最小と最大 = 1 ~ 80、最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 80



CPCMIN.

最小読み取り桁数



CPCMAX.

最大読み取り桁数

韓国郵便

【韓国郵便コード すべての設定を初期化】



KPCDFT.

韓国郵便



KPCENA1.

有効



KPCENAD.

* 無効

韓国郵便 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (page 8-1) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80 最短の初期設定値 = 4 最長の初期設定値 = 48



KPCMIN.

最小読み取り桁数



KPCMAX.

最大読み取り桁数

韓国郵便 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



KPCCHK1.

チェックデジットを送信



KPCCHK0.

* チェックデジットを送信しない

イメージングコマンド

スキャナは、デジタルカメラのように画像の取り込み、処理、および転送を行うことができます。以下のコマンドでスキャナの機能実行方法を変更することができます。

Note: スキャナをスタンドに置いている場合は、スタンド使用時センサーモードを無効にして画像を取り込んでください。
(see *In-Stand Sensor Mode* on page 4-10)

シングル使用ベース

モディファイア付きのイメージングコマンドは、スキャナにシングル使用ベースで命令を送信し、1つの画像取り込みに対し動作します。この取り込みが完了すると、スキャナはイメージングの初期設定に戻ります。設定を恒久的に変えたければ、(see [Chapter 12](#))を使用します。Serial default commands を用いると、設定は新しいものになり、スキャナの恒久的設定となります。

コマンドシNTAX

複数のモディファイアやコマンドは1つのシーケンス内で行われます。追加モディファイアが同じコマンドに適応している場合は、そのモディファイアをコマンドに追加するだけです。例えば、Image Snap command に setting the Imaging Style to 1P や Wait for Trigger to 1T のような2つのモディファイアを追加するには、IMGSNP1P1T と入力します。

Note: イメージ取り込みコマンド (IMGSNP or IMGBOX) を行ったあと、その画像をターミナルで見るには IMGSHP command を続けます。

1つのシーケンスにコマンドを追加するには、新しいコマンドはそれぞれにセミコロンで分離してください。例えば、上記のシーケンスに Image Ship command を追加する場合は、IMGSNP1P1T;IMGSHP と入力します。

イメージングコマンドは以下のとおりです。

イメージスナップ : IMGSNP (page 9-1)

画像送信 - IMGSHP (page 9-3)

署名の取り込み - IMGBOX (page 9-9)

それぞれのコマンドのモディファイアは、コマンド説明のあとです。

Note: それぞれのコマンド説明を含むイメージは単なる例であり、ご使用の結果得られる効果はこのマニュアル内のものと異なることがあります。ご使用の結果得られる出力クオリティはライトや取り込む画像や対象の質、画像や対象からの距離によって異なります。質の高い画像を得るためには、取り込む画像や対象からスキャナを 10.2 ~ 15.2cm 離してお使いになることをお勧めします。

Step1 - IMGSNAP を用いて写真を撮影する

イメージスナップ : IMGSNP

トリガーボタンを引く度、あるいはイメージスナップ (IMGSNP) コマンドを実行する度に画像が取り込まれます。

Image Snap コマンドには、メモリの画像の見かけを変更できる多種多様なモディファイアがあります。IMGSNP コマンドには、任意の数のモディファイアを追加できます。例えば、次のコマンドを使用して、画像を撮影したりゲインを増やしたりでき、また画像を撮影した後、ブザー音を鳴らすことができます。IMGSNP2G1B

IMGSNP モディファイア

P - Imaging Style (撮影スタイル)

イメージスナップのスタイルを設定します。

0P **Decoding Style.** 撮影パラメータが合うまで数フレームを撮影できます。最後のフレームを後で利用できます。

1P **Photo Style (初期設定)** 簡単なデジタルカメラを真似ています。視覚的に最適化された画像が得られます。

2P **Manual Style.** 高度なスタイルで上級者向けです。スキャナを最も自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

B - Beeper (ブザー)

画像の撮影後、ブザー音を鳴らします。

- 0B ブザーが鳴りません。(初期設定)
1B 画像が取り込まれるとブザー音が鳴ります。

T - Wait for Trigger (トリガーの待機)

画像撮影の前に、ボタンが押されるのを待ちます。これは Photo Style (1P) 使用時のみ有効です。

- 0T すぐに画像を撮影します (初期設定)。
1T ボタンが押されるのを待った後、画像を撮影します。

L - LED State (LED の状態)

LED をオン／オフするかどうか、いつオン／オフするかを決定します。ID カードなど、カラー文書の写真を撮影する場合、特にスキャナをスタンドに置くときは、周囲照明 (0L) をお勧めします。スキャナを手に持つ場合は、LED 照明 (1L) をお勧めします。LED State は、Decoding Style (0P) 使用時には利用できません。

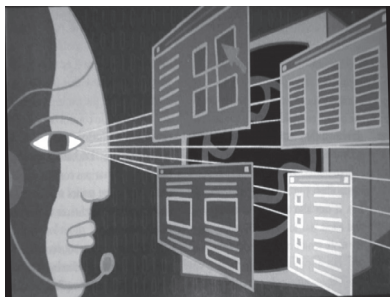
- 0LLED オフ (初期設定)
1LLED オン

E - Exposure (露光)

Exposure は、マニュアル時 (2P) のみお使いいただくことができ、露光時間を設定します。これはカメラのシャッタースピードに似ています。露光時間はスキャナが画像を取り込む時間の長さを決定します。明るい日には、撮影のための光線が十分ですので露光時間も非常に短くてすみませんが、夜、光がほとんどない状態では露光時間をかなり長くする必要があります。単位は 127 マイクロ秒です。初期設定値 = 7874

nE 範囲：1 - 7874

蛍光灯下での 7874E の場合の露光例



蛍光灯下での 100E の場合の露光例



G - Gain (ゲイン)

Gain は Manual Style (2P) 時のみお使いいただくことができます。ボリュームコントロールのような役割を果たし、ゲインモディファイアが信号を増幅させ、ピクセル値を修正します。ゲインを増やすと、画像の乱れも増幅されます。

- 1G ゲインなし (初期設定)
2G ゲイン 中
4G ゲイン 高
8G ゲイン 最大

1G ゲインの場合



4G ゲインの場合



8G ゲインの場合



W – Target White Value (ホワイト値)

取り込む画像のグレースケールの中心値をターゲットに設定します。コントラストの高い文書の接写画像を取り込むためには、75 などの低めの値を推奨します。設定を高くすると撮影時間が長くなって画像が明るくなりますが、高すぎると画像が露出オーバーになります。Target White Value は Photo Style (1P) 使用時だけ使用できます。初期設定値 = 125

nE 範囲：0 – 255

75W ホワイト値
の場合



125W ホワイト値の
場合



200W ホワイト値の
場合



D – Delta for Acceptance (ホワイト値許容範囲)

ホワイト値設定用の許容範囲を設定します。(「W – Target White Value」を参照。)(see W – Target White Value (ホワイト値)) Photo Style (1P) 使用時のみ利用できます。初期設定値 = 25

nD 範囲：0 – 255

U – Update Tries (アップデートトライ)

D – Delta for Acceptance (ホワイト値許容範囲) に達するためにスキャナが取得するフレームの最大数のことです。Photo Style (1P) 使用時のみ利用できます。初期設定値 = 6

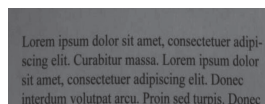
nU 範囲：0 – 10

% – Target Set Point Percentage (ターゲットポイント比率)

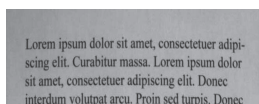
取り込んだ画像の明暗値のターゲットポイントを設定します。設定 75% は、ピクセルの 75% がターゲットのホワイト値以下で、ピクセルの 25% がターゲットのホワイト値を超えることを意味します。通常的环境下でこの設定を初期設定から変更することは、推奨していません。グレースケール値を変更するには、W – Target White Value (ホワイト値) を使用します。初期設定値 = 50

n% 範囲：1 – 99

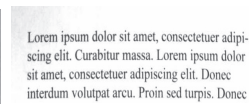
ターゲットポイン
ト 97% の場合



ターゲットポイン
ト 50% の場合



ターゲットポイン
ト 40% の場合



Step 2 – IMGSHF を使った画像送信

画像送信 – IMGSHF

画像は、トリガーを引くたびに、あるいは 画像送信 (IMGSHF) コマンドを実行することで取り込まれます。最後の画像がつねにメモリに保存されます。IMGSHF コマンドでその画像を「送信」できます。

画像送信コマンドには、スキャナが出力する画像の設定を変更するのに使用できる多種多様のモディファイアがあります。モディファイアは、送信画像には効力がありますが、メモリの画像には効力がありません。IMGSHF コマンドには、任意の数のモディファイアを追加できます。例えば、以下のコマンドを使用すると、ガンマ補正と文書画像フィルタリングを行ってビットマップ画像を送ることができます。IMGSHF;IMGSHF8F75K26U

IMGSHP モディファイア

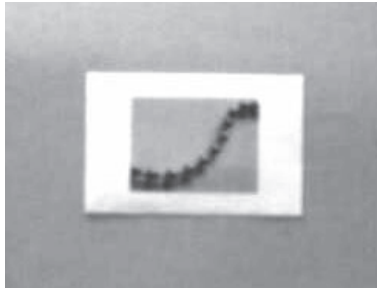
A - Infinity Filter (無限遠フィルタ)

非常に長距離 (10 フィートまたは 3m 以上) から撮影した写真の質を向上します。ただし、Infinity Filter を [IMGSNP モディファイア](#) (page 9-1) とともに用いることはできません。

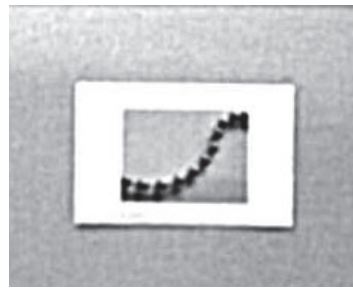
0A 無限遠フィルタ 無効 (初期設定)

1A 無限遠フィルタ 有効

3.66m の距離付近での無限遠
フィルタ無効 (0A)
撮影した場合



3.66m の距離付近での無限遠フイ
ルタ有効 (1A)
撮影した場合



C - Compensation (圧縮)

画像全体の照度の変化を考慮するために画像をフラットにします。

0C 圧縮 無効 (初期設定)

1C 圧縮 有効

圧縮が無効 (0C) の場合



圧縮が有効 (1C) の場合



D - Pixel Depth (ピクセル濃度)

送信画像のピクセルあたりのビット数を示します。(KIM または BMP フォーマットのみ)

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像 (初期設定)

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

E - Edge Sharpen (エッジシャープニング)

エッジシャープニングフィルタで画像の縁をクリーンにし、画像を更に美しくシャープにします。エッジシャープニングは画像を鮮明にしますが、元々の画像のきれいに撮影された詳細部も取り除いてしまいます。エッジシャープニングフィルタの強度は1～24から設定できます。23Eを入力するとエッジが最もシャープになりますが、画像内のノイズも増えます。

0E 画像をシャープにしません（初期設定）。

14E 標準画像用にエッジをシャープにします。

ne n の値でエッジをシャープにします (n = 1～24)。

0E でのエッジシャープニング



24E でのエッジシャープニング



F - File Format (ファイルフォーマット)

希望する画像のフォーマットを示します。

0F KIM フォーマット

1F TIFF バイナリ

2F バイナリグループ 4、圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ（左上から右下、1ピクセル/ビット、行の最後を0で埋める）

5F 非圧縮グレースケール（左上から右下、ビットマップフォーマット）

6F JPEG 画像（初期設定）

8F BMP フォーマット（右下から左上、非圧縮）

10F TIFF カラー圧縮画像

11F TIFF カラー無圧縮画像

12F JPEG カラー画像

14F BMP カラーフォーマット

15F BMP 無圧縮 未加工画像

H - Histogram Stretch (ヒストグラムストレッチ)

送信画像のコントラストを高くします。画像フォーマットによっては利用できません。

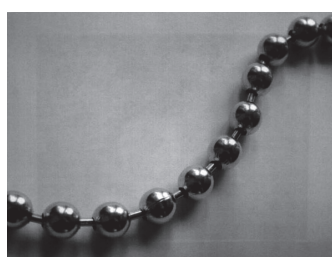
0H ストレッチなし（初期設定）

1H ヒストグラムストレッチ

ヒストグラム ストレッチ (0H) の



ヒストグラム ストレッチ (1H) の



I - Invert Image (画像反転)

画像を X 軸または Y 軸周りで回転させるのに使用します。

lix X 軸で画像を回転 (画像の上下が反転)

liy Y 軸で画像を回転 (画像の左右が反転)

回転なし

回転 (lix) の場合

回転 (liy) の場合



IF- Noise Reduction (ノイズ低減)

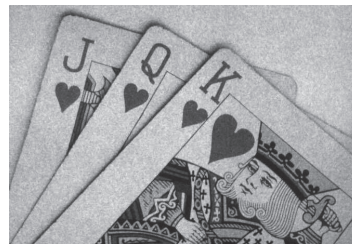
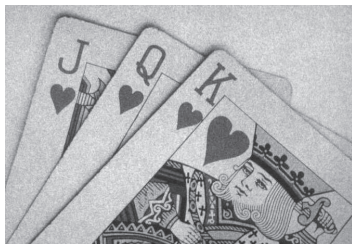
白黒ノイズを低減します。

0if 白黒ノイズの低減なし (初期設定)

1if 白黒ノイズの低減

白黒ノイズの低減なし (0if) の場合

白黒ノイズの低減あり (1if) の場合



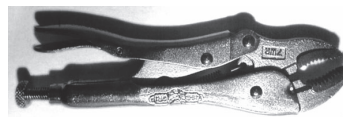
IR - Image Rotate (画像回転)

- 0ir 撮影したとおり (正しい向き) の画像 (初期設定)
- 1ir 画像を右に 90 度回転
- 2ir 画像を 180 度回転 (上下逆)
- 3ir 画像を左に 90 度回転

画像の回転なし (0ir)



画像の回転あり (2ir)



画像の回転あり (1ir)



画像の回転あり (3ir)



J - JPEG Image Quality (JPEG 画像の質)

JPEG 画像フォーマットを選択したときに希望の画質を設定します。数字を大きくすると画質が高くなりますが、ファイルは大きくなります。小さくすると、圧縮量が大きくなって転送速度が速くなり、画質は落ちますが、ファイルは小さくなります。(初期設定: 50)

- nJ 画質係数 n ($n: 1 \sim 100$) の値で可能な限り画像を圧縮します。
- 0J 最低画質 (最小ファイル)
- 100J 最高画質 (最大ファイル)

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

- 0K ガンマ補正 無効 (初期設定)
- 50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用
- nK ガンマ補正の係数 n ($n = 0 \sim 1,000$) を適用

ガンマ補正 (0K) の場



ガンマ補正 (50K) の場合



ガンマ補正 (255K) の場合



L, R, T, B, M - Image Cropping (画像切り取り)

上下左右のピクセル座標を指定して画像のウィンドウを送ります。機器の列には 0 ~ 1279 の番号が、行には 0 ~ 959 の番号が付けられています。

- nL* 送信画像の左端は、メモリ内の画像の *n* 列に対応します。範囲：000 - 843. (初期設定：0)
nR 送信画像の右端は、メモリ内の画像の *n-1* 列に対応します。範囲：000 - 843. (初期設定 = 全列)
nT 送信画像の上端は、メモリ内の画像の *n* 行に対応します。範囲：000 - 639. (初期設定：0)
nB 送信画像の下端は、メモリ内の画像の *n-1* 行に対応します。範囲：000 - 639. (初期設定 = 全行)

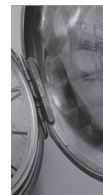
切り取りなし



切り取り設定 (300R)



切り取り設定
(300L)



切り取り設定 (200B)



切り取り設定 (200T)



代わりに、画像の外側マージンから切り取るピクセルの数を指定します。中央のピクセルだけが送信されます。

- mM* マージン：画像の左から *n* 列、右から *n+1* 列、上から *n* 行、下から *n+1* 行を切り取ります。残った中央のピクセルを送ります。範囲：0 - 238.
 (初期設定：0、または全画像)

切り取り設定 (238M)



P - Protocol (プロトコル)

画像の送信に使用します。画像の送信に使用します。プロトコルは画像をホストに送る際、2種の機能に対応しており、データの送信に使用するプロトコル (Hmodem：追加のヘッダー情報を持つ Xmodem 1K の変形) と、送信される画像のフォーマットに対応します。

- 0P 無し (生データ)
- 2P 無し (USB の初期設定)
- 3P 圧縮 Hmodem (RS-232 の初期設定)
- 4P Hmodem

S - Pixel Ship (ピクセル送信)

ピクセル送信はオリジナルサイズに対する比率に拡大縮小します。スペースで規則的に区切られた一定のピクセルだけを送ることで画像を間引くのに使用できます。例えば、**4S** では4行おきに4ピクセルごとに送信します。送るピクセルを減らすと、画像が小さくなりますが、画像がある数値まで達すると、使用できなくなります。

- 1S すべてのピクセル送信 (初期設定)
- 2S 縦横両方で、2ピクセルごとに送る (初期設定)

3S 縦横両方で、3 ピクセルごとに送る

ピクセルの送信が 3S の場合



ピクセル送信が
1S の場合



ピクセルの送信
が 2S の場合



U – Document Image Filter (テキスト画像フィルタ)

送信されたテキスト画像の縁をシャープにし、それ以外の部分を滑らかにします。このフィルタは、ガンマ補正 (page 9-6 を参照) と共に使用します。このとき、スキャナはスタンドに置いた状態で、次のコマンドを使用して画像を取り込みます。

IMGSNP1POL168W90%32D

このフィルタは通常、標準の E – Edge Sharpen コマンド (page 9-8 を参照) よりも良好な JPEG 圧縮を提供します。このフィルタは、白黒のみの画像 (ピクセルあたり 1 ビット) を送信するときにも良好に機能します。最適設定は 26U です。

0U 文書画像フィルタオフ (初期設定)

26U 文書画像フィルタを標準的な文書画像に適用する

nU グレースケールのしきい値 n を使用して、画像コントラストが低いときに数値を下げます。1UE – エッジシャープニング (8-7 ページ) 22e と同等の効果がありません。E – Edge Sharpen (エッジシャープニング) (page 9-4) 範囲: 0-255

Image Filter が 0U の場合



Image filter が 26U の場合



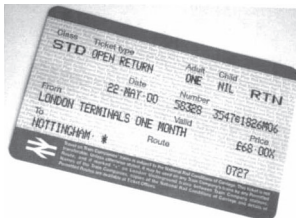
V – Blur Image (画像ぼかし)

境界線のハードエッジに隣接するピクセルと画像内の陰影領域を平均化して、変わり目を滑らかにします。

0V ぼかさない (初期設定)

1V ぼかす

画像のぼかし 無効 (0V)



画像のぼかし 有効 (1V)



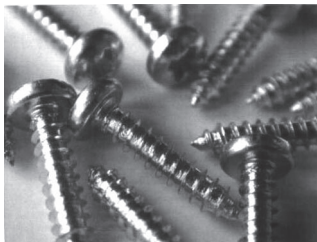
W – Histogram Ship (ヒストグラム送信)

ヒストグラムによって、画像の色調範囲すなわちキーのタイプをすばやく識別することができます。ローキー画像はシャドウに、ハイキー画像はハイライトに、標準的な (アベレージキー) 画像は中間調にディテールが集中します。このモディファイアは画像用のヒストグラムを送信します。

0W ヒストグラムを送信しない (初期設定)

1W ヒストグラムを送信する

ヒストグラムを使用しない



ヒストグラムが左にある場合



画像サイズの互換性

画像送信が正確に 640x480 ピクセルを返すようにアプリケーションを設定している場合、Force VGA Resolution (NGA 解像度の強制) バーコードを読み取ります。初期設定 = Native Resolution (元の解像度)



IMGVGA1.

VGA 解像度の強制



IMGVGA0.

* 元々の解像度

署名の取り込み - IMGBOX

IMGBOX を用いれば、バーコードに近接している署名取り込みエリアのサイズや位置を修正することができます。これにより、署名取り込みエリアを特定のフォームに仕立てることができます。IMGBOX を使うためには、署名ボックスがバーコードに近い既知位置にあるようフォームを設定する必要があります。署名エリアからバーコードまでの水平および垂直距離を指定できるだけでなく、全体的なサイズを入力できます。また、取り込んだ署名画像の最終出力の解像度とファイル形式も設定できます。

Note: IMGBOX コマンドは、以下のいずれかのバーコードによって使用することができます。PDF417、Code 39、Code 128、Aztec、Codabar、Interleaved 2 of 5 (ITF) これらのシンボルが読み取られると、IMGBOX コマンドを受け付けるために画像が維持されます。

署名取り込みの最適化

署名取り込みを頻繁に使う場合は、最適化をしてください。ただし、このモードを有効にするとバーコード読み取り速度は遅くなります。ご注意ください初期設定 = Off



DECBND1.

最適化 有効



DECBND0.

* 最適化 無効

署名取り込みアプリケーションの例を以下に示します。この例では、エイマーを署名取り込みエリアの中心に置き、トリガーを引きます。一度ブザーが鳴り、スキャナが Code 128 バーコードを読み取り、データがホストシステムへと転送されたことを知らせます。Granit スキャナの場合、振動します。ホストからそのコードの下の署名取り込みエリアの座標を特定するために IMGBOX コマンドが送られ、その署名を含むエリアのみ画像としてホストに送るよう示します。

この例を試す方法：エイマーを（バーコードではなく）署名エリアにそろえ、トリガーを引きます。



トリガーを引いた後に、以下の IMGBOX コマンドストリングを送信します。

Example: `IMGBOX245w37h55y`

Note: コマンドストリングにおいて大文字／小文字は重要ではありません。ここでは説明の為に用いています。

すると、以下のような画像が得られます。



IMGBOX コマンドには、スキャナから出力される署名画像のサイズや表示を変えることができる多種多様なモディファイアが用意されています。モディファイアは、送信画像には効力がありますが、メモリの画像には効力がありません。IMGBOX コマンドには、任意の数のモディファイアを追加できます。

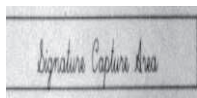
Note: IMGBOX コマンドはウィンドウサイズ（高さ・幅）が指定されない限り、NAK 返信を行います。[H - Height of Signature Capture Area](#)（署名取り込みエリアの高さ）（page 9-11）と [W - Width of Signature Capture Area](#)（署名取り込みエリアの幅）（page 9-12）を参照してください。

IMGBOX モディファイア

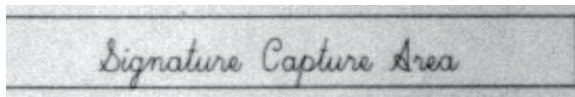
A - Output Image Width（出力画像の幅）

この設定は、画像の幅を変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度 (R) は 0 に設定されます。

幅を 200A に設定した場合



幅を 600A に設定した場合



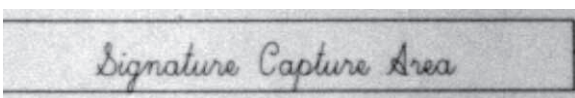
B - Output Image Height（出力画像の高さ）

この設定は、画像の高さを変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度 (R) は 0 に設定されます。

高さを 50B に設定した場合



高さを 100B に設定した場合



D - Pixel Depth (ピクセル濃度)

送信画像のピクセルあたりのビット数を示し、グレースケールか白黒かを設定します。

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

F - File Format (ファイルフォーマット)

画像を保存するファイル形式を示します。

0F KIM フォーマット

1F TIFF バイナリ

2F バイナリグループ 4、圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ

5F 非圧縮グレースケール

6F JPEG 画像 (初期設定)

7F 輪郭画像

8F BMP フォーマット

H - Height of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの高さ)

取り込む領域の高さは 0.01 インチ (約 0.026cm) ごとに測られます。例では、取り込みエリアの高さは 3/8 インチ (約 0.953cm) で、H の値 = $.375 / 0.01 = 37.5$ となります。

例: *IMGBOX245w37h35y*

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

0K ガンマ補正 無効 (初期設定)

50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用

nK ガンマ補正の係数 n ($n = 1 \sim 255$) を適用

ガンマ補正 (0K) の場



ガンマ補正
50K の場合



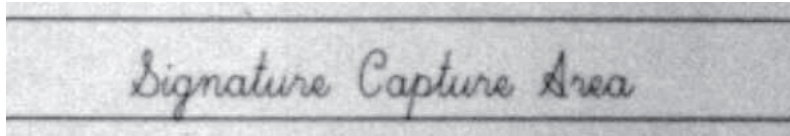
ガンマ補正



R - Resolution of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの解像度)

最小単位ごとにスキャナが出力するピクセル数です。R の値を大きくすると画質が良くなりますが、ファイルサイズも大きくなります。値は 1000 からです。スキャナは自動的に、最初の桁と次の桁の間に小数点を挿入します。例えば、2.5 の解像度を指定するには 2500 を使用します。A および B のモディファイアを使用するときは、0 に設定します A - Output Image Width (出力画像の幅) と B - Output Image Height (出力画像の高さ) on page 9-10 を参照してください。

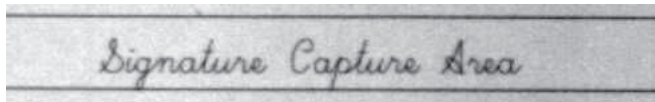
解像度設定 0R



解像度設定 1000R



解像度設定 2000R



S - Bar Code Aspect Ratio (バーコード様相比)

IMGBOX に用いられる寸法はバーコードの最小エレメントサイズの倍数で測られます。Bar Code Aspect Ratio ではバーコードの高さとナローエレメントの幅を設定することができます。例では、ナローエレメントの幅は 0.010 インチ、バーコードの高さは 0.400 インチなので、S の値 = $0.4/0.01 = 40$ となります。

W - Width of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの幅)

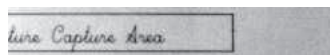
取り込むエリア域の高さは 0.01 インチ (約 0.026cm) ごとに測られます。例えば、取り込むエリアの幅が 2.4 インチ (約 6.096cm) の場合、W 値 = $2.4/0.01 = 240$ となります。(ここでは画像エリアを少し大きめに調節するため、245 を用います。)

例: *IMGBOX245w37h55y*

X - Horizontal Bar Code Offset (水平バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を水平方向にずらします。プラス数値は水平中心を右へ移動させ、マイナス数値は左へ移動させます。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

水平バーコードオフセットを 75X に設



水平バーコードオフセットを -75X に設定



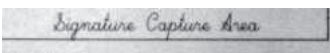
Y - Vertical Bar Code Offset (縦バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を垂直方向にずらします。マイナス値は、署名取り込みがバーコードの上であることを示し、プラスの場合はバーコードの下であることを示します。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

縦バーコードオフセット設定: -7Y の場



縦バーコードオフセット設定: 65Y の場



RF 初期設定のイメージングデバイス

このスキャナはイメージングコマンドプロセス (IMGSHP, IMGSNP, IMG-BOX) に対応しており、(see page 11-3 参照) やその他のアプリケーションはスキャナと直接接続されているかのように画像機能を実行することができます。これを行うためには、RF_DID (RF Default Imaging Device) と呼ばれるメニューコマンドを使用します。RF_DID とは、イメージングコマンドを受け取るスキャナ (BT_NAM) の名称です。RF_DID の初期設定は「*」で、イメージングコマンドがすべての連結するスキャナに送信されることを示します。特定のスキャナに送るようにするには *RF_DIDscanner_name* に変更してください。各スキャナのポート、ワークグループ、スキャナ名とアドレスのレポートを作成するには 3-8 ページ ["Paging"](#) on page 3-7 の「ページング」の項目を参照してください。また、各スキャナに固有のネームをつける場合は、["Scanner Name"](#) on page 3-18 の「スキャナ名」の項目を参照してください。

インターフェースキー

キーボードファンクションの関係

以下のキーボードファンクションコード、Hex/ASCII 値、および Full ASCII 「CTRL」+ の関係は、スキャナとともに使用可能なすべてのターミナルに適用します。page 2-17 Control + X (Control + ASCII) 有効モードを参照してください。

ファンクションコード	HEX/ASCII 値	Full ASCII (CTRL + X Mode)
NUL	00	@
SOH	01	A
STX	02	B
ETX	03	C
EOT	04	D
ENQ	05	E
ACK	06	F
BEL	07	G
BS	08	H
HT	09	I
LF	0A	J
VT	0B	K
FF	0C	L
CR	0D	M
SO	0E	N
SI	0F	O
DLE	10	P
DC1	11	Q
DC2	12	R
DC3	13	S
DC4	14	T
NAK	15	U
SYN	16	V
ETB	17	W
CAN	18	X
EM	19	Y
SUB	1A	Z
ESC	1B	[
FS	1C	\
GS	1D	]
RS	1E	^
US	1F	-

「Full ASCII 「CTRL」+」の列にある最後の 5 つのキャラクタ ([¥] 6 -) は、アメリカでのみ対応します。次の表は、これらの 5 つのキャラクタの国別の同等キャラクタを示します。

国	コード				
アメリカ	[	¥	]	6	-
ベルギー	[	<	]	6	-
スカンジナビア	8	<	9	6	-
フランス	^	8	\$	6	=
ドイツ		Ã	+	6	-
イタリア		¥	+	6	-
スイス		<	..	6	-

国		コード			
イギリス	[	¢	]	6	-
デンマーク	8	¥	9	6	-
ノルウェー	8	¥	9	6	-
スペイン	[	¥	]	6	-

サポートされているインタフェースキー

ASCII	HEX	IBM PC/AT およ び 互換機、 USB PC キーボー ド	Apple Mac/iMac サポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter (KP)	Enter/Numpad Enter
STX	02	Cap Lock	CAPS
ETX	03	ALT make	ALT make
EOT	04	ALT break	ALT break
ENQ	05	CTRL make	CNTRL make
ACK	06	CTRL break	CNTRL break
BEL	07	CR/Enter	RETURN
BS	08	Reserved	APPLE make
HT	09	Tab	TAB
LF	0A	Reserved	APPLE break
VT	0B	Tab	TAB
FF	0C	Delete	Del
CR	0D	CR/Enter	RETURN
SO	0E	Insert	Ins Help
SI	0F	Escape	ESC
DLE	10	F11	F11
DC1	11	Home	Home
DC2	12	Print	Prnt Scrn
DC3	13	Back Space	BACKSPACE
DC4	14	Back Tab	LSHIFT TAB
NAK	15	F12	F12
SYN	16	F1	F1
ETB	17	F2	F2
CAN	18	F3	F3
EM	19	F4	F4
SUB	1A	F5	F5
ESC	1B	F6	F6
FS	1C	F7	F7
GS	1D	F8	F8
RS	1E	F9	F9
US	1F	F10	F10
DEL	7F		BACKSPACE

すべてのシンボル体系へのテストコード ID プリフィックス追加

これを選択すると、デコードされたシンボルの前にコード ID を送信することができます。(各シンボルを識別する単独のシンボルキャラクタコードについては、[Symbology Charts](#), beginning on page A-1 に記載されたシンボルチャートを参照してください。)ここでは、まず現在のプレフィックスをすべて消去し、その後すべてのシンボルについてコード ID プレフィックスを設定します。これは、電源を入れなおすと削除される一時設定です。



PRECA2,BK2995C80!

全シンボルへ体系のコード ID プリフィックス
追加

Show Decoder Revision

次のバーコードを読み取り、デコーダの改訂情報を出力します。



REV_DR.

デコーダーの改訂情報の表示

ドライバー改訂情報の表示

次のバーコードを読み取り、ドライバの改訂情報の読み取りを出力します。読み取りドライバは画像の取り込みを制御します。



REV_SD.

ドライバーの改訂情報の表示

ソフトウェアの改訂情報表示

次のバーコードを読み取り、スキャナとベースの現在のソフトウェアの改訂情報、シリアルナンバー、およびその他の製品情報を出力します。



REVINF.

ソフトウェアの改訂情報表示

データフォーマットの表示

次のバーコードを読み取り、現在のデータフォーマット設定を表示します。



DFMBK3?.

データフォーマット設定

テストメニュー

テストメニューの **On**(有効) バーコードを読み取り、次に本書のプログラミングコードを読み取ると、スキャナはプログラミングコードの内容を表示します。プログラミングファンクションはまだ存在しますが、さらにそのプログラミングコードの内容もターミナルに出力されます。

Note: この機能は、通常のイメージャ操作では使用しないでください。



TSTMNU1.

有効



TSTMNU0.

* 無効

TotalFreedom (トータルフリーダム)

TotalFreedom (トータルフリーダム) とは、スキャナにプラグインアプリケーションを作成することができる オープンシステムアーキテクチャです。この TotalFreedom でデコードアプリケーションとデータフォーマットアプリケーションの作成が可能です。TotalFreedom について詳しくは、ウェブサイト www.honeywellaidc.com を参照してください。

プラグインアプリケーション

以下のバーコードを読み取ることで、プラグインアプリケーションをオン / オフにすることができます。アプリケーションはデコードとフォーマットというグループごとに保存されています。以下のグループの On/Off バーコードを読み取り、アプリケーションを立ち上げたり、閉じたりすることができます。List Apps バーコードを読み取ると、すべてのアプリケーションのリストを出力します。



PLGDCE1.

* デコードアプリオン



PLGDCE0.

デコードアプリオフ



PLGFOE1.

* フォーマットアプリオン



PLGFOE0.

フォーマットアプリオフ



PLGINF.

アプリ一覧

Note: アプリケーションを有効にするためには、デバイスを再起動しなければなりません。

EZConfig について

EZConfig は PC の COM ポートにスキャナを接続することにより、多様な PC ベースのプログラミング機能を提供することができます。EZConfig を用いると、スキャナのアップグレードの為にファームウェアをダウンロードしたり、設定済みのパラメータを変更したり、プログラミングバーコードを作成して印刷することができます。さらに、スキャナのプログラミングパラメータを保存したり開いたりすることもできます。この保存ファイルは電子メールで送信でき、必要であれば、カスタマイズされたプログラミングパラメータをすべて含む単一のバーコードを作成し、どこへでもメールやファックスで送信することもできます。他の場所にいるユーザは、そのバーコードを読み取り、カスタマイズされたプログラミングに組み込むことができます。

スキャナとの通信のため、EZConfig ではコンピュータに少なくとも 1 つの空きシリアル通信ポートか、または物理的な USB ポートを使用したシリアルポートのエミュレーションが必要です。シリアルポートと RS232 ケーブルを使用している場合は、外部電源が必要です。USB シリアルポートのエミュレーションを使用しているときには、USB ケーブルのみ必要です。

EZConfig の操作

EZConfig ソフトウェアでは、以下の操作を実行します。

Scan Data (データ読み取り)

バーコードを読み取って、ウィンドウにバーコードデータを表示することができます。また、シリアルコマンドをスキャナに送信したり、スキャナからの応答を受信したりでき、Scan Data ウィンドウでこれらを確認することができます。Scan Data ウィンドウに表示されるデータは、ファイルに保存することもできれば、印刷することもできます。

Configure (環境設定)

環境設定は、スキャナのプログラミングと環境設定データを表示します。スキャナのプログラミングと環境設定データは、異なるカテゴリに分類されます。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラの「Configure」ツリーノードの下にツリーアイテムとして表示されます。これらのツリーノードの1つをクリックすると、その特定のカテゴリに所属するパラメータのフォームが右側に表示されます。「Configure」ツリーオプションには、スキャナ用に指定したプログラミングと環境設定パラメータのすべてが含まれています。これらのパラメータは、必要に応じて設定または変更できます。後で、変更した設定値をスキャナに書き込んだり、dcfファイルに保存したりできます。

Imaging (画像取り込み)

ここでは、2次元イメージャーが持つ、画像関連機能すべてを調節することができます。現在の設定を利用して画像を取り込むことができます。画像はイメージウィンドウに表示されます。スキャナが撮影した画像は、様々な画像形式で保存することが可能です。画像設定を変更してINIファイルに保存することができます。また、後でこの設定を読み込んで新しい画像を取り込むことができます。また、お使いのスキャナから画像を連続して見る事もできます。

ウェブサイトからの EZConfig のインストール

Note: EZConfig には .NET ソフトウェアが必要です。お使いの PC に .NET がインストールされていない場合、EZConfig のインストール時に .NET のインストールを促すメッセージが表示されます。

1. www.honeywellaidc.com からハネウェルのウェブサイトアクセスします。
2. **Resources** タブをクリックし **Software** を選択します。
3. ドロップダウンメニューから Select Product Number (型番を選択) をクリックし、製品番号を選択します。
4. **EZConfig-Scanning** リストをクリックします。
5. 指示が出ましたら **Save File** を選択し、ファイルを **c:\windows\temp** ディレクトリに保存します。
6. ファイルのダウンロードが終了したらウェブサイトを開じます。
7. エクスプローラを使用し、**c:\windows\temp** のファイルに進みます。
8. **Setup.exe** ファイルをダブルクリックします。画面の指示に従って EZConfig プログラムをインストールします。
9. インストール時にデフォルトを選択した場合は、**Start Menu-All Programs-Honeywell-EZConfig-Scanning** をクリックしてください。

初期設定の再設定



本章ではすべての設定の消去しスキャナを工場出荷時にリセットを行います。またすべてのプラグインを無効にします。

スキャナにどのプログラムオプションが有効か不確かな場合またはいくつかのオプションを変更し、工場出荷時の設定に復元したい場合、**Remove Custom Defaults** バーコードをスキャンし、次に **Activate Defaults** をスキャンしてください。これでスキャナは工場出荷時の設定にリセットされます。



DEFOVR.

カスタムデフォルトの削除



DEFAULT.

デフォルトの有効化

Note: コードレスシステムを使用している場合、**Activate Defaults** バーコードをスキャンすることでスキャナとベースの両方、またはアクセスポイントにリセットを実行し、リンク不接続になります。設定コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナをベースに置いてください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細は [Cordless System Operation beginning on page 3-1](#) を参照してください。

[Menu Commands](#), beginning on page 12-4 は、各コマンド（プログラミングページでアスタリスク（*）で表示）の標準の初期設定を示しています。

シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもスキャナをプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

機器は、RS232 インタフェース用に設定する必要があります。(page 2-1 を参照。) 以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いて PC COM 経由で送信できます。

記述上の語句

メニューと質問コマンドの記述には、以下の取り決めが用いられています。

Parameter コマンドの一部として送信する実際の値

[option] コマンドのオプション部分

{Data} コマンド内の選択肢

Bold 画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

メニューコマンドシンタックス (構文)

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。(スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです。)

Prefix [:Name:]Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [: Tag SubTag {Data}] [...] Storage

Prefix 3 つの ASCII のキャラクタ : SYN M CR (ASCII 22, 77, 13) **SYN M CR** (ASCII 22, 77, 13).

:Name: このコマンドはコードレスデバイスでのみ使用します。ベースまたはスキャナと通信するかどうかを特定するために使用します。スキャナ (ホストに連結したベースと共に) に情報を送信するために、:Xenon: を使用します。工場出荷時の Xenon スキャナの初期設定は Xenon スキャナです。この設定は英数字を許可する BT_NAM コマンドを使用して設定します。ネームがわからない場合は、「*」を :* の形で用います。

Note: ベースはすべてのワークグループの設定を保存し、それらと接続されるとすぐにスキャナに転送します。変更はベースに対してのみ行われ、スキャナには行われません。

Tag メニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS232 の環境設定は、すべて 232 という Tag で識別されます。

SubTag タググループの中のメニューコマンドグループを識別する大文字・小文字の区別がない 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS232 ボーレート SubTag は BAD になります。

Data メニュー設定の新規値。Tag と SubTag で識別されます。

Storage コマンドを適用するストレージテーブルを指定する 1 つのキャラクタ。感嘆符 (!) は、機器の一時的なメモリ上でコマンド操作を実行します。ピリオド (.) の場合は、機器の不揮発性メモリ上でコマンド操作を実行します。不揮発性メモリ上は、始動時に保存したい半恒久的な変更の場合だけに使用します。

質問コマンド

設定について機器から返答を得るためのいくつかの特殊キャラクタを使用できます。

^ 設定の初期値

? 機器の現在の設定値

* 設定で可能な範囲 (機器のレスポンスでは、ダッシュ (-) で値の連続範囲を示し、パイプ (|) で不連続値の一覧の項目を区切ります。

:Name: フィールドの使い方 (オプション)

このコマンドを用いると、スキャンからの質問情報を返送します。

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので SubTag および Data フィールドは使用しないでください。

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので Data フィールドは使用しないでください。

Data Field Usage

Data フィールドに代わって質問を使用すると、Tag および SubTag フィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを 1 つの Prefix/Storage シーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、および Data フィールドだけです。同じ Tag でコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ (,) で区切り、追加コマンドの SubTag および Data フィールドだけを記述します。追加コマンドで異なる Tag フィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン (;) で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の 3 つのレスポンスの 1 つでシリアルコマンドに応答します。

ACK 正しくコマンドを実行した。

ENQ Tag または SubTag コマンドが無効。

NAK コマンドは正しいが、Data フィールドの入力がこの Tag および SubTag 組み合わせの許容範囲外。例えば、フィールドが 2 キャラクタしか受け付けないときに最小読み取り桁数の入力が 100 になっている場合。

応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクターを挿入したコマンドシーケンスを返します。

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ [] は非表示レスポンスを示します。

Example: 例：Codabar Coding Enable で可能な値の範囲は？

入力： `cbrena*`.

レスポンス `CBRENA0-1[ACK]`

Codabar Coding Enable (CBRENA) の値の範囲が 0 ～ 1（オフとオン）であることを示します。

Example: Codabar Coding Enable の初期設定値は？

入力： `cbrena^`.

レスポンス `CBRENA1[ACK]`

Codabar Coding Enable (CBRENA) のデフォルト設定が 1 またはオンであることを示しています。

Example: 例：Codabar Coding Enable のデフォルト値は？

入力： `cbrena?`.

レスポンス `CBRENA1[ACK]`

機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1、またはオンに設定されていることを示します。

Example: 例：すべての Codabar 選択項目に対する機器の設定は？

入力： `cbr?`.

レスポンス `CBRENA1[ACK],
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],
MIN2[ACK],
MAX60[ACK],
DFT[ACK].`

このレスポンスは、機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1 または有効に設定され
スタート / ストップキャラクタ (SSX) は 0、または Don't Transmit に、
チェックキャラクタ (CK2) は 0、または Not Required に、
連結機能 (CCT) は 1、または Enabled に、
最小読み取り桁数 (MIN) は 2 キャラクタに、
最大読み取り桁数 (MAX) は 60 キャラクタに、
またデフォルト設定 (DFT) には値が無いことを示しています。

トリガーコマンド

シリアルトリガーコマンドでスキャナを起動または停止できます。まず、Manual Trigger Mode のバーコード (page 4-6) を読み取りマニュアルトリガーモードにするか、シリアルメニューコマンド (page 4-7) を送ります。スキャナがいったんシリアルトリガーモードになると、以下のコマンドを送ってトリガーをアクティブ／非アクティブにできます。

起動する： **SYN T CR**

停止する： **SYN U CR**

スキャナは、バーコードを読み取るか、非アクティブ化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウトになるまで読み取りを実行します。(説明については "Read Time-Out" on page 4-7 を、また [page 12-12](#) のシリアルコマンドを参照。)

標準の製品初期設定へのリセット

ご使用のスキャナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults (カスタムデフォルトを起動) バーコードを読み取ってください。これはスキャナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルト設定に戻す

Note: コードレスシステムをご使用の場合、このバーコードを読み取ると、スキャナとベースにもリセットを実行し、非接続となってしまう。コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナをベースに置いてください。アクセスポイントを使用している場合、リンクバーコードを読み取ってください。詳細は [Cordless System Operation beginning on page 3-1](#) を参照してください。

次ページ以降のチャートは、各メニューコマンド (プログラミングページ上アスタリスク (*) で表示) の標準の工場出荷時設定一覧です。

メニューコマンド

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
製品初期設定			
カスタムデフォルトの設定	カスタムデフォルトの設定	MNUCDP	1-13
	カスタムデフォルトの保存	MNUCDS	1-13
カスタムデフォルトの再設定	カスタムデフォルト設定に戻す	DEFAULT	1-13
工場出荷時設定に戻す - コードレススキャナ	工場出荷時の設定： すべてのアプリケーショングループ	PAPDFT&	3-20
カスタムデフォルト設定に戻す - コードレススキャナ	カスタムデフォルト設定： すべてのアプリケーショングループ	PAPDFT	3-21
インターフェースの設定			
プラグ&プレイ	キーボードウェッジ： CR サフィックスつき IBM PC AT および 互換機 (Granit1980i は非サ ポート)	PAP_AT	2-1
	ノート型 PC 直接接続 (CR サ フィックスつき)	PAPLTD	2-1
	RS232 シリアルポート	PAP232	2-1
プラグ&プレイ： RS485	IBM Port 5B インターフェース	PAPP5B	2-2
	IBM Port 9B HHBCR-1 インター フェース	PAP9B1	2-2
	IBM Port 17 インターフェース	PAPP17	2-2
	IBM Port 9B HHBCR-2 インター フェース	PAP9B2	2-2
	RS485 パケットモード 有効	RTLPDF1	2-2
	RS485 パケットモード 無効	RTLPDF0	2-2
	RS485 パケット長 (20-256)	RTLMP5	2-3
プラグ&プレイ：IBM SurePos	USB IBM SurePos ハンドヘルドイ ンターフェース	PAPSPH	2-3
	USB IBM SurePos 卓上インター フェース	PAPSPT	2-3
プラグ&プレイ：USB	USB キーボード (PC)	PAP124	2-3
	USB キーボード (Mac)	PAP125	2-3
	USB Japanese キーボード (PC)	TRMUSB134	2-3
	USB HID	PAP131	2-4
	USB シリアルモード	TRMUSB130	2-4
	CTS/RTS エミュレーション有効	USBCTS1	2-4
	CTS/RTS エミュレーション無効*	USBCTS0	2-4
	ACK/NAK モード有効	USBACK1	2-4
	ACK/NAK モード無効*	USBACK0	2-4
USB 用リモート MasterMind	ReM Off	REMIFC0	2-4
	ReM On	REMIFC1	2-4

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
プラグ & プレイ	Verifone Ruby ターミナル	PAPRBY	2-5
	Gilbarco ターミナル	PAPGLB	2-5
	Honeywell 2 面式カウンタースキャナ	PAPBIO	2-5
	Datalogic Magellan 2 面式カウンタースキャナ	PAPMAG	2-6
	NCR 2 面式カウンタースキャナ	PAPNCR	2-6
	Wincor Nixdorf ターミナル	PAPWNX	2-6
	Wincor Nixdorf Beetle	PAPBTL	2-7
	Wincor Nixdorf RS232 モード A (すべての Granit モデルは非サポート)	PAPWMA	2-7
国別キーボード	* アメリカ	KBDCTY0	2-8
	アルバニア	KBDCTY35	2-8
	アゼリー (キリル文字)	KBDCTY81	2-8
	アゼリー (ラテン)	KBDCTY80	2-8
	ベラルーシ	KBDCTY82	2-8
	ベルギー	KBDCTY1	2-8
	ボスニア	KBDCTY33	2-8
	ブラジル	KBDCTY16	2-8
	ブラジル (MS)	KBDCTY59	2-8
	ブルガリア (キリル文字)	KBDCTY52	2-8
	ブルガリア (ラテン)	KBDCTY53	2-9
	カナダ (フランス語 Legacy)	KBDCTY54	2-9
	カナダ (フランス語)	KBDCTY18	2-9
	カナダ (多言語)	KBDCTY55	2-9
	クロアチア	KBDCTY32	2-9
	チェコ	KBDCTY15	2-9
	チェコ (プログラマー)	KBDCTY40	2-9
	チェコ (QWERTY)	KBDCTY39	2-9
	チェコ (QWERTZ)	KBDCTY38	2-9
	デンマーク	KBDCTY8	2-9
	オランダ語 (オランダ)	KBDCTY11	2-9
	エストニア	KBDCTY41	2-10
	フェロー語	KBDCTY83	2-10
	フィンランド	KBDCTY2	2-10
	フランス	KBDCTY3	2-10
	ゲール語	KBDCTY84	2-10
	ドイツ	KBDCTY4	2-10
	ギリシャ	KBDCTY17	2-10
	ギリシャ 220 ラテン	KBDCTY64	2-10
	ギリシャ 220	KBDCTY61	2-10
	ギリシャ 319 ラテン	KBDCTY65	2-10

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	ギリシャ 319	KBDCTY62	2-10
	ギリシア ラテン	KBDCTY63	2-11
	ギリシャ MS	KBDCTY66	2-11
	ギリシャ Polytonic	KBDCTY60	2-11
	ヘブライ語	KBDCTY12	2-11
	ハンガリー語 101 キー	KBDCTY50	2-11
	ハンガリー	KBDCTY19	2-11
	アイスランド	KBDCTY75	2-11
	アイルランド	KBDCTY73	2-11
	イタリア語 142	KBDCTY56	2-11
	イタリア	KBDCTY5	2-11
	日本語	KBDCTY28	2-11
	カザフスタン	KBDCTY78	2-12
	キルギスタン キリル文字	KBDCTY79	2-12
	ラテンアメリカ	KBDCTY14	2-12
	ラトビア	KBDCTY42	2-12
	ラトビア QWERTY	KBDCTY43	2-12
	リトアニア	KBDCTY44	2-12
	リトアニア IBM	KBDCTY45	2-12
	マケドニア	KBDCTY34	2-12
	マルタ	KBDCTY74	2-12
	モンゴル キリル文字	KBDCTY86	2-12
	ノルウェー	KBDCTY9	2-12
	ポーランド	KBDCTY20	2-13
	ポーランド語 214	KBDCTY57	2-13
	ポーランド語 プログラマー	KBDCTY58	2-13
	ポルトガル	KBDCTY13	2-13
	ルーマニア	KBDCTY25	2-13
	ロシア	KBDCTY26	2-13
	ロシア MS	KBDCTY67	2-13
	ロシア タイプライター	KBDCTY68	2-13
	SCS	KBDCTY21	2-13
	セルビア キリル文字	KBDCTY37	2-13
	セルビア ラテン	KBDCTY36	2-13
	スロヴァキア	KBDCTY22	2-14
	スロヴァキア QWERTY	KBDCTY49	2-14
	スロヴァキア QWERTZ	KBDCTY48	2-14
	スロヴェニア	KBDCTY31	2-14
	スペイン	KBDCTY10	2-14
	スペイン語 変動	KBDCTY51	2-14
	スウェーデン	KBDCTY23	2-14
	スイス フランス語	KBDCTY29	2-14
	スイス ドイツ語	KBDCTY6	2-14

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	タタール語	KBDCTY85	2-14
	トルコ F	KBDCTY27	2-14
	トルコ Q	KBDCTY24	2-15
	ウクライナ	KBDCTY76	2-15
	英国	KBDCTY7	2-15
	アメリカ Dvorak 右	KBDCTY89	2-15
	アメリカ Dvorak 左	KBDCTY88	2-15
	アメリカ Dvorak	KBDCTY87	2-15
	アメリカ インターナショナル	KBDCTY30	2-15
	ウズベキスタン キリル文字	KBDCTY77	2-15
キーボードの変換	* キーボード変換 無効	KBDCNV0	2-16
	すべてのキャラクタを大文字に変換	KBDCNV1	2-16
	すべてのキャラクタを小文字に変換	KBDCNV2	2-16
キーボードスタイル	* レギュラー	KBDSTY0	2-15
	Caps Lock	KBDSTY1	2-15
	Shift Lock	KBDSTY2	2-16
	Automatic Caps Lock (自動 Caps Lock)	KBDSTY6	2-16
	Emulate External キーボード	KBDSTY5	2-16
制御キャラクタの出力	* 制御キャラクタ出力 無効	KBDNPE0	2-17
	* 制御キャラクタ出力 有効	KBDNPE1	2-17

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
キーボードの設定	*Control + ASCII 無効	KBDCAS0	2-17
	Dos モード Control + X	KBDCAS1	2-17
	Windows モード Control + X	KBDCAS2	2-17
	Windows モード プリフィクス / サフィックス 無効	KBDCAS3	2-17
	* ターボモード 無効	KBDTMD0	2-18
	ターボモード 有効	KBDTMD1	2-18
	* 数字キーパッド 無効	KBDNPS0	2-18
	数字キーパッド 有効	KBDNPS1	2-18
	* 自動直接接続 無効	KBDADC0	2-18
	自動直接接続 有効	KBDADC1	2-18
ボーレート	300 BPS	232BAD0	2-18
	600 BPS	232BAD1	2-18
	1200 BPS	232BAD2	2-19
	2400 BPS	232BAD3	2-19
	4800 BPS	232BAD4	2-19
	9600 BPS	232BAD5	2-19
	19200 BPS	232BAD6	2-19
	38400 BPS	232BAD7	2-19
	57600 BPS	232BAD8	2-19
	*115200 BPS	232BAD9	2-19
ワード長：データビットストップビットパリティ	7 データビット、1 ストップビット、偶数	232WRD3	2-19
	7 データビット、1 ストップビット、パリティ無	232WRD0	2-20
	7 データビット、1 ストップビット、奇数	232WRD6	2-20
	7 データビット、2 ストップビット、偶数	232WRD4	2-20
	7 データビット、2 ストップビット、パリティ無	232WRD1	2-20
	7 データビット、2 ストップビット、奇数	232WRD7	2-20
	8 データビット、1 ストップビット、偶数	232WRD5	2-20
	8 データビット、1 ストップビット、パリティ無	232WRD2	2-20
	8 データビット、1 ストップビット、奇数	232WRD8	2-20
	8 データビット、1 ストップビット、パリティマーク	232WRD14	2-20
RS232 レシーバタイムアウト	0 - 300	232LPT###	2-20

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
RS232 ハンドシェイク	* RTS/CTS 無効	232CTS0	2-21
	フロー制御、タイムアウトなし	232CTS1	2-21
	双方向フロー制御	232CTS2	2-21
	フロー制御、タイムアウトあり	232CTS3	2-21
	RS232 タイムアウト	232DEL####	2-21
	*XON/XOFF 無効	232XON0	2-22
	XON/XOFF 有効	232XON1	2-21
	* ACK/NAK 無効	232ACK0	2-22
	ACK/NAK 有効	232ACK1	2-22
2 面式カウンタースキャナパケット モード	* パケットモード 無効	232PKT0	2-22
	パケットモード 有効	232PKT2	2-22
2 面式カウンター式スキャナ ACK/NAK モード	* 2 面式カウンタースキャナ ACK/ NAK 無効	232NAK0	2-22
	2 面式カウンタースキャナ ACK/ NAK 有効	232NAK1	2-23
2 面式カウンタースキャナ ACK/ NAK タイムアウト	ACK/NAK タイムアウト *5100	232DLK#####	2-23
コードレスシステムの操作			
Note: 本項はコードレスシステムのみを対象としています。コードつきスキャナには適用できませんので、ご注意ください。			
ベースユニットパワー / 通信イン ジケータ	* 有効	:*:BASRED1	3-6
	無効	:*:BASRED0	3-6
スキャナのリセット	スキャナのリセット	RESET_	3-6
ベースユニット上での読み取り	* ベースユニット上での読み取り 有効	BT_SIC0	3-6
	* ベースユニットでの読取 有効 (初期設定 CCB01-010BT)	BT_SIC1	3-6
	ベースユニットでスキャナを シャットダウン	BT_SIC2	3-6
ベースチャージモード	ベースチャージ 無効	BASCHG0	3-7
	* 外部またはインターフェース ケーブル電源	BASCHG1	3-7
	外部電源のみ	BASCHG2	3-7
ページングモード	* 有効	BEPPGE1	3-7
	無効	BEPPGE0	3-7
ページング音の音程	400-9000Hz (*1000)	BEPPFQ####	3-7
ブザー音の音程: ベースユニット のエラー発生時	* 低 (250) (最小 200Hz)	BASFQ2250	3-8
	* 中 (3250Hz)	BASFQ23250	3-8
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BASFQ24200	3-8
ブザー音の回数: ベースユニット のエラー発生時	*1	BASERR3	3-9
	1-9	BASERR#	3-9
スキャナレポート	スキャナレポート	RPTSCN	3-9
スキャナのアドレス	スキャナのアドレス	BT_LDA	3-9
ベースアドレス	ベースアドレス	:*:BASLDA	3-9

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
スキャナモード	充電限定モード	:*:BASLNK0	3-9
	* 充電および通信モード	:*:BASLNK1	3-10
	通信固定モード	BASCON0,DNG1	3-10
	* 通信オープンモード	BASCON1,DNG1	3-10
	スキャナとの通信解除	BT_RMV	3-10
	通信固定されたスキャナの上書き	BT_RPL1	3-11
通信範囲外警告	通信範囲外警告ベースアラームの 鳴動時間 (範囲 1-3000 ミリ秒) * 0	BASORD	3-11
	スキャナアラームの鳴動時間 (範 囲 1-3000 ミリ秒)* 0	BT_ORD	3-11
警告ブザーの種類	ベースアラームの種類	BASORW	3-12
	スキャナアラームの種類	BT_ORW	3-12
スキャナパワータイムアウトタイ マー	0 - 7200 秒	BT_LPT0	3-12
	200 秒 *	BT_LPT200	3-12
	400 秒 *	BT_LPT400	3-12
	900 秒 *	BT_LPT900	3-12
	3600 秒 *	BT_LPT3600	3-12
	7200 秒 *	BT_LPT7200	3-12
フレキシブルパワーマネーagemen ト	* フルパワー	BT_TXP100	3-13
	出力 - 中	BT_TXP35	3-13
	出力 - 中低	BT_TXP5	3-13
	出力 - 低	BT_TXP1	3-13
バッチモード	自動バッチモード	BATENA1	3-14
	* バッチモード無効	BATENA0	3-14
	棚卸バッチモード	BATENA2	3-14
	持続バッチモード	BATENA3	3-14
バッチモード : ブザー音	無効	BATBEP0	3-14
	* 有効	BATBEP1	3-14
バッチモード : 保存形式	* フラッシュメモリに保存	BATNVS1	3-15
	RAM に保存	BATNVS0	3-15
バッチモード : 個数	* 無効	BATQTY0	3-15
	有効	BATQTY1	3-15
個数コード	0	BATNUM0	3-16
	*1	BATNUM1	3-16
	2	BATNUM2	3-16
	3	BATNUM3	3-16
	4	BATNUM4	3-16
	5	BATNUM5	3-16
	6	BATNUM6	3-16
	7	BATNUM7	3-16
	8	BATNUM8	3-16
	9	BATNUM9	3-16

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
バッチモード：出力順序	先入れ先出し	BATLIF0	3-17
	後入れ先出し	BATLIF1	3-17
レコードの合計件数	レコードの合計件数	BATNRC	3-17
最後のコードを削除	最後のコードを削除	BATUND	3-17
すべてのコードを削除	すべてのコードを削除	BATCLR	3-17
保存したデータをホストへ送信	保存したデータをホストへ送信	BAT_TX	3-17
バッチモード：送信ディレイ（間隔）	* 無効	BATDLY0	3-18
	短（ミリ秒）	BATDLY250	3-18
	中（ミリ秒）	BATDLY500	3-18
	長（ミリ秒）	BATDLY1000	3-18
複数スキャナ 操作モード	複数スキャナ操作モード	BASCON2,DNG3	3-18
スキャナ名	スキャナ名 1-7	BT_NAM#####	3-19
	リセット	RESET_	3-19
	スキャナ名	BT_NAM	3-19
アプリケーションワークグループ 選択項目	* グループ 0	GRPSEL0	3-20
	グループ 1-6	GRPSEL#	3-20
工場出荷時設定の再設定：すべての アプリケーションワークグループ	工場出荷時設定の再設定： すべてのワークグループ	PAPDFT&	3-20
カスタムデフォルトの再設定：すべての アプリケーションワークグループ	カスタムデフォルト設定： すべてのワークグループ	PAPDFT	3-21
Bluetooth 接続	* Bluetooth SPP 有効	BT_SSP1	3-21
	Bluetooth SPP 無効	BT_SSP0	3-21
	Bluetooth HID キーボードとの通信 確立	PAPBTH	3-22
	Bluetooth HID キーボードとの通信 解除	PAPSPP	3-23
	Bluetooth PC/ ノート型 PC シリアル ポートとの通信確立	BT_TRM0;BT_DNG5	3-23
	PDA/ ハンディターミナル用 Bluetooth 接続	BT_TRM0;BT_DNG1	3-23
	Bluetooth 暗証コード	BT_PIN	3-24
自動再接続モード	* 自動再接続モード 有効	BT_ACM1	3-24
	自動再接続モード 無効	BT_ACM0	3-24
再接続試行最高限度回数	再接続試行最高限度回数	BT_MLA	3-25
再接続タイムアウト	再接続タイムアウト	BT_RLT	3-25
ホストコマンドの ACK	ホスト ACK 有効	HSTACK1	3-27
	* ホスト ACK 無効	HSTACK0	3-27

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
入力・出力設定			
起動ブザー	スキャナ、起動ブザー無効	BEPPWR0	4-1
	* スキャナ、起動ブザー有効	BEPPWR1	4-1
	コードレスベース、起動ブザー無効	BASPWR0	4-1
	コードレスベース、起動ブザー有効	BASPWR1	4-1
BEL ブザー	BEL ブザー 有効	BELBEP1	4-1
	*BEL ブザー 無効	BELBEP0	4-1
トリガークリック音	有効	BEPTRG1	4-2
	* 無効	BEPTRG0	4-2
読み取り成功時ブザー	無効	BEPBEP0	4-2
	* 有効	BEPBEP1	4-2
読み取り成功時ブザー：音量	無効	BEPLVL0	4-2
	* 低 (初期設定 -Xenon HC)	BEPLVL1	4-2
	中	BEPLVL2	4-2
	* 大	BEPLVL3	4-2
読み取り成功時ブザー：音程	低 (1600) (最低 400Hz)	BEPFQ11600	4-3
	* 中 - Xenon (2700 Hz)	BEPFQ12700	4-3
	* 中 - Granit (3200 Hz)	BEPFQ13200	4-3
	項 (4200) (最大 9000Hz)	BEPFQ14200	4-3
振動：読み取り成功時	読み取り成功時の振動 無効	TFBGRD0	4-3
	* 読み取り成功時の振動 有効	TFBGRD1	4-3
振動時間	時間 (100 - 2,000 ms) *300	TFBDUR####	4-3
読み取り成功時ブザー：音程	* 低 (250) (最小 200Hz)	BEPFQ2800	4-4
	* 中 (3250Hz)	BEPFQ23250	4-4
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BEPFQ24200	4-4
読み取り成功時ブザー：長さ	* 通常	BEPBIP0	4-4
	短	BEPBIP1	4-4
読み取り成功時：LED	無効	BEPLD0	4-4
	* 有効	BEPLD1	4-4
エラーブザーの回数：	*1	BEPERR3	4-5
	1 - 9	BEPERR#	4-5
読み取り成功時ブザー：回数	*1	BEPRPT1	4-5
	1 - 9	BEPRPT#	4-5
ブザー音最大	ブザー音最大	PAPBLM	4-5
読み取り成功ディレイ	* ディレイなし	DLYGRD0	4-5
	短いディレイ (500 ミリ秒)	DLYGRD500	4-5
	中位のディレイ (1000 ミリ秒)	DLYGRD1000	4-5
	長いディレイ (1500 ミリ秒)	DLYGRD1500	4-6
ユーザー定義の読み取り成功ディレイ	0 - 30,000 ミリ秒	DLYGRD#####	4-6

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
マニュアルトリガーモード	* マニュアルトリガー 標準	PAPHHF	4-6
	マニュアルトリガー 強化	PAPHHS	4-6
LED 照明：マニュアルトリガーモード	無効	PWRNOL0	4-6
	低	PWRNOL100	4-6
	中位 (Xenon のみ)	PWRNOL120	4-6
	* 大	PWRNOL150	4-6
シリアルトリガーモード	読み取りタイムアウト (0 - 300,000 ミリ秒) *30,000	TRGSTO####	4-7
プレゼンテーションモード	プレゼンテーションモード	PAPTPR	4-7
LED 照明：プレゼンテーションモード	無効	PWRLDC0	4-8
	低	PWRLDC100	4-8
	* 大	PWRLDC150	4-8
デコード後のプレゼンテーション LED の動作	* LED 有効	TRGPCK1	4-8
	LED 無効	TRGPCK0	4-8
プレゼンテーション感度	0-20 (*1)	TRGPMS##	4-8
プレゼンテーションセンタリングウィンドウ	プレゼンテーションセンタリング 有効	PDCWIN1	4-9
	* プレセンテーションセンタリング 無効	PDCWIN0	4-9
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 左 (*40%)	PDCLFT###	4-10
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 右 (*60%)	PDCRGTT###	4-10
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 上 (*40%)	PDCTOP###	4-9
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 下 (*60%)	PDCBOT###	4-10
スタンド使用時のセンサーモード	センサー 有効	TRGSSW1	4-10
	センサー 無効	TRGSSW0	4-10
CodeGate®	* スタンド不使用時 CodeGate 無効	AOSCGD0.	4-10
	スタンド不使用時 CodeGate 有効	AOSCGD1.	4-11
ストリーミングプレゼンテーションモード	ストリーミングプレゼンテーションモード 標準	PAPSPN	4-11
	ストリーミングプレゼンテーションモード 強化	PAPSPE	4-11
携帯端末読み取りモード	手持ち読み取り 携帯端末	PAPHHC	4-11
	ハンズフリー読み取り 携帯端末	PAPSPC	4-11
ハンズフリータイムアウト	0 - 300,000 ミリ秒	TRGPTO#####	4-12
再読み取りディレイ	短 (500 ミリ秒)	DLYRRD500	4-12
	* 中 (750 ミリ秒)	DLYRRD750	4-12
	長 (1000 ミリ秒)	DLYRRD1000	4-12
	エクストラ (2000 ミリ秒)	DLYRRD2000	4-12
ユーザー定義	0 - 30,000 ミリ秒	DLYRRD#####	4-12

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
2D 読み取りディレイ	* 2 D 再読み取りディレイ無効	DLY2RR0	4-13
	短 (1000 ミリ秒)	DLY2RR1000	4-13
	中 (2000 ミリ秒)	DLY2RR2000	4-13
	長 (3000 ミリ秒)	DLY2RR3000	4-13
	エクストラ (4000 ミリ秒)	DLY2RR4000	4-13
キャラクタ有効化モード	* 無効	HSTCEN0	4-13
	有効	HSTCEN1	4-13
		HSTACH###	4-14
	* Do Not End Character Activation After Good Read (読み取り成功後の 終端文字ア有効化無効)	HSTCGD0	4-14
	読み取り成功後の終端文字のアク ティベーション	HSTCGD1	4-14
		HSTCDT#####	4-14
キャラクタ無効化モード	* Off	HSTDEN0	4-14
	On	HSTDEN1	4-14
		HSTDCH###	4-15
照明ライト	* Lights On	SCNLED1	4-15
	Lights Off	SCNLED0	4-15
エイマーディレイ	200 milliseconds	SCNDLY200	4-15
	400 milliseconds	SCNDLY400	4-15
	* Off (no delay)	SCNDLY0	4-15
ユーザー定義のエイマーディレイ	0 - 4,000 ミリ秒	SCNDLY####	4-16
エイマーモード (Granit1980i と 1981i には対応していません)	Off	SCNAIM0	4-16
	* インターレース	SCNAIM2	4-16
センタリングウィンドウ	センタリング 有効	DECWIN1	4-17
	* センタリング 無効	DECWIN0	4-17
	センタリングウィンドウ 左 (*40%)	DECLFT###	4-17
	センタリングウィンドウ 右 (*60%)	DECRGT###	4-18
	センタリングウィンドウ 上 (*40%)	DECTOP###	4-17
	センタリングウィンドウ 左 (*60%)	DECBOT###	4-17
優先シンボル	有効	PRFENA1	4-18
	* 無効	PRFENA0	4-18
	高優先度シンボル	PRFCOD##	4-18
	低優先度シンボル	PRFBLK##	4-19
	優先シンボルタイムアウト *500 ミリ秒 (範囲 100- 3000 ミリ 秒)	PRFPPT#####	4-19
	優先シンボルのデフォルト	PRFDFT	4-19
アウトプットシーケンスエディタ	シーケンスの入力	SEQBLK	4-21
	シーケンスのデフォルト	SEQDFT	4-21

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
パーティカルシーケンス	パーティカルシーケンスの送信	SEQTTS1	4-21
	* パーティカルシーケンスの破棄	SEQTTS0	4-21
アウトプットシーケンス要求	要求する	SEQ_EN2	4-22
	有効、要求しない	SEQ_EN1	4-22
	* 無効	SEQ_EN0	4-22
複数シンボル	有効	SHOTGN1	4-22
	* 無効	SHOTGN0	4-22
No Read	有効	SHWNRD1	4-22
	* 無効	SHWNRD0	4-22
ビデオリバース（反転コード）	反転コードのみ	VIDREV1	4-23
	反転および標準コード	VIDREV2	4-23
	* 反転バーコード 無効	VIDREV0	4-23
動作方向	* 正面	ROTATN0	4-24
	垂直、下から上（反時計回りに 90° 回転）	ROTATN1	4-24
	上下逆さ	ROTATN2	4-24
	垂直、上から下（時計回りに 90° 回転）	ROTATN3	4-24
ヘルスケア設定			
クワイエットオペレーション - コンビネーションコード	LED 点滅消音モード	beplfn5;beplfr50;beppar0;baspwr0;beppwr0;baslvl0;beplvl0	5-1
	長い LED 消音モード	beplfn0;beplfr10;beppar0;baspwr0;beppwr0;baslvl0;beplvl0;beplot1.	5-1
	超低ビーブ音（夜間モード）	beplfn0;beplfr10;beppar0;baspwr0;beppwr1;baslvl1;beplvl1;bepbip1;beplFQ14200;beplot0.	5-1
	低ビーブ音（昼間モード）	beplfn0;beplfr10;beppar1;baspwr1;beppwr1;baslvl1;beplvl1;bepbip0;beplFQ12700;beplot0.	5-2
一時的ストリーミングプレゼンテーションモード	* 一時的ストリーミングプレゼンテーションモード 有効	BEPPGE2	5-2
	*10 秒でタイムアウト	TRGTPM10000	5-2
	60 秒でタイムアウト	TRGTPM60000	5-3
クワイエットオペレーション - LED 及び音量設定			
LED の色と音のリンク	* 緑色 LED フラッシュ / 音	BEPPAR1	5-3
	赤色 LED 点灯 / 消音	BEPPAR0	5-3
LED 点滅回数	*1 回 LED 点滅	BEPLFN0	5-3
	5 回 LED 点滅	BEPLFN5	5-3
	10 回 LED 点滅	BEPLFN10	5-3
	25 回 LED 点滅	BEPLFN25	5-3
LED 点滅間隔	* 高速点滅	BEPLFR50	5-4
	中速点滅	BEPLFR250	5-4
	低速点滅	BEPLFR500	5-4

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
LED 固定（フラッシュなし）	*LED 固定 無効	BEPL0T0	5-4
	LED 固定、1 秒	BEPL0T1	5-4
	LED 固定、3 秒	BEPL0T3	5-4
	LED 固定、5 秒	BEPL0T5	5-4
呼び出し音制御	呼び出し音 無効	BEPPGV0	5-4
	* 呼び出し音 低	BEPPGV1	5-5
	呼び出し音 中	BEPPGV2	5-5
	呼び出し音 高	BEPPGV3	5-5
通信範囲外警告	ベース警告音 無効	BASORV0	5-5
	スキャナ警告音 無効	BT_ORV0	5-5
	* ベース警告音 低	BASORV1	5-5
	* スキャナ警告音 低	BT_ORV1	5-5
	ベース警告音 中	BASORV2	5-5
	スキャナ警告音 中	BT_ORV2	5-5
	ベース警告音 高	BASORV3	5-6
	スキャナ警告音 高	BT_ORV3	5-6
通信範囲外ディレイ	通信範囲外ディレイ (*0 ディレイなし) 0-3000 ミリ秒	BT_ORY####	5-6
プリフィックス/サフィックスの設定			
すべてのシンボルに CR サフィックスを付加		VSUFCR	6-2
プリフィックス	プリフィックスの追加	PREBK2##	6-2
	1 つのプリフィックスを削除	PRECL2	6-2
	すべてのプリフィックスを削除	PRECA2	6-2
サフィックス	サフィックスの追加	SUFBK2##	6-2
	1 つのサフィックスを削除	SUFCL2	6-2
	すべてのサフィックスを削除	SUFCA2	6-2
ファンクションコード送信	* 有効	RMVFNC0	6-3
	無効	RMVFNC1	6-3
キャラクタ間ディレイ	0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYCHR##	6-3
ユーザー定義 キャラクタ間ディレイ	ディレイ長 0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYCRX##	6-4
	ユーザー定義のキャラクタ間ディレイ	DLY_XX##	6-4
ファンクション間ディレイ	0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYFNC##	6-4
メッセージ間ディレイ	0 - 1000 ミリ秒 (5 ミリ秒ごとの設定)	DLYMSG##	6-4

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
データフォーマッターの設定			
データフォーマットエディタ	* データフォーマットの初期化 (なし)	DFMDF3	7-1
	データフォーマットの追加	DFMBK3##	7-2
	1 つのデータフォーマットの削除	DFMCL3	7-2
	すべてのデータフォーマットの削除	DFMCA3	7-2
データフォーマット	データフォーマッタ 無効	DFM_EN0	7-12
	* データフォーマッタ 有効、 要求しない プリフィクス / サフィックスあり	DFM_EN1	7-12
	データフォーマット要求する、 プリフィクス / サフィックスあり	DFM_EN2	7-12
	データフォーマット 有効、 要求しない プリフィクス / サフィックスなし	DFM_EN3	7-12
	データフォーマット要求する、 プリフィクス / サフィックスなし	DFM_EN4	7-12
データフォーマット非適合エラー ブザー	* データフォーマット非適合エ ラーブザー 有効	DFMDEC0	7-13
	データフォーマット非適合エラー ブザー 無効	DFMDEC1	7-13
基準・代用データフォーマット	基準データフォーマットの使用	ALTFNM0	7-13
	データフォーマット 1	ALTFNM1	7-13
	データフォーマット 2	ALTFNM2	7-13
	データフォーマット 3	ALTFNM3	7-13
データフォーマットの切り替え	基準データフォーマットへ切り替 え データフォーマット	VSAF_0	7-14
	データフォーマット 1 へ切り替え	VSAF_1	7-14
	データフォーマット 2 へ切り替え	VSAF_2	7-14
	データフォーマット 3 へ切り替え	VSAF_3	7-14
読み取りシンボル			
すべてのシンボル	すべてのシンボル 読み取り禁止	ALLENA0	8-1
	すべてのシンボル 読み取り許可	ALLENA1	8-1
Codabar	すべての設定を初期化	CBRDFT	8-2
	無効	CBRENA0	8-2
	* 有効	CBRENA1	8-2
Codabar スタート / ストップキャラ クタ	* 送信しない	CBRSSX0	8-2
	送信する	CBRSSX1	8-2
Codabar チェックキャラクタ	* チェックキャラクタなし	CBRCK20	8-2
	振動、送信しない	CBRCK21	8-2
	振動、送信	CBRCK22	8-2

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Codabar の連結	* 無効	CBRCCT0	8-3
	有効	CBRCCT1	8-3
	要求する	CBRCCT2	8-3
Codabar 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 60) *4	CBRMIN##	8-3
	最大読み取り桁数 (2 - 60) * 60	CBRMAX##	8-3
Code 39	すべての設定を初期化	C39DFT	8-4
	無効	C39ENA0	8-4
	* 有効	C39ENA1	8-4
Code 39 Start/Stop Char.	* 送信しない	C39SSX0	8-4
	送信する	C39SSX1	8-4
Code 39 Check Char.	* チェックキャラクタなし	C39CK20	8-4
	有効、送信しない	C39CK21	8-4
	有効、送信する	C39CK22	8-4
Code 39 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 48) *0	C39MIN##	8-5
	最大読み取り桁数 (0 - 48) * 48	C39MAX##	8-5
Code 39 の連結	* 無効	C39APP0	8-5
	有効	C39APP1	8-5
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	* 無効	C39B320	8-5
	有効	C39B321	8-5
Code 39 Full ASCII	* 無効	C39ASC0	8-6
	有効	C39ASC1	8-6
	Code 39 コードページ	C39DCP	8-6
Interleaved 2 of 5	すべての設定を初期化 2 of 5 Settings	I25DFT	8-7
	無効	I25ENA0	8-7
	* 有効	I25ENA1	8-7
Interleaved 2 of 5 チェックデジット	* チェックキャラクタなし	I25CK20	8-7
	有効、送信しない	I25CK21	8-7
	有効、送信する	I25CK22	8-7
Interleaved 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	I25MIN##	8-7
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	I25MAX##	8-7
NEC 2 of 5	すべての設定を初期化 2 of 5 Settings	N25DFT	8-8
	無効	N25ENA0	8-8
	* 有効	N25ENA1	8-8
NEC 2 of 5 チェックデジット	* チェックキャラクタなし	N25CK20	8-8
	有効、送信しない	N25CK21	8-8
	有効、送信する	N25CK22	8-8

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
NEC 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	N25MIN##	8-9
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	N25MAX##	8-9
Code 93	すべての設定を初期化	C93DFT	8-9
	無効	C93ENA0	8-9
	* 有効	C93ENA1	8-9
Code 93 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) *0	C93MIN##	8-9
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	C93MAX##	8-9
Code 93 連結	有効	C93APP1	8-10
	* 無効	C93APP0	8-10
Code 93 コードページ	Code 93 コードページ	C93DCP	8-10
Straight 2 of 5 Industrial (3 バース スタート / ストップ)	すべての設定を初期化	R25DFT	8-11
	* 無効	R25ENA0	8-11
	有効	R25ENA1	8-11
Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁 数	最小読み取り桁数 (1 - 48) *4	R25MIN##	8-11
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	R25MAX##	8-11
Straight 2 of 5 IATA	すべての設定を初期化 設定	A25DFT	8-12
Straight 2 of 5 IATA (2 バースタ ート / ストップ)	*Off	A25ENA0	8-12
	有効	A25ENA1	8-12
Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) *4	A25MIN##	8-12
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	A25MAX##	8-12
Matrix 2 of 5	すべての設定を初期化 設定	X25DFT	8-13
	* 無効	X25ENA0	8-13
	有効	X25ENA1	8-13
Matrix 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) *4	X25MIN##	8-13
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	X25MAX##	8-13
Code 11	すべての設定を初期化 設定	C11DFT	8-14
	* 無効	C11ENA0	8-14
	有効	C11ENA1	8-14
Code 11 チェックデジットの要求	1 チェックデジット	C11CK20	8-14
	*2 チェックデジット	C11CK21	8-14
Code 11 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) *4	C11MIN##	8-14
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	C11MAX##	8-14
Code 128	すべての設定を初期化 設定	128DFT	8-15
	無効	128ENA0	8-15
	* 有効	128ENA1	8-15
ISBT の連結	* 無効	ISBENA0	8-15
	有効	ISBENA1	8-15
Code 128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) *0	128MIN##	8-15
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	128MAX##	8-15

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Code 128 連結	* 有効	128APP1	8-16
	無効	128APP0	8-16
Code 128 コードページ	Code 128 コードページ (*2)	128DCP##	8-16
GS1-128	すべての設定を初期化	GS1DFT	8-17
	* 有効	GS1ENA1	8-17
	無効	GS1ENA0	8-17
GS1-128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) *1	GS1MIN##	8-17
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	GS1MAX##	8-17
Telepen	すべての設定を初期化 設定	TELDFT	8-18
	* 無効	TELENA0	8-18
	有効	TELENA1	8-18
Telepen 出力	*AIM Telepen 出力	TELOLD0	8-18
	オリジナル Telepen 出力	TELOLD1	8-18
Telepen 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 60) *1	TELMIN##	8-18
	最大読み取り桁数 (1 - 60) * 60	TELMAX##	8-18
UPC-A	すべての設定を初期化 UPC-A 設定	UPADFT	8-19
	無効	UPAENA0	8-19
	* 有効	UPAENA1	8-19
UPC-A チェックデジット	無効	UPACKX0	8-19
	* 有効	UPACKX1	8-19
UPC-A システム番号	無効	UPANSX0	8-19
	* 有効	UPANSX1	8-19
UPC-A 2 桁のアドオン	* 無効	UPAAD20	8-20
	有効	UPAAD21	8-20
UPC-A 5 桁のアドオン	* 無効	UPAAD50	8-20
	有効	UPAAD51	8-20
UPC-A アドオンの要求	* 要求しない	UPAARQ0	8-20
	要求する	UPAARQ1	8-20
UPC-A アドオン セパレータ	無効	UPAADS0	8-20
	* 有効	UPAADS1	8-20
拡張クーポンコード付き UPC-A/ EAN-13	* 無効	CPNENA0	8-21
	連結許可	CPNENA1	8-21
	連結必須	CPNENA2	8-21
クーポン GS1 データバー 出力	* GS1 出力 無効	CPNGS10	8-21
	GS1 出力 有効	CPNGS11	8-21
UPC-E0	すべての設定を初期化 設定	UPEDFT	8-22
	無効	UPEEN00	8-22
	* 有効	UPEEN01	8-22
UPC-E0 拡張	* 無効	UPEEXP0	8-22
	有効	UPEEXP1	8-22

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
UPC-E0 アドオンの要求	要求する	UPEARQ1	8-22
	* 要求しない	UPEARQ0	8-22
UPC-E0 アドオンセパレータ	* 有効	UPEADS1	8-23
	無効	UPEADS0	8-23
UPC-E0 チェックデジット	無効	UPECKX0	8-23
	* 有効	UPECKX1	8-23
UPC-E0 システム番号	無効	UPENSX0	8-23
	* 有効	UPENSX1	8-23
UPC-E0 アドオン	2 桁のアドオン 有効	UPEAD21	8-23
	* 2 桁のアドオン 無効	UPEAD20	8-23
	5 桁のアドオン 有効	UPEAD51	8-23
	* 5 桁のアドオン 無効	UPEAD50	8-23
UPC-E1	* 無効	UPEEN10	8-24
	有効	UPEEN11	8-24
EAN/JAN-13	すべての設定を初期化 JAN 設定	E13DFT	8-24
	無効	E13ENA0	8-24
	* 有効	E13ENA1	8-24
UPC-A から EAN-13 への変換	UPC-A から EAN-13 への変換	UPAENA0	8-24
	UPC-A の変換禁止	UPAENA1	8-24
EAN/JAN-13 チェックデジット	無効	E13CKX0	8-25
	* 有効	E13CKX1	8-25
EAN/JAN-13 2 桁のアドオン	2 桁のアドオン 有効	E13AD21	8-25
	* 2 桁のアドオン 無効	E13AD20	8-25
	5 桁のアドオン 有効	E13AD51	8-25
	* 5 桁のアドオン 無効	E13AD50	8-25
EAN/JAN-13 アドオンの要求	* 要求しない	E13ARQ0	8-25
	要求する	E13ARQ1	8-25
EAN/JAN-13 アドオン セパレータ	無効	E13ADS0	8-26
	* 有効	E13ADS1	8-26
ISBN 変換	* 無効	E13ISB0	8-26
	有効	E13ISB1	8-26
EAN/JAN-8	すべての設定を初期化 JAN 8 設定	EA8DFT	8-27
	無効	EA8ENA0	8-27
	* 有効	EA8ENA1	8-27
EAN/JAN-8 チェックデジット	無効	EA8CKX0	8-27
	* 有効	EA8CKX1	8-27
EAN/JAN-8 アドオン	* 2 桁のアドオン 無効	EA8AD20	8-27
	2 桁のアドオン 有効	EA8AD21	8-27
	* 5 桁のアドオン 無効	EA8AD50	8-27
	5 桁のアドオン 有効	EA8AD51	8-27

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
EAN/JAN-8 アドオンの要求	* 要求しない	EA8ARQ0	8-28
	要求する	EA8ARQ1	8-28
EAN/JAN-8 アドオン セパレータ	無効	EA8ADS0	8-28
	* 有効	EA8ADS1	8-28
MSI	すべての設定を初期化	MSIDFT	8-29
	* 無効	MSIENA0	8-29
	有効	MSIENA1	8-29
MSI チェックキャラクタ	* タイプ 10 有効、送信しない	MSICHK0	8-29
	タイプ 10 有効、 送信する	MSICHK1	8-29
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送 信しない	MSICHK2	8-29
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送 信する	MSICHK3	8-29
	タイプ 10、そしてタイプ 11 有効、 送信しない	MSICHK4	8-29
	タイプ 10、そしてタイプ 11 有効、 送信する	MSICHK5	8-30
	MSI チェックキャラクタ無効	MSICHK6	8-30
MSI 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (4 - 48) *4	MSIMIN##	8-30
	最大読み取り桁数 (4 - 48) *48	MSIMAX##	8-30
GS1 データバー標準型	すべての設定を初期化 GS1 データバー標準型設定	RSSDFT	8-31
	無効	RSSENA0	8-31
	* 有効	RSSENA1	8-31
GS1 データバー限定型	すべての設定を初期化	RSLDFT	8-31
	無効	RSLENA0	8-31
	* 有効	RSLENA1	8-31
GS1 DataBar 拡張型	すべての設定を初期化 拡張設定	RSEDFT	8-32
	無効	RSEENA0	8-32
	* 有効	RSEENA1	8-32
GS1 データバー 拡張型 読み取 り桁数長	最小読み取り桁数 (4 - 74) *4	RSEMIN##	8-32
	最大読み取り桁数 (4 - 74) *74	RSEMAX##	8-32
Trioptic Code	* 無効	TRIENA0	8-32
	有効	TRIENA1	8-32
Codablock A	すべての設定を初期化	CBADFT	8-33
	* 無効	CBAENA0	8-33
	有効	CBAENA1	8-33
Codablock A 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1 - 600) *1	CBAMIN###	8-33
	最大読み取り桁数 (1 - 600) *600	CBAMAX###	8-33
Codablock F	すべての設定を初期化	CBFDFT	8-34
	* 無効	CBFENA0	8-34
	有効	CBFENA1	8-34

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Codablock F 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1 - 2048) *1	CBFMIN####	8-34
	最大読み取り桁数 (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	8-34
ラベルコード	有効	LBLENA1	8-34
	* 無効	LBLENA0	8-34
PDF417	すべての設定を初期化	PDFDFT	8-35
	* 有効	PDFENA1	8-35
	無効	PDFENA0	8-35
MicroPDF417 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-2750) *1	PDFMIN####	8-35
	最大読み取り桁数 (1-2750) *2750	PDFMAX####	8-35
MacroPDF417	* 有効	PDFMAC1	8-36
	無効	PDFMAC0	8-36
MicroPDF417	すべての設定を初期化	MPDDFT	8-36
	有効	MPDENA1	8-36
	* 無効	MPDENA0	8-36
MicroPDF417 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-366) *1	MPDMIN###	8-36
	最大読み取り桁数 (1-366) *366	MPDMAX###	8-36
GS1 コンポジットシンボル	有効	COMENA1	8-36
	* 無効	COMENA0	8-36
UPC/EAN バージョン	有効	COMUPC1	8-37
	* 無効	COMUPC0	8-37
GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-2435) *1	COMMIN####	8-37
	最大読み取り桁数 (1-2435) *2435	COMMAX####	8-37
GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュレーション	EANEMU1	8-37
	GS1 データバーエミュレーション	EANEMU2	8-36
	GS1 コード拡張 無効	EANEMU3	8-38
	EAN8 から EAN13 へ変換	EANEMU4	8-38
	* GS1 エミュレーション 無効	EANEMU0	8-38
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	有効	T39ENA1	8-38
	* 無効	T39ENA0	8-38
QR コード	すべての設定を初期化	QRCDFT	8-38
	* 有効	QRCENA1	8-38
	無効	QRCENA0	8-38
QR コード 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-7089) *1	QRCMIN####	8-39
	最大読み取り桁数 (1-7089) *7089	QRCMAX####	8-39
QR コード 連結機能	* 有効	QRCAPP1	8-39
	無効	QRCAPP0	8-39
QR コード コードページ	QR コード コードページ (*3)	QRCDCP##	8-39
Data Matrix	すべての設定を初期化	IDMDFT	8-40
	* 有効	IDMENA1	8-40
	無効	IDMENA0	8-40
Data Matrix 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-3116) *1	IDMMIN####	8-40
	最大読み取り桁数 (1-3116) *3116	IDMMAX####	8-40

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Data Matrix 連結機能	* 有効	IDMAPP1	8-40
	無効	IDMAPP0	8-40
Data Matrix コードページ	Data Matrix コードページ (*51)	IDMDCP##	8-40
MaxiCode	すべての設定を初期化	MAXDFT	8-41
	有効	MAXENA1	8-41
	* 無効	MAXENA0	8-41
MaxiCode 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-150) *1	MAXMIN###	8-41
	最大読み取り桁数 (1-150) *150	MAXMAX###	8-41
Aztec コード	すべての設定を初期化	AZTDFT	8-42
	* 有効	AZTENA1	8-42
	無効	AZTENA0	8-42
Aztec コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-3832) *1	AZTMIN####	8-42
	最大読み取り桁数 (1-3832) *3832	AZTMAX####	8-42
Aztec 連結機能	* 有効	AZTAPP1	8-42
	無効	AZTAPP0	8-42
Aztec コードページ	Aztec コードページ (*51)	AZTDCP##	8-42
中国〒漢信 (Han Xin) コード	すべての設定を初期化	HX_DFT	8-43
	有効	HX_ENA1	8-43
	* 無効	HX_ENA0	8-43
中国郵便コード (漢信コード) 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (1-7833) *1	HX_MIN####	8-43
	最大読み取り桁数 (1-7833) *7833	HX_MAX####	8-43
2 次元郵便コード			
2 次元郵便コード (単独)	* 無効	POSTAL0	8-44
2 次元郵便コード (単独)	オーストラリア郵便 有効	POSTAL1	8-44
	英国郵便 有効	POSTAL7	8-44
	カナダ郵便 有効	POSTAL30	8-44
	インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL10	8-44
	日本郵便 有効	POSTAL3	8-44
	KIX 有効	POSTAL4	8-44
	Planet コード 有効	POSTAL5	8-44
	Postal-4i 有効	POSTAL9	8-44
	Postnet コード 有効	POSTAL6	8-45
	Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL11	8-45
	InfoMail 有効	POSTAL2	8-45

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
2 次元郵便コード（組み合わせ）	Infomail および英国郵便 有効	POSTAL8	8-45
	インテリジェント メールバーコード および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL20	8-45
	Postnet および Postal- 4i 有効	POSTAL14	8-45
	Postnet および インテリジェント メールバーコード 有効	POSTAL16	8-45
	Postal-4i および インテリジェント メールバーコード 有効	POSTAL17	8-45
	Postal-4i および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL19	8-45
	Planet および Postnet 有効	POSTAL12	8-45
	Planet および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL18	8-46
	Planet および Postal-4i 有効	POSTAL13	8-46
	Planet および インテリジェント メールバーコード 有効	POSTAL15	8-46
	Planet, Postnet, および Postal-4i 有効	POSTAL21	8-46
	Planet, Postnet, および インテリジェント メールバーコード 有効	POSTAL22	8-46
	Planet, Postal-4i, およびインテリジェント メールバーコード 有効	POSTAL23	8-46
2 次元郵便コード（組み合わせ） （続き）	Postnet, Postal-4i, およびインテリジェント メールバーコード 有効	POSTAL24	8-46
	Planet, Postal-4i, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL25	8-46
	Planet, インテリジェント メールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL26	8-46
	Postal-4i, インテリジェント メールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL27	8-46
	Planet, Postal-4i, インテリジェント メールバーコード, Postnet 有効	POSTAL28	8-47
	Planet, Postal-4i, インテリジェント メールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL29	8-46
Planet Code チェックデジット	送信する	PLNCKX1	8-47
	送信しない	PLNCKX0	8-47
Postnet チェックデジット	送信する	NETCKX1	8-47
	* 送信しない	NETCKX0	8-47
オーストラリア郵便	バー出力	AUSINT0	8-48
	数字 N テーブル	AUSINT1	8-48
	英数字 C テーブル	AUSINT2	8-48
	N および C の組み合わせ	AUSINT3	8-48

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
1 次元郵便コード			
中国郵便コード (香港 2 of 5)	すべての設定を初期化	CPCDFT	8-48
	* 無効	CPCENA0	8-48
	有効	CPCENA1	8-48
中国郵便コード (香港 2 of 5) 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	CPCMIN##	8-48
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *80	CPCMAX##	8-48
韓国郵便コード	すべての設定を初期化	KPCDFT	8-49
	* 無効	KPCENA0	8-49
	有効	KPCENA1	8-49
韓国郵便コード 読み取り桁数長	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	KPCMIN##	8-49
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *48	KPCMAX##	8-49
韓国郵便コード チェックデジット	送信チェックデジット	KPCCHK1	8-49
	* チェックデジットを送信しない	KPCCHK0	8-49
イメージングコマンド			
画像の撮影	すべての設定を初期化	IMGDFT	9-1
	撮影スタイル : Decoding Style	SNPSTY0	9-1
	* 撮影スタイル : Photo Style	SNPSTY1	9-1
	撮影スタイル : Manual Style	SNPSTY2	9-1
	ブザー 有効	SNPBEP1	9-1
	* ブザー 無効	SNPBEP0	9-1
	* すぐに画像を撮影する	SNPTRG0	9-2
	トリガーが引かれてから画像を撮影する	SNPTRG1	9-2
	* LED オフ	SNPLED0	9-2
	LED オン	SNPLED1	9-2
	露光 (1-7874 ミリ秒)	SNPEXP	9-2
	* ゲインなし	SNPGAN1	9-2
	ゲイン 中	SNPGAN2	9-2
	ゲイン 高	SNPGAN4	9-2
	ゲイン 最大	SNPGAN8	9-2
	ホワイト値 (0-255) * 125	SNPWHT###	9-3
	ホワイト値許容範囲 (0-255) * 25	SNPDEL###	9-3
	アップデートトライ (0-10) * 6	SNPTRY##	9-3
	ターゲットポイント比率 (1-99) * 50	SNPPCT##	9-3

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
画像の送信	* 無限遠フィルタ 無効	IMGINF0	9-4
	無限遠フィルタ 有効	IMGINF1	9-4
	* 圧縮 無効	IMGCOR0	9-4
	圧縮 有効	IMGCOR1	9-4
	* ピクセル濃度 8bit グレースケール画像	IMGBPP8	9-4
	ピクセル濃度 1bit 白黒画像	IMGBPP1	9-4
	* 画像をシャープにしない	IMGEDG0	9-5
	画像をシャープにする (0-23)	IMGEDG##	9-5
	* ファイル形式：JPEG	IMGFMT6	9-5
	ファイル形式：KIM	IMGFMT0	9-5
	ファイル形式：TIFF バイナリ	IMGFMT1	9-5
	ファイル形式：TIFF バイナリグループ 4 圧縮	IMGFMT2	9-5
	ファイル形式：TIFF グレースケール画像	IMGFMT3	9-5
	ファイル形式：無圧縮 バイナリ	IMGFMT4	9-5
	ファイル形式：無圧縮 グレースケール	IMGFMT5	9-5
	ファイル形式：BMP	IMGFMT8	9-5
	* ヒストグラム ストレッチなし	IMGHIS0	9-5
	ヒストグラム ストレッチあり	IMGHIS1	9-5
	* ノイズの低減 無効	IMGFSP0	9-6
	ノイズの低減 有効	IMGFSP1	9-6
(続き)	X 軸に対して画像を上下反転	IMGNVX1	9-6
	Y 軸に対して画像を左右反転	IMGNVY1	9-6
	画像の回転なし	IMGROT0	9-7
	画像を右に 90° 回転	IMGROT1	9-7
	画像を右に 180° 回転	IMGROT2	9-7
	画像を左に 90° 回転	IMGROT3	9-7
	JPEG 画像品質 (1-100) * 50	IMGJQF###	9-7
	* ガンマ補正 無効	IMGGAM0	9-7
	ガンマ補正 有効 (1-1000)	IMGGAM###	9-7
	画像の切り取り：左 (0-843) *0	IMGWNL###	9-8
	画像の切り取り：右 (0-843) *843	IMGWNR###	9-8
	画像の切り取り：上 (0-639) *0	IMGWNT###	9-8
	画像の切り取り：下 (0-639) *639	IMGWNB###	9-8
	画像の切り取り：余白 (1-238) *0	IMGMAR###	9-8
	プロトコルなし (生データ)	IMGXFR0	9-8
	プロトコルなし (USB 初期設定)	IMGXFR2	9-8
	プロトコル (Hmodem 圧縮)	IMGXFR3	9-8
	プロトコル (Hmodem)	IMGXFR4	9-8
	すべてのピクセルを送信	IMGSUB1	9-8

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
(続き)	2 ピクセルごとに送信	IMGSUB2	9-8
	3 ピクセルごとに送信	IMGSUB3	9-9
	* 文書画像フィルタ 無効	IMGUSH0	9-9
	文書画像フィルタ 有効 (0-255)	IMGUSH###	9-9
	* ヒストグラムを送信しない	IMGHST0	9-9
	ヒストグラムを送信する	IMGHST1	9-9
画像サイズの互換性	VGA 解像度の強制	IMGVGA1	9-10
	* 元の画像解像度	IMGVGA0	9-10
署名の取り込み	最適化 有効	DECBND1	9-10
	* 最適化 無効	DECBND0	9-10
ユーティリティ			
コード ID の追加すべての体系へテストコード ID を追加		PRECA2,BK2995C80!	11-1
デコーダーの改訂情報を表示		REV_DR	11-1
ドライバの改訂情報を表示		REV_SD	11-1
ソフトウェアの改訂情報を表示		REVINF	11-1
データフォーマット オの表示		DFMBK3?	11-1
テストメニュー	有効	TSTMNU1	11-2
	* 無効	TSTMNU0	11-2
プラグインアプリケーション	* デコードアプリアン	PLGDCE1	11-2
	デコードアプリアン	PLGDCE0	11-2
	* (フォーマットアプリアン	PLGFOE1	11-2
	フォーマットアプリアン	PLGFOE0	11-2
	アプリアンの表示	PLGINF	11-2
初期設定の再設定	カスタムデフォルトの削除	DEFOVR	11-4
	デフォルトの有効化	DEFAULT	11-4

製品仕様

Xenon 1900/1910 スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	16cm（6.2 インチ） 10.41cm（5.3 インチ） 7.11cm（6.2 インチ） 147.42g（5.2 オンス）
照明 LED ピーク時波長	624nm ± 18nm（赤色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” 442nm, 552nm（白色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時レーザー波長 ピーク時 LED 波長 レーザー光学電力	650nm IEC 60825-1:“Class 2” 624nm ± 18nm（赤色 LED） 520nm ± 18nm（緑色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” ＜1mW
イメージサイズ	838 x 640 ピクセル
スキュー角度	±65°
ピッチ角度	±45°
移動読み取り ストリーミングプレゼンテーショントリガー	609.6cm/秒（0.331mm UPC バーコード読み取り時）
印字コントラスト	グレード 1.0（20% 以上）
電圧条件	4 - 5.5VDC（入力コネクタ）
電流引き込み（5VDC） モノクロ カラー	読み取り時待機時 470mA, 2.35W 90mA, .45W 490mA, 2.45W 90mA, .45W
電力供給ノイズ除去	最大 100mV（最大振幅），10 - 100 kHz
温度範囲 動作時 保存時	0° °C ~ 50° °C -40° °C ~ 70° °C
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	23 °C時 1.8m（6 フィート）からコンクリート面に 50 回落下して動作すること
耐振動	22 ~ 300Hz で最大 5G に耐えること
ESD 耐性	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV

Xenon 1902/1912 スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	16cm（6.2 インチ） 10.41cm（5.3 インチ） 7.11cm（6.2 インチ） 212.62g（7.5 オンス）
照明 LED ピーク時波長	624nm ± 18nm（赤色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” 442nm, 552nm（白色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時レーザー波長 ピーク時 LED 波長 レーザー光学電力	650nm IEC 60825-1:“Class 2” 624nm ± 18nm（赤色 LED） 520nm ± 18nm（緑色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group” ＜1mW
イメージサイズ	838 x 640 ピクセル
スキュア角度	±65°
ピッチ角度	±45°
移動読み取り ストリーミングプレゼンテーショントリガー	609.6cm/ 秒（0.331mm UPC バーコード読み取り時）
印字コントラスト	グレード 1.0（20% 以上）
バッテリー リチウムイオン 読み取り回数 想定動作時間 想定充電時間	2400mAh（最小） 1 回の完全充電で 5 万回 14 時間 4.5 時間
無線 周波数 範囲 データレート	2.4 - 2.5 GHz（ISM バンド） FH 方式 Bluetooth V2.1 10m（標準） 1Mbps まで
温度範囲 動作時 保存時 ※ バッテリーあり 保存時 バッテリーなし	0° °C ～ 45° °C -20° °C ～ 35° °C で 90 日まで -20° °C ～ 20° °C で 365 日まで -40° °C ～ 70° °C
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	23 °C 時 1.8m（6 フィート）からコンクリート面に 50 回落下に耐えること
耐振動	22 ～ 300Hz で最大 5G に耐えること
耐静電気	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV
防塵・防滴シールド	IP41

※ 保存温度範囲外の温度で保存した場合、バッテリーの寿命に有害な影響をもたらす可能性があります。

Granit 1910i スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	195.6mm（7.7 インチ） 132.1mm（5.2 インチ） 73.7mm（2.9 インチ） 300g
照明 LED ピーク時波長	624nm ± 18nm（赤色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時レーザー波長 レーザー光学電力	650nm IEC 60825-1:“Class 2” <1mW
イメージサイズ	838 x 640 ピクセル
スキャナ角度	±65°
ピッチ角度	±45°
移動読み取り ストリーミングプレゼンテーショントリガー 0.331mm UPC バーコード読み取り時	609.6cm/ 秒 16.5cm 381cm/ 秒 25.4cm
印字コントラスト	グレード 1.0（20% 以上）
電圧条件	4 - 5.5VDC（入力コネクタ）
電流引き込み（5VDC）	読み取り時待機時 470mA, 2.35W 100mA, .5W
電源ノイズ防止	ピークピークで 100mV 以下、10 ～ 100kHz
温度範囲： 動作時 保存時	-30° C ～ 50° °C -40° C ～ 70° °C
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	2m（6.5 フィート）からコンクリート面に 50 回落下 23°、-30°、および 50°
耐振動	MIL-STD-810G, Method 514.6, Annex C 準拠
ESD 耐性	直接空気の場合、20kV 間接的結合面の場合、8kV
防塵・防滴シールド	IP65

Granit 1911i スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値） 高さ 長さ 幅 重量	195.6mm（7.7 インチ） 132.1mm（5.2 インチ） 73.7mm（2.9 インチ） 390g
照明 LED ピーク時波長	624nm ± 18nm（赤色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時レーザー波長 レーザー光学電力	650nm IEC 60825-1:“Class 2” <1mW
イメージサイズ	838 x 640 ピクセル
スキャン角度	±65°
ピッチ角度	±45°
移動読み取り ストリーミングプレゼンテーショントリガー 0.331mm UPC バーコード読み取り時	609.6cm/ 秒 16.5cm 381cm/ 秒 25.4cm
印字コントラスト	グレード 1.0（20% 以上）
バッテリー リチウムイオン 読み取り回数 想定動作時間 充電時間	1800mAh（最小） 1 回の完全充電で 5 万回 14 4.5 時間
無線 周波数 範囲 データレート	2.4 - 2.5 GHz（ISM バンド） FH 方式 Bluetooth V2.1 100m（標準） 1MBps まで
温度範囲 動作時 非充電中 動作時 充電中 保存時 ※ バッテリーあり 保存時 バッテリーなし	-20° C ～ 50° C 5° C ～ 40° C -20° C ～ 35° °C で 90 日まで -20° C ～ 20° °C で 365 日まで -40° C ～ 70° °C
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	2m（6.5 フィート）からコンクリート面に 50 回落下 23°、-30°、および 50°
耐振動	MIL-STD-810G, Method 514.6, Annex C 準拠
耐静電気	直接空気の場合、20kV 間接的結合面の場合、8kV
防塵・防滴シールド	IP65

※ 保存温度範囲外の温度で保存した場合、バッテリーの寿命に有害な影響をもたらす可能性があります。

Granit 1980i スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	195.6mm（7.7 インチ） 132.1mm（5.2 インチ） 73.7mm（2.9 インチ） 335g
照明 LED ピーク時波長	617nm ± 18nm（琥珀色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時レーザー波長 レーザー光学電力	650nm IEC 60825-1:“Class 2” <1mW
イメージサイズ	1280 x 800 ピクセル
スキャン角度	±80° 標準、200 lux、EAN/UPC
ピッチ角度	±70° 標準、200 lux、EAN/UPC
移動読み取り	スキャナから 20.32cm の距離から 13 mil UPC/EAN バーコードで標準で 76.2 c m / 秒
印字コントラスト	1D コード 30% 以上（標準、200 lux、0.331mm） 2D コード 40% 以上（標準、200 lux、0.508mm）
電圧条件	4 - 5.5VDC（入力コネクタ）
電流引き込み（5VDC）	読み取り時待機時 470mA, 2.35W 100mA, 0.5W
電源ノイズ防止	ピークピークで 100mV 以下、10 ～ 100kHz
温度範囲： 動作時 保存時	-30° C ～ 50° °C -40° C ～ 70° °C
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	2m（6.5 フィート）からコンクリート面に 50 回落下 23°、-30°、および 50°
耐振動	MIL-STD-810G, Method 514.6, Annex C 準拠
ESD 耐性	直接空気の場合、20kV 間接的結合面の場合、8kV
防塵・防滴シールド	IP65

Granit 1981i スキャナ製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	195.6mm（7.7 インチ） 132.1mm（5.2 インチ） 73.7mm（2.9 インチ） 420g
照明 LED ピーク時波長	617nm ± 18nm（琥珀色 LED） IEC 62471:“Exempt Risk Group”
エイミング ピーク時レーザー波長 レーザー光学電力	650nm IEC 60825-1:“Class 2” <1mW
イメージサイズ	1280 x 800 ピクセル
スキャン角度	±80° 標準、200 lux、EAN/UPC
ピッチ角度	±70° 標準、200 lux、EAN/UPC
移動読み取り	スキャナから 20.32cm の距離から 13 mil UPC/EAN バーコードで標準で 76.2 c m / 秒
印字コントラスト	1D コード 30% 以上（標準、200 lux、0.331mm） 2D コード 40% 以上（標準、200 lux、0.508mm）
バッテリー リチウムイオン 読み取り回数 想定動作時間 充電時間	1800mAh（最小） 7200 スキャン（8 時間で 4 秒に 1 回スキャン） 8 4.5 時間
無線 周波数 範囲 データレート	2.4 - 2.5 GHz（ISM バンド） FH 方式 Bluetooth V2.1 100m（標準） 1MBps まで
温度範囲： 動作時 非充電中 動作時 充電中 保存時 ※ バッテリーあり 保存時 バッテリーなし	-20° C ～ 50° C 5° C ～ 40° C -20° C ～ 35° C で 90 日まで -20° C ～ 20° C で 365 日まで -40° C ～ 70° C
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	2m（6.5 フィート）からコンクリート面に 50 回落下 23°、-30°、および 50°
耐振動	MIL-STD-810G, Method 514.6, Annex C 準拠
耐静電気	直接空気の場合、20kV 間接的結合面の場合、8kV
防塵・防滴シールド	IP65

※ 保存温度範囲外の温度で保存した場合、バッテリーの寿命に有害な影響をもたらす可能性があります。

CCB01-010BT チャージャーベース製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	81.3mm（3.2 インチ） 131.8mm（3.2 インチ） 101.1mm（3.2 インチ） 6.3 oz（179g）
電圧	4.5 - 5.5V
電流引き込み ホストターミナルポート AUX（補助）電力ポート	500mA 1A
充電時間	5 時間
無線 周波数 範囲 データレート	2.4 - 2.5 GHz（ISM バンド） FH 方式 Bluetooth V2.1 10m（標準） 1MBps まで
温度範囲： 動作時 充電中 保存時 バッテリなし	0° C ～ 50° °C 5° C ～ 40° °C -40° C ～ 70° °C
湿度	0 - 95%（結露無きこと）
耐落下	1m（3.28 フィート）からコンクリート面に 50 回落下して動作すること
耐振動	22 - 300Hz 5G ピークに耐えること
耐静電気	直接空気の場合、15kV 間接的結合面の場合、8kV

CCB02-100BT/CCB05-100BT チャージャーホームベース製品仕様

項目	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	66mm（2.6 インチ） 248.9mm（9.8 インチ） 102.9cm（4.05 インチ） 285g
電圧	4.5 - 5.5V
電流引き込み ホストターミナルポート AUX（補助）電力ポート	500mA 1A
充電時間	5 時間
無線 周波数 範囲 データレート	2.4 - 2.5 GHz（ISM バンド） FH 方式 Bluetooth V2.1 100m（標準） 1MBps まで

項目 (Continued)	仕様
温度範囲 : 動作時 充電中 保存時 バッテリなし	-20° C ~ 50° °C 5° C ~ 40° °C -40° C ~ 70° °C
湿度	0 - 95% (結露無きこと)
耐落下	1.2m (3.28 フィート) からコンクリート面に 50 回落下して動作すること
耐振動	MIL-STD-810G, Method 514.6, Annex C 準拠
耐静電気	直接空気の場合、20kV 間接的結合面の場合、8kV

読取深度

Xenon B&W スキャナ標準性能

焦点		HD (高分解能)		SR (標準レンジ)		ER (拡張レンジ)	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離	近距離	遠距離
0.127mm Code39	インチ	.2	3.8	1.6	5.3	3.7	8
	mm	5.1	96.5	40.6	134.6	94	203.2
0.331mm UPC	インチ	.5	6.5	.3	16.7	1	20.7
	mm	12.7	165.1	7.6	424.2	25.4	525.8
0.508mm Code39	インチ	.6	8.6	.4	24.6	1	23.5
	mm	15.2	218.4	10.2	624.8	25.4	596.9
0.171mm PDF417	インチ	.4	4	.7	6	2.8	9.2
	mm	10.2	101.6	17.8	152.4	71.1	233.7
0.254mm Data Matrix	インチ	.3	4.2	.8	7	2.5	11.3
	mm	7.6	106.7	20.3	177.8	63.5	287
0.508mm QR コード	インチ	.7	7	.5	14.8	.7	19
	mm	17.8	177.8	12.7	375.9	17.8	482.6
解像度 : 1D, Code39		0.076mm (3 ミル)		0.127mm (5 ミル)		0.127mm (5 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		0.127mm (5 ミル)		0.170mm (6.7 ミル)		0.191mm (7.5 ミル)	

Xenon B&W スキャナ保証性能

焦点		HD (高分解能)		SR (標準レンジ)		ER (拡張レンジ)	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離	近距離	遠距離
0.127mm Code39	インチ	.3	3.3	2.1	5.1	4.2	7.8
	mm	7.62	83.8	53.3	129.5	106.7	198.1
0.331mm UPC	インチ	.7	6.1	.4	15.6	1.1	19.7
	mm	17.8	154.9	10.2	396.2	27.9	500.4
0.508mm Code39	インチ	.7	7.8	.5	20.2	1.5	25
	mm	17.8	198.1	12.7	513.1	38.1	635
0.171mm PDF417	インチ	.5	3.8	.9	5.8	3.3	8.7
	mm	12.7	96.5	22.9	147.3	83.8	221
0.254mm Data Matrix	インチ	.4	3.8	.9	6.6	3.4	10.3
	mm	10.2	96.5	22.9	167.6	86.4	261.6
0.508mm QR コード	インチ	1.2	6.4	.7	13	.9	18
	mm	30.5	162.6	17.8	330.2	22.9	457.2
解像度 : 1D, Code39		0.076mm (3 ミル)		0.127mm (5 ミル)		0.127mm (5 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		0.127mm (5 ミル)		0.170mm (6.7 ミル)		0.191mm (7.5 ミル)	

Xenon カラースキャナ (モデル COL) 標準性能

焦点		HD (高分解能)		SR (標準レンジ)	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離
0.127mm Code39	インチ	0	3.6	1.1	5.2
	mm	0	91.4	27.9	132.1
0.331mm UPC	インチ	.4	5.9	.4	16.2
	mm	10.2	149.9	10.2	411.5
0.508mm Code39	インチ	.4	8.4	.5	22
	mm	10.2	213.4	12.7	558.8
0.171mm PDF417	インチ	0	3.8	.4	6
	mm	0	96.5	10.2	152.4
0.254mm Data Matrix	インチ	0	4.2	.5	7
	mm	0	106.7	12.7	177.8
0.508mm QR コード	インチ	.4	6.8	.6	13.4
	mm	10.2	172.7	15.2	340.4
解像度 : 1D, Code39		0.076mm (3 ミル)		0.127mm (5 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		0.127mm (5 ミル)		0.170mm (6.7 ミル)	

Xenon カラースキャナ (モデル COL) 保証性能

焦点		HD (高分解能)		SR (標準レンジ)	
シンボル		近距離	遠距離	近距離	遠距離
0.127mm Code39	インチ	0	3.3	1.7	4.9
	mm	0	83.8	43.2	124.5
0.331mm UPC	インチ	.6	5.2	.4	14.5
	mm	15.2	132.1	10.2	368.3
0.508mm Code39	インチ	.5	7.4	.5	17.5
	mm	12.7	188	12.7	444.5
0.171mm PDF417	インチ	0	3.4	.5	5.7
	mm	0	86.4	12.7	144.8
0.254mm Data Matrix	インチ	0	4	.8	6.4
	mm	0	101.6	20.3	162.6
0.508mm QR コード	インチ	.7	6.2	.7	12.3
	mm	17.8	157.5	17.8	312.4
解像度 : 1D, Code39		0.076mm (3 ミル)		0.127mm (5 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		0.127mm (5 ミル)		0.170mm (6.7 ミル)	

Granit 1910i/1911i スキャナ標準性能

焦点		ER (拡張レンジ)	
シンボル		近距離	遠距離
0.127mm Code39	インチ	3.6	7.4
	mm	91.4	188
0.508mm Code39	インチ	.6	29.5
	mm	15.2	749.3
100% UPC	インチ	.6	21.4
	mm	15.2	543.6
0.171mm PDF417	インチ	2.7	8.9
	mm	68.6	226.1
0.254mm Data Matrix	インチ	2.8	10.3
	mm	71.1	261.6
0.508mm QR コード	インチ	.8	19.5
	mm	20.3	495.3
解像度 : 1D, Code39		0.127mm (5 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		0.191mm (7.5 ミル)	

Granit 1910i/1911i スキャナ保証性能

焦点		ER (拡張レンジ)	
シンボル		近距離	遠距離
0.127mm Code39	インチ	3.8	7.2
	mm	96.5	182.9
0.508mm Code39	インチ	1	28.7
	mm	25.4	729
100% UPC	インチ	.6	21.7
	mm	15.2	551.2
0.171mm PDF417	インチ	3	8.5
	mm	76.2	215.9
0.254mm Data Matrix	インチ	3.1	9.7
	mm	78.7	246.4
0.508mm QR コード	インチ	.9	19.8
	mm	22.9	502.9
解像度 : 1D, Code39		0.127mm (5 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		0.191mm (7.5 ミル)	

Granit 1980i/1981i スキャナ標準性能 (200 lux)

焦点		FR (フルレンジ)	
シンボル		近距離	遠距離
0.191m Code 39	インチ	3.9	65.7
	cm	10.0	166.8
0.254mm Code 39	インチ	3.9	85.8
	cm	10.0	218.0
0.508mm Code 39	インチ	6.0	172.8
	cm	15.2	439.0
1.02mm Code 39	インチ	14.2	392.9
	cm	36.0	997.9
1.4mm Code 39	インチ	20.0	528.5
	cm	50.9	1342.3
2.54mm Code 39	インチ	36.4	629.9 以上
	cm	92.5	1600.0 以上
100% UPC	インチ	4.8	91.9
	cm	12.2	233.4
0.191mm Data Matrix	インチ	3.9	30.4
	cm	10.0	77.2
0.254mm Data Matrix	インチ	3.9	41.5
	cm	10.0	105.3
1.4mm Data Matrix	インチ	16.1	235.9
	cm	40.8	599.1
2.54mm Data Matrix	インチ	32.0	415.8
	cm	81.4	1056.1
解像度 : 1D, Code39		051mm (2 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		051mm (2 ミル)	

Granit 1980i/1981i スキャナ保証性能 (200 lux)

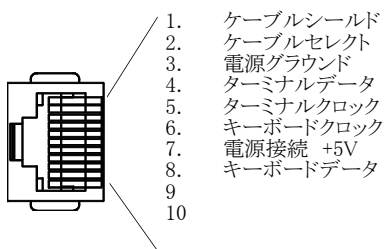
焦点		FR (フルレンジ)	
シンボル		近距離	遠距離
0.191mm Code 39	インチ	3.9	63.9
	cm	10.0	162.2
0.254mm Code 39	インチ	3.9	83.7
	cm	10.0	212.5
0.508mm Code 39	インチ	6.1	169.7
	cm	15.6	431.0
1.02mm Code 39	インチ	14.7	387.6
	cm	37.4	984.5
1.4mm Code 39	インチ	21.0	504.9
	cm	53.3	1282.4
2.54mm Code 39	インチ	36.9	629.9 以上
	cm	93.7	1600.0 以上
100% UPC	インチ	5.0	87.9
	cm	12.7	223.2
0.191mm Data Matrix	インチ	3.9	27.3
	cm	10.0	69.3
0.254mm Data Matrix	インチ	3.9	37.8
	cm	10.0	96.0
1.4mm Data Matrix	インチ	17.7	227.4
	cm	44.9	577.5
2.54mm Data Matrix	インチ	35.8	375.3
	cm	90.9	953.2
解像度 : 1D, Code39		051mm (2 ミル)	
解像度 : 2D, Data Matrix		051mm (2 ミル)	

標準ケーブルのピン配列

Note: ピン配列はハネウエルのレガシー製品と互換性がありません。不適切なピン配列のケーブルの使用は機器に損傷を与える可能性があります。メーカー提供のものではないケーブルの使用による損傷は保証対象となりません。

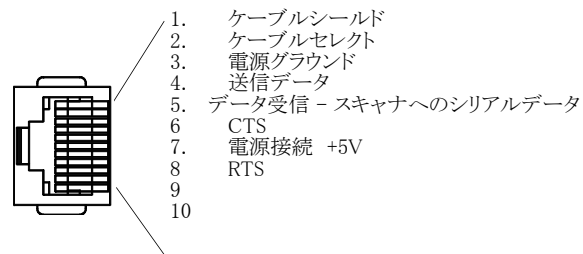
キーボードウェッジ

10 ピンの RJ41 モジュラープラグベースに接続



シリアル出力

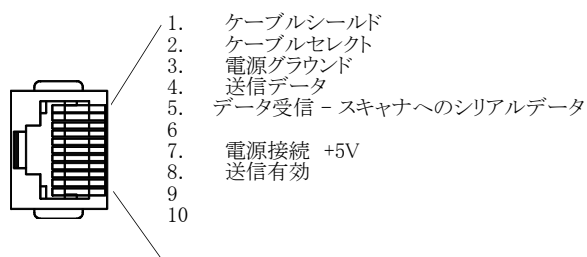
10 ピンの RJ41 モジュラープラグベースに接続



RS485 アウトプット

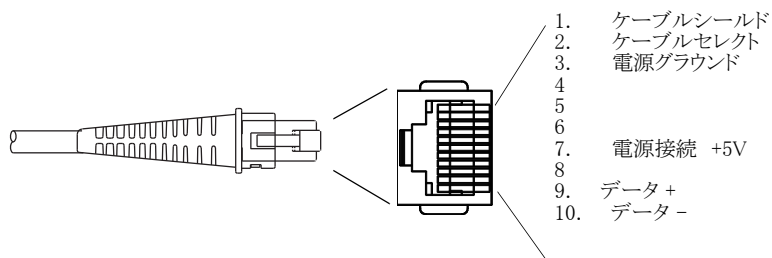
10 ピンの RJ41 モジュラープラグベースに接続

Note: RS485 信号変換はケーブルで行われます。



USB

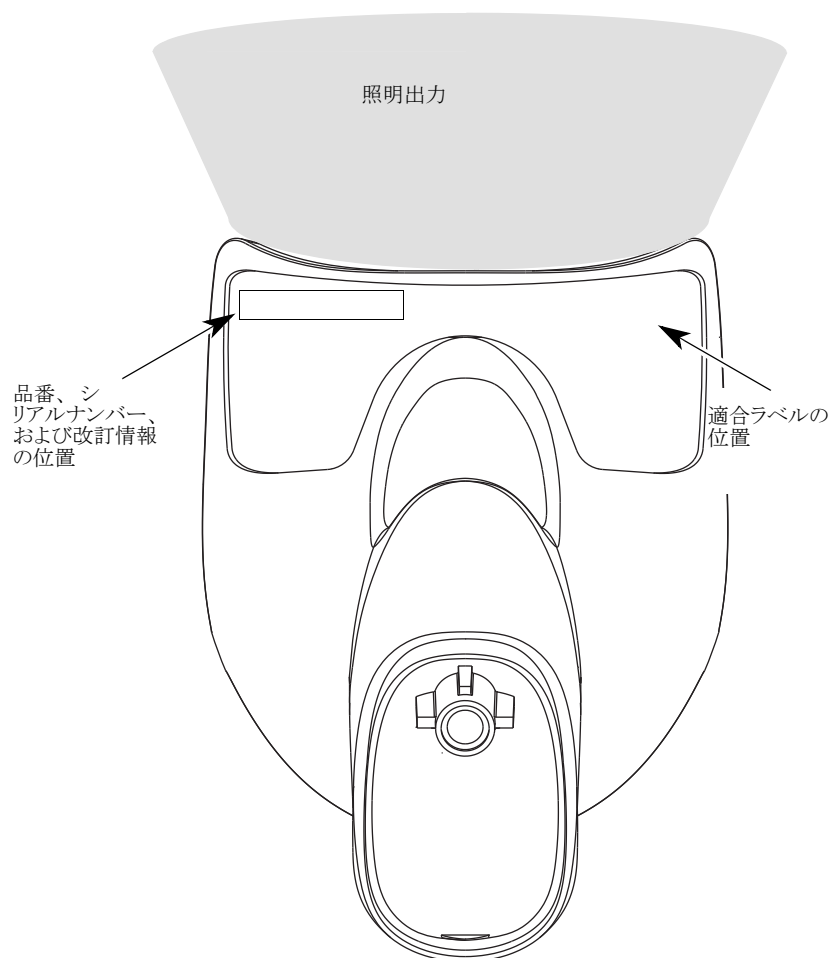
10 ピンのモジュラープラグベースに接続



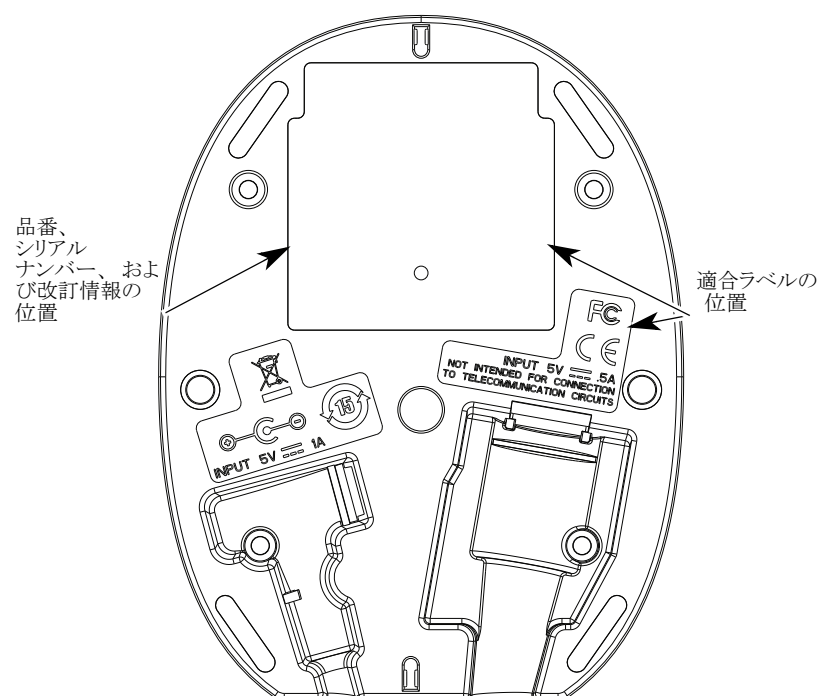
必要な安全ラベル

Xenon 1900/1910/1902/1912 スキャナ

LASER LIGHT- DO NOT STARE INTO BEAM CLASS 2 LASER PRODUCT.
照射光、請勿直接視察射光束、等級2照射產品、RAYONNEMENT LASER NE PAS
REGARDER DANS LE FAISCEAU, APPAREIL À LASER DE CLASSE 2. MAX. 1mW;
630-690 nm IEC 60825-1:2007. Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11,
except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated June 24, 2007.

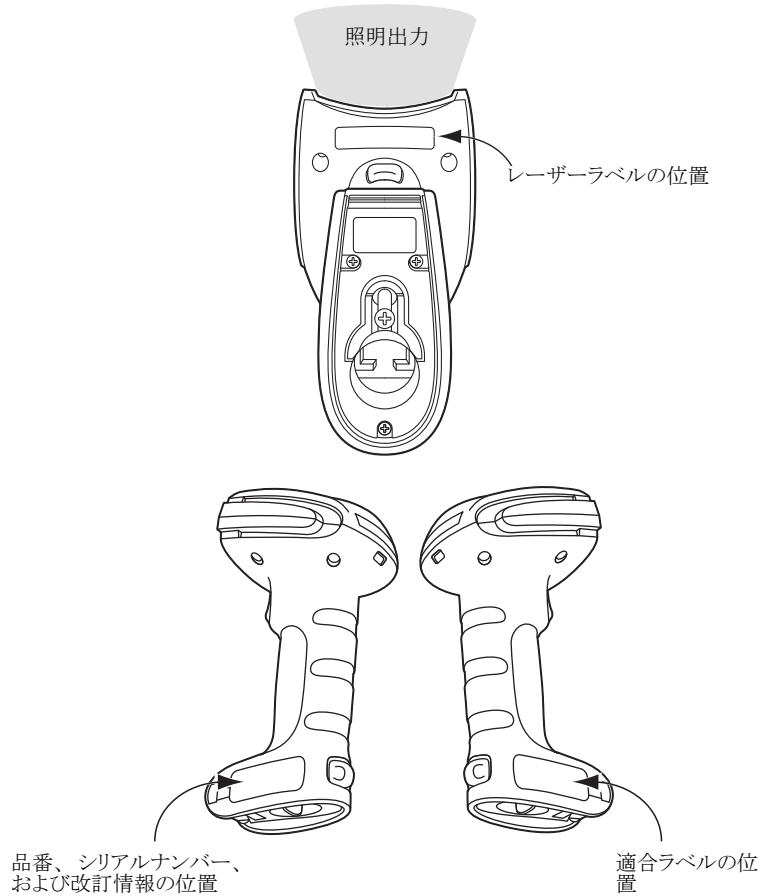


CCB01-010BT ベース

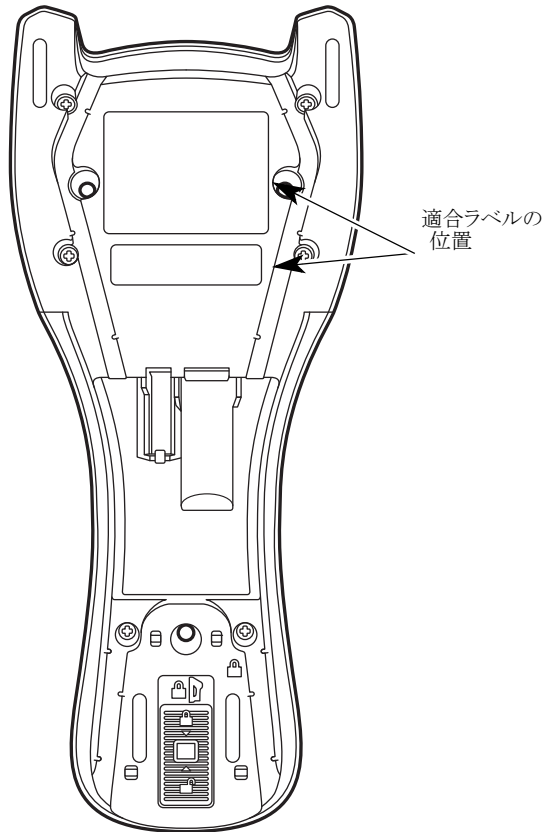


Granit 1910i/1911i/1980i/1981i スキャナ

LASER LIGHT- DO NOT STARE INTO BEAM CLASS 2 LASER PRODUCT.
照射光: 請勿直视雷射光束, 等級2雷射產品. RAYONNEMENT LASER NE PAS
REGARDER DANS LE FAISCEAU. APPAREIL À LASER DE CLASSE 2. MAX: 1mW.
630-680 nm IEC 60825-1:2007. Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11
except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated June 24, 2007.



CCB02-100BT/CCB05-100BT ベース



修理

修理、アップグレードはこの製品に付属しておりません。これらのサービスは、かならず正規のサービスセンターで受けてください（see [カスタマーサポート](#) on page 15-1）の『テクニカルサポート』を参照）。

保守

本機器は、最低限の手入力で確実に効率的な動作を提供します。特別な保守は不要ですが、以下の定期点検によって信頼性の高いスキヤナの動作を確保できます。

機器の清掃

スキヤナまたはベースの筐体が汚れている場合、柔らかい布やレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）で拭いてください。洗剤を使用する場合は、水だけで濡らしたきれいなレンズ用ティッシュで拭き取ってください。



警告

スキヤナを水に浸けないでください。スキヤナのハウジングに耐水性はありません。

研磨剤入りの布やティッシュを使用しないでください。窓を傷つけないでください。また、ハウジングや窓に溶剤（アルコール）には溶剤（アルコール）を絶対に使用しないでください。

ウィンドウの清掃

スキヤナのウィンドウの汚れが、スキヤナの読み取り性能を低下させる原因になる場合があります。スキヤナのウィンドウが明らかに汚れている、またはスキヤナが上手く動作していない場合は、後続の「ヘルスケアハウジングについて」に書かれている洗浄剤を使用してウィンドウを清掃してください。[ヘルスケアハウジング（殺菌洗浄可能ハウジング）について](#)、

ヘルスケアハウジング（殺菌洗浄可能ハウジング）について

Xenon シリーズには殺菌洗浄可能ハウジングオプションがあり、医療の現場で使用されている強力な化学物質に耐えるよう、外部のプラスチックハウジングを備えています。化学物質がハウジングをすり抜けて侵入しないよう、プラスチックが透明になっています。

重要！ 下記は、スキヤナの殺菌洗浄可能ハウジングの安全洗浄を試験・確証された洗剤の一覧です。このハウジングの洗浄を認められた洗剤は、下記一覧のみとなります。下記に記された洗剤以外の洗剤を使用することによってスキヤナが何らかのダメージを負った場合、そのダメージは保証対象外となりますのでご注意ください。

- ・ Sani-Cloth[®] HB wipes
- ・ Sani-Cloth[®] Plus wipes
- ・ Super Sani-Cloth[®] wipes
- ・ Isopropyl Alcohol wipes (70%)
- ・ CaviWipes[™]
- ・ Virex[®] 256
- ・ 409[®] Glass and Surface Cleaner
- ・ Windex[®] Blue
- ・ Clorox[®] Bleach - 10%
- ・ Gentle dish soap and water

ケーブルとコネクタの点検

傷みやその他損傷の痕跡が無いインターフェースケーブルとコネクタを点検してください。ケーブルがひどく傷んでいたりコネクタが損傷していると、スキャナの動作を妨げることがあります。ケーブル交換については、お問い合わせいただいた販売店にお問い合わせてください。ケーブルの交換手順は [page 14-2](#) に記載されています。

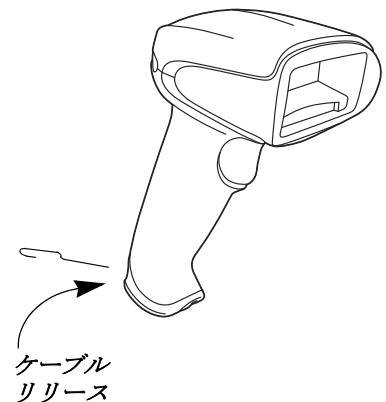
スキャナのインターフェースケーブルの交換

標準のインターフェースケーブルが 10 ピンのモジュラコネクタとともに付属しています。適切に設置された場合、コネクタはフレキシブルリテンションタブによってスキャナのハンドルに収まります。インターフェースケーブルは現場で交換できるように設計されています。

- ・ 交換用ケーブルはハネウェル社もしくは正規の販売店よりお求めください。
- ・ 交換用ケーブルご注文の際は、元々のインターフェースケーブルのケーブル部品番号をご指定ください。

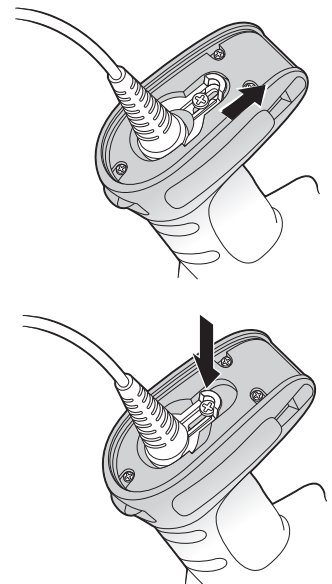
Xenon スキャナのインターフェースケーブルの交換

1. ホストシステムの電源を無効にします。
2. スキャナのケーブルをターミナルまたはコンピュータから外します。
3. スキャナのハンドルの裏側にある小さな穴を確認します。これがケーブルリリースです。
4. ペーパークリップの片方の先端をまっすぐにします。
5. 真っ直ぐにしたペーパークリップの先端を小さな穴に差し込んで押します。これがリテンションタブを押し、コネクタのロックが解除されます。ペーパークリップを押したままコネクタを引き抜き、その後クリップをはずします。
6. 新しいケーブルと交換します。
コネクタを穴に差し込んで確実に押します。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。



Granit スキャナのインターフェースケーブルの交換

1. ホストシステムの電源を無効にします。
2. スキャナのケーブルをターミナルまたはコンピュータから外します。
3. スキャナ底面のロッキングプレートのネジを外します。
4. コネクタからロッキングプレートをスライドさせ、スキャナからケーブルを引き抜きます。
5. 新しいケーブルと交換します。
コネクタを穴に差し込んで確実に押します。
6. コネクタのベース上にロッキングプレートをスライドさせてケーブルを固定し、プレートをネジで止めてください。



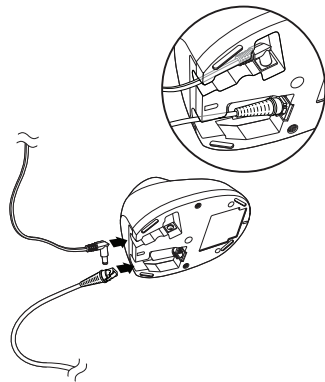
コードレスシステムのケーブルおよびバッテリーの交換

ベースユニットのインターフェースケーブルの交換

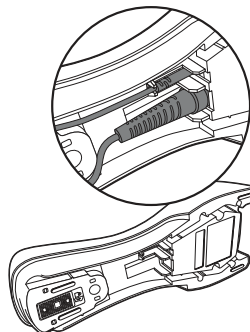
1. ホストシステムの電源をオフにします。
2. ベースユニットのケーブルをホストデバイスから外してください。
3. ベースユニットを裏返しにしてください。

4. ケーブルコネクタのリリースクリップを押しながら、ケーブルをゆっくりと引き抜いてください。

CCB01-010BT ベース :



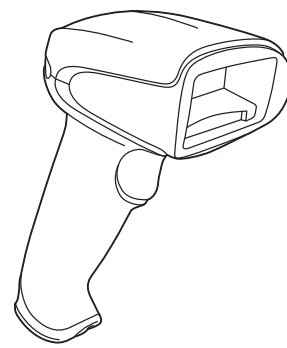
CCB02-100BT/CCB05-100BT ベース :



5. 新しいケーブルと交換します。
コネクタを穴に差し込んで確実に押します。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。

Xenon スキャナバッテリーの交換

1. スキャナのエンドキャップ（持ち手端部分）にあるネジを回し緩めてください。
2. エンドキャップ外し、バッテリーを持ち手部分からゆっくり引く抜いてください。
3. 新しいバッテリーを同じ箇所差し込んでください。
4. エンドキャップをかぶせ、スクリューを締めて下さい。

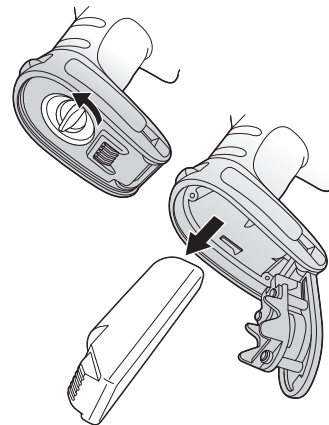


エンドキャップ

Granit スキャナバッテリーの交換

1. エンドキャップの底面にあるタブを回し、バッテリードアを開けてください。（初めの場合、バッテリードアがきつい場合があります。パイラーを使用しゆるくなるまでタブを回し、ドアを開けてください。）
2. ハンドルからバッテリーを取り出してください。
3. 新しいバッテリーを同じ箇所に差し込んでください。
4. バッテリードアを閉めタブがロックされるまで回してください。

Note: バッテリー交換中にスキャナを落とした場合、バッテリードアはヒンジから飛び出るように設計されています。この場合、そのまま元に戻してください。



スキャナのトラブルシューティング

電源を入れると、スキャナはその都度セルフテストを自動的に実行します。お使いのスキャナが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

電源が入っていますか？レーザーエイマーがオンになっていますか？

レーザーエイマーが示されない場合は、以下の点をチェックしてください。

- ・ ケーブルが正しく接続されているか。
- ・ ホストシステムの電源がオンになっているか。（外部電源を使用しない場合。）
- ・ ボタンが動作するか。

シンボルの読み取りでスキャナに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、スキャナウィンドウが汚れていないか、またシンボルについて以下の点をチェックしてください。

- ・ シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- ・ シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。
- ・ シンボルがスキャナ、またはスキャナが接続されているデコーダーで有効になっているか。

バーコードが表示されても入力されませんか？

バーコードはホスト機器で正常に表示されていますが、入力するためにはまだキーを押す必要があります。(Enter/Return キーや Tab キーなど。)

- ・ サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージはバーコードデータと必要なキー（「CR」など）を出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。詳細については[プレフィックス／サフィックスについて](#) on page 6-1 を参照してください。

スキャナがバーコードを間違って読み取っていませんか？

スキャナがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は

- ・ スキャナが適切なターミナルインタフェース用に設定されていない可能性があります。
例えば、「12345」を読み取っても、ホストは「@es%」と表示する場合など。

正しいプラグ & プレイバーコードまたはターミナル選択バーコードでスキャナを設定してください。[インターフェースの設定](#) beginning on page 2-1 を参照してください。

- ・ スキャナは、バーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。
例えば、「12345」を読み取ってもホストは「A12345B」と表示する場合など。

正しいシンボルを選択してイメージを再設定してください。[Chapter 8](#) を参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない。

1. 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。
お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください（[Chapter 8](#) を参照。）
2. それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、[すべてのシンボル 有効](#), page 8-1（すべてのシンボル 有効）を読み取ってください。

スキャナで設定されているプログラミングオプションが不明の場合、または出荷時初期設定を復元したい場合は、[初期設定の再設定](#) on page 11-5 を参照してください。

コードレスシステムのトラブルシューティング

ベースユニットのトラブルシューティング

Note: スキャナならびにベースユニットの最新ファームウェアについては、ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) のサービス&サポートセクションにアクセスください。

お使いのベースが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

赤色 LED ライトがつかますか。

赤色 LED ライトがつかない場合は、以下の点をご確認ください。

- ・ 電源ケーブルが正しく接続されており、電源に電気が投入されているか。
- ・ ホストシステムの電源がオンになっている。（外部電源を使用しない場合。）

緑色 LED ライトがつかますか。

緑色 LED ライトがつかない場合は、以下の点をご確認ください。

- ・ スキャナがベースにきちんと置かれているか。
- ・ 外部電源またはホストデバイスから 12V の電力が供給されているか。
- ・ 充電モードが有効になっているか。(See “ブザー・LED のシーケンスと意味” on page 3-5 ブザーおよび LED のシーケンスと意味を参照)
- ・ バッテリーに異常がないか、重度の充電不足ではないか。この場合は、スキャナの許容レベルまでバッテリートリクル充電を行い、その後、一般の充電サイクルに転じます。

コードレススキャナのトラブルシューティング

Note: スキャナのバッテリーが充電されていることをご確認ください。
スキャナやベースの最新ファームウェアについては、ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) のサービス&サポート
セクションにアクセスください。

シンボルの読み取りでスキャナに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、以下の項目を確認してください。

- ・ シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- ・ シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。
- ・ スキャナと接続されているベースもしくはアクセスポイントが有効か。

バーコードが表示されたものの、入力されませんか？

ホストシステムによっては、バーコードデータを入力するためにキーを押す必要がある場合があります。(Enter/Return キーや Tab キーなど。)

- ・ サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージャはバーコードデータと必要なキー（「CR」など）を出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。詳細については[プレフィックス／サフィックスについて](#) on page 6-1 を参照してください。

スキャナがバーコードを間違っ読み取っていませんか？

スキャナがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は

- ・ ベースまたはアクセスポイントが適切なターミナルインタフェース用に設定されていない可能性があります。例えば、「12345」を読み取っても、ホストは「@es%」と表示する場合など。

正しいプラグ & プレイバーコードまたはターミナル選択バーコードでベースまたはアクセスポイントを設定してください。[インターフェースの設定](#) beginning on page 2-1 を参照してください。

- ・ ベースまたはアクセスポイントは、バーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。例えば、「12345」を読み取ってもホストは「A12345B」と表示する場合など。

正しいシンボルを選択してベースまたはアクセスポイントを再設定してください。[Chapter 8](#) を参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない。

- ・ 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。

お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください ([Chapter 8](#) を参照。)

それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、[すべてのシンボル](#) on page 8-1 (すべてのシンボル 有効) を読み取ってください。

カスタマーサポート

テクニカルサポート

インストールやトラブルシューティングに関するサポートが必要な場合は、以下の方法でご連絡ください。

サポート情報：www.hsmknowledgebase.com

サポート情報には多くの解決方法がございます。サポート情報で解決しない場合は、テクニカルサポート（以下参照）で問題のレポートまたは質問を報告してください。

テクニカルサポートポータル：www.hsmsupportportal.com

テクニカルサポートポータルは問題を報告するだけでなく、サポート情報から技術問題を検索して解決方法を提供します。ポータルにて、オンラインで質問の提出や追跡、ファイルの送受信が可能です。

ウェブフォーム：www.hsmcontactsupport.com

オンラインサポートフォームに入力することで、テクニカルサポートチームに直接コンタクトできます。お客様の情報と質問や問題の詳細を入力してください。

電話：www.honeywellaidc.com/locations

最新の問い合わせ先は、上記のウェブサイトを確認してください。

製品のサービスと修理

Honeywell 社は、世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。保証期間内または保証期間後の修理を受けるためには www.honeywellaidc.com から **Support > Contact Service and Repair** に進んでいただき、ご使用の地域での Return Material Authorization 番号 (RMA #) を入手する方法を確認してください。製品を返送する前に、この手順に従ってください。

条件付き保証

Honeywell International Inc.（以下“ハネウェル社”）は、出荷時にはその製品とアクセサリの材料および製造品質に欠陥がなく、お買い上げいただいた製品に適用されるの公式な仕様に適合することを保証いたします。この保証は、以下の場合にはハネウェル社の製品であっても対象外となります。（i）設置または使用方法が不適切。（ii）正しい保守、サービス、および清掃手順に従わなかった場合を含めて事故や不注意で損傷。または（iii）以下の結果損傷した場合：（A）お客様または第三者が変更や改造を行った。（B）インタフェース接続に過大な電圧や電流がかかったり流れたりした。（C）静電気または静電気放電。（D）指定の動作パラメータを超える条件で使用した。（E）ハネウェル社または正規代理店以外が製品の修理や整備を行った。

この保証期間は、ハネウェル社の出荷時点から、ご購入時に製品に対してが公式に示した期間（「保証期間」）とします。欠陥品は、点検のために保証期間内にハネウェル社の工場または正規サービスセンターにかならず返却してください。RMA（Return Material Authorization）が無ければ、ハネウェル社はどんな製品も受け付けません。RMA は、ハネウェル社に連絡すれば取得できます。保証期間内にハネウェル社または正規サービスセンターに製品が返却され、材料または製造品質の欠陥によって製品が故障したことを確認した場合、ハネウェル社はその選択によって製品を無償で修理または交換いたします。ただし、ハネウェル社への返却送料はご負担ください。

該当する法律によって規定されている場合を除き、上記の保証は、明示的であっても暗黙のものであっても、また口頭であっても書面であっても限定されることなく、特定の目的に対する商品性や適合のあらゆる暗黙の保証を含む他のあらゆる契約に代わるものです。

この保証によるハネウェル社の賠償責任とお客様が受けられる唯一の補償は、欠陥品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、ハネウェル社は、直接的、間接的、あるいは結果的な損害には一切責任を負いません。また、ここでお買い上げいただいた製品に関して生じたハネウェル社の賠償額は（そうした賠償責任が契約、保証、不法行為などに基づく請求によるものであっても関係なく）、その製品のためにハネウェル社にお支払いいただいた実際の金額を限度とします。これらの賠償責任の限度は、そのような、けが、損失、損害などの可能性についてが知らされていた場合であってもまったく有効です。ハネウェル社が知らされていた場合であってもまったく有効です。一部の州、地区、あるいは国などでは、偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていません。その場合、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

この条件付保証項目はすべて区分されており、分離が可能です。つまり、いずれかの条項が無効のまま実施できない場合でも、その決定は他の項目を実施する有効性には関係ありません。Youjie 社提供以外の周辺機器を使用して故障した場合、保証の対象外です。この周辺装置には、ケーブル、電源、クレイドル、およびドッキングステーションが含まれます。ハネウェル社は、これらの保証を製品の最初のエンドユーザにのみ適用します。これらの保証は譲渡できません。

Xenon 1900 および 1910 スキャナの保証期間は、5 年とします。

Xenon 1902 および 1912 スキャナと CCB01-010BT ベースユニットの保証期間は、3 年とします。

Xenon 1910i および 1911i スキャナと CCB02-100BT ベースユニットの保証期間は、3 年とします。

Xenon 1980i および 1981i スキャナと CCB05-100BT ベースユニットの保証期間は、3 年とします。

Xenon および Granit のバッテリーの保証期間は、1 年とします。

付録チャート

シンボルチャート

Note: 「m」は、AIM モディファイアのキャラクタを示します。AIM モディファイアキャラクタの詳細については、International Technical Specification の Symbology Identifiers を参照してください。

特定のシンボルに対するプレフィックス／サフィックスの入力は、汎用 (All Symbolologies, 99) 入力に優先します。

コード ID と AIM ID の使用方法については、データ編集 beginning on page 6-1 とデータフォーマット beginning on page 7-1 を参照してください。

リニアシンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
All Symbolologies (全シンボル)				99
Codabar	JFm	0-1	a	61
Code 11	JH3		h	68
Code 128	JCm	0, 1, 2, 4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	JX0		<	3C
Code 39 (Full ASCII モード対応)	JAm	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	JL2		T	54
Code 93 and 93i	JGm	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN	JEm	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13 (Bookland EAN を含む)	JE0		d	64
EAN-13 with Add-On (アドオン付き EAN-13)	JE3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code (拡張クーポンコード付き EAN-13)	JE3		d	64
EAN-8	JE4		D	44
EAN-8 with Add-On (アドオン付き EAN-13)	JE3		D	44
GS1				
GS1 DataBar (GS1 データバー)	Jem	0	y	79
GS1 Limited (GS1 限定型)	Jem		{	7B
GS1 Expanded (GS1 データバー拡張型)	Jem		}	7D
GS1-128	JC1		I	49
2 of 5				
China Post (中国郵便)	JX0		Q	51
Interleaved 2 of 5	JIm	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5	JX0		m	6D
NEC 2 of 5	JX0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	JRm	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	JS0		f	66
MSI	JMm	0, 1	g	67
Telepen	JBm		t	74
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
UPC-A	<i>JE0</i>		<i>c</i>	63
UPC-A with Add-On (アドオン付き UPC-A)	<i>JE3</i>		<i>c</i>	63
UPC-A with Extended Coupon Code (拡張コード付き UPC-A)	<i>JE3</i>		<i>c</i>	63
UPC-E	<i>JE0</i>		<i>E</i>	45
UPC-E with Add-On (アドオン付き UPC-E)	<i>JE3</i>		<i>E</i>	45
UPC-E1	<i>JX0</i>		<i>E</i>	45

Honeywell Code ID 追加				5C80
AIM Code ID 追加				5C81
Backslash 追加				5C5C
Batch mode quantity			5	35

2次元シンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
<i>All Symbolologies (全シンボル)</i>				99
<i>Aztec Code</i>	<i>Jzm</i>	0-9, A-C	<i>z</i>	7A
<i>Chinese Sensible Code (漢信コード)</i>	<i>JX0</i>		<i>H</i>	48
<i>Codablock A</i>	<i>JO6</i>	0, 1, 4, 5, 6	<i>V</i>	56
<i>Codablock F</i>	<i>JOm</i>	0, 1, 4, 5, 6	<i>q</i>	71
<i>Code 49</i>	<i>JTm</i>	0, 1, 2, 4	<i>l</i>	6C
<i>Data Matrix</i>	<i>Jdm</i>	0-6	<i>w</i>	77
<i>GS1</i>	<i>Jem</i>	0-3	<i>y</i>	79
GS1 Composite (GS1 コンポジット)	<i>Jem</i>	0-3	<i>y</i>	79
GS1 Ominidirectional (GS1 データバー標準型)	<i>Jem</i>	0-3	<i>y</i>	79
<i>MaxiCode</i>	<i>JUm</i>	0-3	<i>x</i>	78
<i>PDF417</i>	<i>JLm</i>	0-2	<i>r</i>	72
MicroPDF417	<i>JLm</i>	0-5	<i>R</i>	52
<i>QR Code</i>	<i>JQm</i>	0-6	<i>s</i>	73
Micro QR コード	<i>JQm</i>		<i>s</i>	73

郵便シンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
<i>All Symbolologies (全シンボル)</i>				99
<i>Australian Post (オーストラリア郵便)</i>	<i>JX0</i>		<i>A</i>	41
<i>British Post (英国郵便)</i>	<i>JX0</i>		<i>B</i>	42
<i>Canadian Post (カナダ郵便)</i>	<i>JX0</i>		<i>C</i>	43

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
China Post (中国郵便)	JX0		Q	51
InfoMail	JX0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	JX0		M	4D
Japanese Post (日本郵便)	JX0		J	4A
KIX (Netherlands) Post (オランダ郵便)	JX0		K	4B
Korea Post (韓国郵便)	JX0		?	3F
Planet Code	JX0		L	4C
Postal-4i	JX0		N	4E
Postnet	JX0		P	50

ASCII 変換チャート (コードページ 1252)

キーボードアプリケーションで、ASCII コントロールキャラクタは以下のように 3 つの異なる方法で表現されます。CTRL+X ファンクションキーは OS とアプリケーションによって異なります。以下のテーブルは Microsoft で使用される共通の機能のリストです。この表は、米国方式のキーボードに適用されます。特定のキャラクタは、国コード / PC の地域設定によって異なる場合があります。

印刷不可能な ASCII コントロールキャラクタ			キーボードコントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	コントロール + X モードオフ (KBDCAS0)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X function
0	00	NUL	Reserved	CTRL+ @	
1	01	SOH	NP Enter	CTRL+ A	Select all
2	02	STX	Caps Lock	CTRL+ B	Bold
3	03	ETX	ALT Make	CTRL+ C	Copy
4	04	EOT	ALT Break	CTRL+ D	Bookmark
5	05	ENQ	CTRL Make	CTRL+ E	Center
6	06	ACK	CTRL Break	CTRL+ F	Find
7	07	BEL	Enter / Ret	CTRL+ G	
8	08	BS	(Apple Make)	CTRL+ H	History
9	09	HT	Tab	CTRL+ I	Italic
10	0A	LF	(Apple Break)	CTRL+ J	Justify
11	0B	VT	Tab	CTRL+ K	hyperlink
12	0C	FF	Delete	CTRL+ L	list, left align
13	0D	CR	Enter / Ret	CTRL+ M	
14	0E	SO	Insert	CTRL+ N	New
15	0F	SI	ESC	CTRL+ O	Open
16	10	DLE	F11	CTRL+ P	Print
17	11	DC1	Home	CTRL+ Q	Quit
18	12	DC2	PrtScn	CTRL+ R	
19	13	DC3	Backspace	CTRL+ S	Save
20	14	DC4	Back Tab	CTRL+ T	
21	15	NAK	F12	CTRL+ U	
22	16	SYN	F1	CTRL+ V	Paste
23	17	ETB	F2	CTRL+ W	
24	18	CAN	F3	CTRL+ X	

印刷不可能な ASCII コントロール キャラクタ			キーボードコントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	コントロール + X モードオフ (KBDCAS0)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X function
25	19	EM	F4	CTRL+ Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL+ Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL+ [	
28	1C	FS	F7	CTRL+ \	
29	1D	GS	F8	CTRL+]	
30	1E	RS	F9	CTRL+ ^	
31	1F	US	F10	CTRL+ -	
127	7F	△	NP Enter		

下位 ASCII R リファレンステータブル

Note: Windows コードページ 1252 および 下位 ASCII は同じキャラクタを使用します。

印刷可能なキャラクタ								
DEC	HEX	キャラクタ (コード)	DEC	HEX	キャラクタ (コード)	DEC	HEX	キャラクタ (コード)
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	△

拡張 ASCII キャラクタ					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
128	80	€	Ç	up arrow ↑	0x48
129	81		ü	down arrow ↓	0x50
130	82	,	é	right arrow →	0x4B
131	83	f	â	left arrow ←	0x4D
132	84	”	ä	Insert	0x52
133	85	...	à	Delete	0x53
134	86	†	â	Home	0x47
135	87	‡	ç	End	0x4F
136	88	^	ê	Page Up	0x49
137	89	%o	ë	Page Down	0x51
138	8A	Š	è	Right ALT	0x38
139	8B	<	ï	Right CTRL	0x1D
140	8C	Œ	î	Reserved	n/a
141	8D		i	Reserved	n/a
142	8E	Ž	Ä	Numeric Keypad Enter	0x1C
143	8F		Å	Numeric Keypad /	0x35
144	90		É	F1	0x3B
145	91	‘	æ	F2	0x3C
146	92	’	Æ	F3	0x3D
147	93	“	ô	F4	0x3E
148	94	”	ö	F5	0x3F
149	95	•	ò	F6	0x40
150	96	—	û	F7	0x41
151	97	—	ù	F8	0x42
152	98	~	ÿ	F9	0x43
153	99	™	Ö	F10	0x44
154	9A	š	Ü	F11	0x57
155	9B	›	é	F12	0x58
156	9C	œ	£	Numeric Keypad +	0x4E
157	9D		¥	Numeric Keypad -	0x4A
158	9E	ž	Þ	Numeric Keypad *	0x37
159	9F	Ÿ	f	Caps Lock	0x3A
160	A0		á	Num Lock	0x45
161	A1	¡	í	Left Alt	0x38
162	A2	¢	ó	Left Ctrl	0x1D
163	A3	£	ú	Left Shift	0x2A
164	A4	¤	ñ	Right Shift	0x36
165	A5	¥	Ñ	Print Screen	n/a
166	A6		ª	Tab	0x0F
167	A7	§	º	Shift Tab	0x8F
168	A8	¨	¿	Enter	0x1C
169	A9	©	¬	Esc	0x01
170	AA	ª	¬	Alt Make	0x36
171	AB	«	½	Alt Break	0xB6
172	AC	¬	¼	Control Make	0x1D
173	AD		¡	Control Break	0x9D
174	AE	®	«	Alt Sequence with 1 Character	0x36
175	AF	—	»	Ctrl Sequence with 1 Character	0x1D
176	B0	°	☐		
177	B1	±	☐		

拡張 ASCII キャラクタ (Continued)					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
178	B2	²	⌘		
179	B3	³	⌘		
180	B4	´	⌘		
181	B5	μ	⌘		
182	B6	¶	⌘		
183	B7	·	⌘		
184	B8	¸	⌘		
185	B9	¹	⌘		
186	BA	º	⌘		
187	BB	»	⌘		
188	BC	¼	⌘		
189	BD	½	⌘		
190	BE	¾	⌘		
191	BF	¿	⌘		
192	C0	À	⌘		
193	C1	Á	⌘		
194	C2	Â	⌘		
195	C3	Ã	⌘		
196	C4	Ä	⌘		
197	C5	Å	⌘		
198	C6	Æ	⌘		
199	C7	Ç	⌘		
200	C8	È	⌘		
201	C9	É	⌘		
202	CA	Ê	⌘		
203	CB	Ë	⌘		
204	CC	Ì	⌘		
205	CD	Í	⌘		
206	CE	Î	⌘		
207	CF	Ï	⌘		
208	D0	Ð	⌘		
209	D1	Ñ	⌘		
210	D2	Ò	⌘		
211	D3	Ó	⌘		
212	D4	Ô	⌘		
213	D5	Õ	⌘		
214	D6	Ö	⌘		
215	D7	×	⌘		
216	D8	Ø	⌘		
217	D9	Ù	⌘		
218	DA	Ú	⌘		
219	DB	Û	⌘		
220	DC	Ü	⌘		
221	DD	Ý	⌘		
222	DE	Þ	⌘		
223	DF	ß	⌘		
224	E0	à	α		
225	E1	á	β		
226	E2	â	Γ		
227	E3	ã	π		
228	E4	ä	Σ		
229	E5	å	σ		

拡張 ASCII キャラクタ (Continued)					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
230	E6	æ	μ		
231	E7	ç	τ		
232	E8	è	Φ		
233	E9	é	Θ		
234	EA	ê	Ω		
235	EB	ë	δ		
236	EC	ì	∞		
237	ED	í	φ		
238	EE	î	ε		
239	EF	ï	∩		
240	F0	ð	≡		
241	F1	ñ	±		
242	F2	ò	≥		
243	F3	ó	≤		
244	F4	ô	∫		
245	F5	õ	∫		
246	F6	ö	÷		
247	F7	÷	≈		
248	F8	ø	°		
249	F9	ù	·		
250	FA	ú	·		
251	FB	û	√		
252	FC	ü	ⁿ		
253	FD	ý	²		
254	FE	þ	■		
255	FF	ÿ			

ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、バーコードが作成されたときのコードページを選択してください。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。

コードページ選択方法 / 国	標準	国別キーボード	Honeywell コードページオプション
米国 (standard ASCII)	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
自動国キャラクタ置換	ISO/IEC 2022	n/a	2 (デフォルト)
バイナリコードページ	n/a	n/a	3
デフォルトの“自動国キャラクタ置換”は以下の Code128、Code 39、Code 93. 用 Honeywell コードページオプションを選択します。			
米国	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
イギリス (UK)	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83

コードページ選択方法 / 国	標準	国別キーボード	Honeywell コード ページオプション
ドイツ	ISO/IEC646-21	4	84
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン / フィンランド (拡張 Annex C)	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

Dec			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
Hex			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	0	1	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
CA	54	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	18	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	28	98	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	-
CN	92	99	#	¥	@	[	\	]	^	`	{		}	-
GB	7	87	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	μ	é	ù	è	..
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	2	82	#	□	É	Ä	Ö	Å	Û	é	ä	ö	å	ü
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	-
IE	73	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	13	92	#	\$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°
ES	10	90	#	\$	§	ı	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	51	91	#	\$	·	ı	Ñ	Ç	¿	`	´	ñ	ç	..
国	キーボード	Honeywell コード ページオプション	ISO / IEC 646 国キャラクタ変換											

ユニコードキーマップ

6E 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B	7C 7D 7E	
01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F	4B 50 55	5A 5F 64 69
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D	4C 51 56	5B 60 65 6A
1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2B		5C 61 66
2C 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39	53	5D 62 67 6C
3A 3B 3C 3D 3E 3F 38 40	4F 54 59	63 68

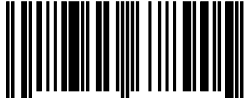
104 キー アメリカスタイル

6E 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B	7C 7D 7E	
01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F	4B 50 55	5A 5F 64 69
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 2B	4C 51 56	5B 60 65 6A
1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A		5C 61 66
2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39	53	5D 62 67 6C
3A 3B 3C 3D 3E 3F 38 40	4F 54 59	63 68

105 キー ヨーロッパスタイルキー

サンプルシンボル

UPC-A



0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



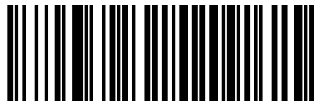
1234567890

EAN-13



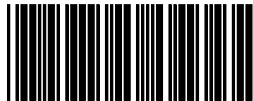
9 780330 290951

Code 128



Code 128

Code 39



BC321

Codabar



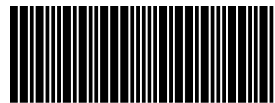
A13579B

Code 93



123456-9\$

Code 2 of 5



123456

Matrix 2 of 5



6543210

RSS-14



(01)00123456789012

サンプルシンボル

PDF417



Car Registration

Code 49



1234567890

Postnet



Zip Code

Data Matrix



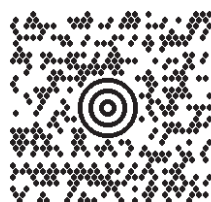
Test Symbol

QR Code



Numbers

MaxiCode



Test Message

Aztec



Package Label

Micro PDF417



Test Message

プログラミングチャート



K0K

0



K1K

1



K2K

2



K3K

3



K4K

4



K5K

5



K6K

6



K7K

7



K8K

8



K9K

9

プログラミングチャート



KAK
A



KBK
B



KCK
C



KDK
D



KEK
E



KFK
F



MNUSAV.
Save (保



MNUABT.
Discard (破棄)



RESET_
リセット

Note: 文字または数字 (Save を読み取る前に) をスキャンしエラーした場合は、Discard(破棄)を読み取り、正確に文字または数字をもう一度スキャンして、**Save** (保存) を読み取ってください。

Honeywell Scanning & Mobility

9680 Old Bailes Road
Fort Mill, SC 29707

www.honeywellaidc.com